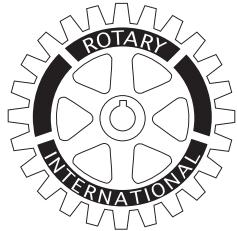


創立80周年記念誌

郡山ロータリークラブ



創立80周年記念誌

郡山ロータリークラブ

認 証 状





チャーターナイト（昭和12年6月19日）

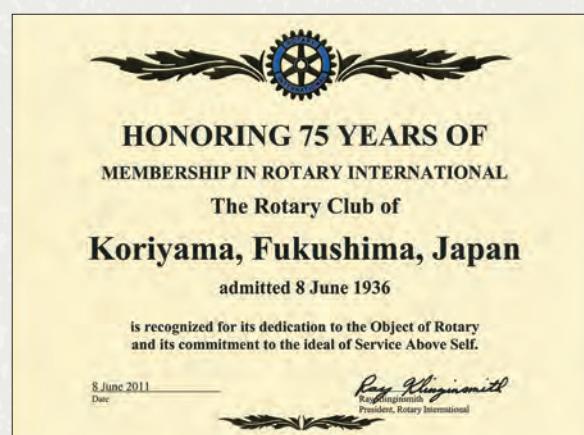
この写真は、発会式（昭和11年）の約1年後に行われたチャーターナイトの記念撮影である。

郡山クラブ会員・家族のほか、式にご出席いただいた米山氏、ガバナー、パストガバナー、各地のロータリークラブの会員とご夫人方のお姿が見られる。

前列右より12番目は橋本万右衛門会長、その右側が米山梅吉氏、米山氏の右側が佐藤昌介ガバナーである。



50周年証書



75周年証書



創立80周年記念式典（平成28年5月14日）

バナーの移り変わり



最初のバナー（昭和31年）



二代目のバナー



現在のバナー

当クラブのバナー図案は「はなかつみ」（学名ヒメシャガ）です。俳聖芭蕉が郡山近くを通った際の紀行文『奥の細道』に出て来る

安積山あり道より近し（中略）いずれの草を花がつみとはいふぞと人々に尋ね待れども更に知る人なし ぬまを尋ね人に問い合わせかつみかつみと尋ねあるきて日は山の端にかかりぬ
の中にある「花かつみ」の事は学者によって植物名を異にしていますが、当郡山地方では「ヒメシャガ」（アヤメ科）を「花かつみ」と呼んでお

りますので、これを図案化したものです。芭蕉が「花かつみ」として尋ねた源は『古今集』のみちのくの安積のぬまの花かつみ

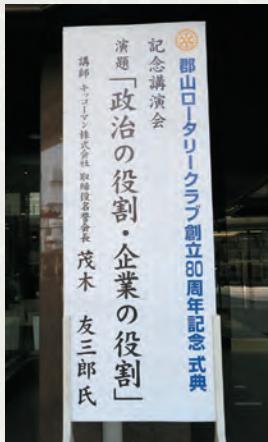
かつみる人にこいやわたらん
の歌によってさがしたものだと思います。
現在ヒメシャガは野生のものは当地方には見当たりません。福島市の奥の方には実在するとのことです。庭園では本県各地で植えております。

（故長尾重延会員記）

目 次

認証状	3
証 書	4
バナーの移り変わり	5
目 次	6
80周年記念式典の写真	7
記念事業 100万人のクラシックライブ	12
記念事業 郡山市まちなか子ども夢駅伝	13
ごあいさつ	14
80周年記念講演	19
物故会員	21
創立より入会会員物故者名簿	22
会長時代の思い出	23
創立80周年記念座談会	28
歴代会長・幹事	36
歴代役員・理事・委員長	37
入会記録	39
この10年の地区出向者	52
黎明期	53
郡山ロータリークラブ80年の歩み	62
一人一言	71
創立80周年実行委員会組織図	80
今 中	81

80周年記念式典の写真



遠藤式典部会長の入念な打ち合せから始まりました



いよいよ緊張のお出迎え



笑顔の受付係のみなさん



大野会長の丁寧なお出迎え



案内係も大忙し

プログラム

■記念式典 15:00

司会 橋本 勝

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
ソングリーダー 福島 佳之
4. 物故会員への黙祷
5. 来賓紹介・ご来訪クラブ他紹介
幹事 鈴木 淳策
6. 式 辞
会長 大野 勝久
7. 実行委員長挨拶
実行委員長 太田 宏
8. 感謝状、表彰状ならびに記念品贈呈
• スポンサークラブ
• 永年会員
• 歴代会長（創立70年～79年）
9. 記念事業発表
記念事業部会長 湯浅 大郎
10. スポンサークラブ挨拶
東京RC パスト会長 岡崎 由雄 様
11. 来賓祝辞
郡山市長 品川 萬里 様
RI第2530地区ガバナー 酒井 善盛 様
12. 祝電披露
13. 閉会点鐘

～休憩～

■記念講演 16:00

1. 講師の紹介
副実行委員長 神山 英司
2. 講 演
講師 茂木 友三郎 様
演題「政治の役割・企業の役割」

■懇親会 17:30

- 司会 堀川 紀房
1. 会長挨拶
会長 大野 勝久
 2. 祝 舞
花柳 寿三雄 様・郡山芸鼓組合
 3. 乾 杯
パスト会長 新城 義雄
 4. アトラクション
 5. ロータリーソング「手に手つないで」斉唱
ソングリーダー 鈴木 正晃
 6. 中 締 め
会長エレクト 遠藤 友紀晴



大野会長による開会点鐘



物故会員への黙祷



ソングリーダー 福島佳之会員



品川市長はじめ御来賓の御紹介



太田宏実行委員長より御挨拶



式典司会の橋本勝会員



スポンサークラブの東京RC岡崎パスト会長へ感謝状と記念品を贈呈

永年在籍40年以上会員（10名）



斎藤彌三郎 君(在籍53年) 三澤 敬典 君(在籍50年)
滝田金之介 君(在籍50年) 増子 康 君(在籍47年)
安藤 澄男 君(在籍45年) 馬場 一郎 君(在籍42年)
佐久間崇之 君(在籍40年) 横田 重一 君(在籍40年)
池田 牆一 君(在籍40年) 新城 義雄 君(在籍40年)



歴代会長（創立70年～79年）



根本 鎮郎 君(2005～2006年) 太田 宏 君(2006～2007年)
高橋 良和 君(2007～2008年) 今泉 正規 君(2008～2009年)
林 誠 君(2009～2010年) 石井 敏久 君(2010～2011年)
遠藤喜志雄 君(2011～2012年) 神山 英司 君(2012～2013年)
鈴木 稔夫 君(2013～2014年) 石黒 秀司 君(2014～2015年)

スポンサークラブから 御挨拶をいただく



東京RC 岡崎由雄パスト会長

御祝辞



酒井善盛ガバナー

記念講演 演題「政治の役割・企業の役割」



講師紹介は神山実行副委員長



講師 茂木 友三郎 様

懇親会



花柳寿美雄 様・郡山芸鼓組による祝舞



新城パスト会長による乾杯のご発声



アトラクションは千年さとみさんによる大人のムードで



懇親会司会の堀川会員
(緊張!!)



みなさん楽しそうです



楽しい懇親会もいよいよフィナーレ
大野会長も酒井ガバナーと手に手つないで



中締めは遠藤友紀晴会長エレクト



気合入ってます



会員全員で感謝の気持でお見送り

記念事業

100万人のクラシックライブ in 寿泉堂綜合病院



平成28年2月27日

ヴァイオリンの小林壱成さんと
ピアノの三又瑛子さんによる演奏
でたくさんの聴衆を魅了しました。



記念事業

郡山市まちなか子ども夢駅伝



平成28年5月28日

うすい百貨店前を発着点に、ビューホテルアネックス前を折り返す1周450メートルのコースを市内の幼稚園児から小学生までの選手が5人1チームでたすきをつなぎ、タイムを競いました。



ごあいさつ

式　　辞

郡山ロータリークラブ会長
大野勝久



新緑芽吹く季節の中 郡山ロータリークラブ創立80周年記念式典を挙行するにあたり郡山市長品川萬里様をはじめとするご来賓の皆様、また国際ロータリー第2530地区ガナバー酒井善盛様、東京ロータリークラブパスト会長岡崎由雄様をはじめとする地区内外のロータリアンの皆様方におかれましては、大変ご多用中のところご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当クラブは初代会長橋本万右衛門と米山梅吉氏との邂逅により昭和11年5月19日、東京ロータリークラブをスポンサークラブとして発足した、東北で最初のロータリークラブであります。

歴史を振り返ってみますと昭和11年は「2・26事件」が起こった年です。また、日本で初めてニコニコBOXが設置された年でもあります。大阪ロータリークラブでの事でした。その後、満州事変が勃発し太平洋戦争へと戦禍が広まりますと当クラブは、国際ロータリー離脱を余儀なくされてしまいます。

しかし、その様な中でも当クラブは、「金曜会」と名称を変更し、定期的に集会を持っておりました。

やがて終戦をむかえ、昭和25年10月30日再承認を頂き、郡山ロータリークラブは再発会となります。

その後は、会津若松ロータリークラブをはじめ

7つの子クラブの創立のお手伝いをさせて頂きました。

また、4名のガバナーを輩出させて頂くなど幾多の時代の変遷を重ね本日、創立80周年記念式典を迎えることができました。これも偏に、数多くの先輩諸氏が誇り高き、奉仕の理想を実践し地域社会に貢献してこられた賜物と深く敬意を表する次第でございます。

また、5年前の東日本大震災では世界各国のロータリークラブや、友好クラブであります東京立川ロータリークラブをはじめ、日本各地の数多くのロータリアンより暖かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。

そして、この度の熊本地震にて被災されました方々に対し謹んでお見舞い申し上げるところでございます。当クラブとして、できる限りのご支援をいたしたいと考えております。

結びになりますが、来たるべき90周年そして100周年にむけまして奉仕の理想と友愛の精神を持ち続け、更なる歴史を創り上げてゆく所存でございます。

本日、ご参会頂きました皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げまして式辞とさせて頂きます。

実行委員長挨拶

郡山ロータリークラブ
八十周年記念式典 実行委員長
太 田 宏



本日は多くのご来賓の皆様のご出席を頂き郡山ロータリークラブ創立80周年記念式典を挙行できますことは、会員一同大きな喜びであり、心から感謝申し上げます。又、大変お忙しい所、記念講演の講師をお引き受け頂きましたキッコーマン株式会社取締役名誉会長 茂木友三郎様に心から御礼申し上げます。

実行委員会では、各部会が慎重且つ精力的に準備をして参りましたが、なお不行き届きの点多々あろうかと存じます、慶事に免じて、又ロータリーの友情に免じてご容赦頂きたくお願い申し上げます。実行委員会の基本的な考え方は、スポンサーであります東京ロータリークラブ様、2530地区の同僚ロータリークラブの皆様、更に80周年の長きにわたって、郡山ロータリークラブをご苦労しながら存続させ、その間に変えてはならない魂のようなものを育み育てて頂いた多くの尊敬すべき先輩会員等々、多くの皆様に敬意を表し、感謝の意をあらわすことといたしました。

私は、入会後先輩方から個人的に、あるいは卓話から様々な事を学びました。戦前、戦中、戦後

に大変なご苦労をされたこと、特に戦後では金曜会の会員が郡山の商工会議所の主要メンバーを兼ねていたことから、郡山の復興にも多大なご苦労、ご尽力されたと聞いております。又、ガバナーを輩出したことから東北6県を一堂に会して行う地区大会の準備は大変ご苦労されたとのことです。大変なご苦労の中で、会員の結束が極めて強固になり、会員相互の信頼、寛容の精神、親睦、会内の派閥を排除する暗黙の了解などが育まれ、現在のような雰囲気の良い、心温まる例会であり、判断に迷った時は先輩会員の適切な助言があり、的確な会員選考がなされ、人間学を学び合う自己研鑽の場であるとの共通認識を持つ、そのようなロータリークラブに醸成されてきたと考えております。そのような当クラブのかけがいのない財産を次の世代に引き継いでゆくことも私たちの責務であろうと思っております。

今後とも会員一同奉仕の心を学び、地域に対しては基より、国際ロータリーの目標である世界理解と平和親善に寄与することをお誓し、ご挨拶といたします。

■ スポンサークラブ挨拶

東京ロータリークラブ
パスト会長
岡 崎 由 雄



郡山ロータリークラブが創立80周年を迎えられまして、誠におめでとうございます。さて、私は3年前、貴クラブと東京ロータリークラブがスポンサーをして誕生した会津若松RCの60周年にお招きを頂き、懇親会で貴クラブ神山パスト会長、佐藤パスト幹事と同席したご縁がございました。以来貴クラブがホストをされたIMにお招きいただいたり、多くの皆様と親しくさせていただいております。これこそロータリーの出会いです。

貴クラブが昭和11年5月に創立されるにあたりましては、東京ロータリークラブの創設者米山梅吉翁が相談に乗らせて頂き、また、大戦後の国際ロータリーへの復帰に際しては先々代の柏原孫左衛門氏がお手伝いをさせていただきましたこと、伝統を受け継ぐものとして大変光栄に存じます。

郡山ロータリークラブの今年度の年間テーマは「80周年を楽しもう」とのこと、それぞれの職業分類で高い道徳的水準、個人生活、事業活動をなさっておられる皆様が、親睦を重視し、共にロータリーライフを楽しむこととおもいます。

そのお考えは、私ども東京ロータリークラブも同様でございます。私どもでも、5大奉仕をはじめとした委員会活動に多くの会員が奉仕活動を

行っています。また、先の東日本大震災への復興支援プロジェクトとして10年計画の「東北すくすくプロジェクト」を岩手県、宮城県を中心に展開して5年目を迎えました。

これらの息の長い活動が活発に行われるためには、歴代の会長は会員相互ならびに配偶者・ご家族を加えた「親睦活動」を重視しており、300名を超える会員たちが温かい雰囲気の中で友人として活動できるよう心配りをいたしております。

郡山ロータリークラブさんは、記念事業として「100万人のクラシックライブ」「郡山市まちなか子ども夢駅伝競走大会」などをなさるようございますが、いずれも地域に密着したロータリアンならではのご活動と心服申し上げます。私どもでは地域密着の活動がなかなか出来ないこともありますので、参考にさせていただきます。

本日、素晴らしい記念の日を迎えた、郡山ロータリークラブに於かれましては80年の歴史と伝統を大切にされ、90周年、100周年に向って更なる奉仕活動に邁進されてのご発展を、東京クラブ会員を代表いたしまして、祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。

祝　　辞

郡山市長
品川萬里



郡山ロータリークラブにおかれましては、創立80周年の節目を迎えたこと、心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、東北地方で最も歴史のあるロータリークラブとして80年の長きにわたり、職業を通した社会奉仕により、郡山市まちなか子どもも夢駆伝に御協力いただくなど、地元に根ざした活動はもとより、東日本大震災発生時には、本市への放射線測定器の寄附といった、安心して生活できる安全なまちづくりにも大きく貢献してこられました。ここに歴代会長をはじめ、会員の皆様方の熱意と御協力に対し、深く感謝と敬意を表します。

さて、この度、郡山市と猪苗代町では、猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー【未来を拓いた「一本の水路」～大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡郡山・猪苗代～】が日本遺産に認定されました。

さらには、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、参加国と人的・経済的・文化的な相互交流が期待される国のホストタウン構想において、本市がオランダ王国のホストタウンに登録されるなど、本市の魅力を広く発信するための取り組みを進めているところであります。

今後におきましては、国内はもとより、海外からも多くの方が本市を訪れますことから、世界に貢献できる国際都市・郡山を目指し、国内外に魅力を発信してまいります。郡山ロータリークラブの皆様におかれましては、邂逅と友情で紡いだ80年の経験により、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴クラブが輝かしい未来に向けてさらなる歴史を創り上げ、さらには、会員皆様方が御活躍されますことを心から御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　　辞

RI第2530地区ガバナー
酒　井　善　盛



郡山ロータリークラブ、80周年誠におめでとうございます、本日は品川万里郡山市長、県内各関係代表者様、そしてスポンサークラブであります、東京ロータリークラブ様、友好クラブの東京立川ロータリークラブ様はじめ地区内外から多くの来賓、ロータリアンのご臨席を賜り盛大に式典が開催されますことに心よりお慶び申し上げます。特に東京ロータリークラブパスト会長、茂木友三郎先生の講話を拝聴させていただく機会を得ましたことに感謝を申し上げます。

2020年日本のロータリー100周年事業の準備委員会が発足しているようありますが、同時に東京クラブの100周年でもあります。初代会長と申し上げるよりは、日本ロータリー生みの親、米山梅吉先生が2530地区で唯一認証伝達式にご臨席を頂きましたのが、郡山クラブ80年前の事であります。

その間4人のガバナーを輩出し地区内のリー

ダークラブとして活躍をしています。今年度、大野勝久会長の提唱されたクラブ目標（80年を楽しもう）の下、会員増強、ロータリー財団、米山記念奨学会への貢献度は高く他クラブの模範となっています。

会員数は常に100名を超えるをされたクラブは子クラブ孫クラブを入れて9クラブと聞いています。今、ロータリーはイノベーションの時を迎えようとしています、今年は3年に一度行われる規定審議会の年です、当地区から阿久津肇先生が代議員として出席されました、すでにご存じの方もおられると思いますが16-21議案、16-36議案は変化をもたらすことになるでしょう。

結びになりますが郡山クラブの益々の発展と本日ご臨席の皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ祝辞といたします。

80周年記念講演 政治の役割、企業の役割（要旨）

キッコーマン株式会社 取締役名誉会長
公益財団法人日本生産性本部 会長
茂木友三郎氏



初めに

- 先日米国出張した際、大統領選挙が話題となった。共和党、民主党共に従来とは異質な候補者である
- 今回の選挙戦を見て、米国の要人も「アメリカは変わった、また変わりつつある」と発言していた
- トランプ氏は日本や韓国についても言及しているが、日米関係への影響など今後の大統領選挙の行方に重大な関心を持っている

日本の現状

- アベノミクス効果で明るさが出てきた日本経済だが、新興国経済の減速などの要因により、今年に入って少し陰りが見える
- 長期にわたり経済が低迷している日本では、経済成長を全く経験したことがない40代の人々が、これから企業を動かす中心的役割を担っていくことになり、大きな問題である
- 世界第2位の経済大国の座からの陥落にとどまらず、アジアでのステータスも低下。購買力平価ベースの1人あたりGDPではアジアで5位という状況。日本の国力の低下は、ア

ジアひいては世界の安定・繁栄の観点からも問題である

- アベノミクス第1の矢（金融政策）、第2の矢（財政政策）の効果があり、経済が少しずつ良くなってきた。第3の矢（経済成長戦略）が今後の鍵となる

政治の役割

（市場経済化の促進）

- 規制改革を一層進め、自由な競争市場をつくる
- 市場を支える基盤づくりに必要なこと

ルールの整備

監視機関による事後チェック、ペナルティ

情報開示システム

競争に敗れた人に復活の機会を与える労働

市場の整備

（経済連携の拡大）

- グローバル化が加速する中、自由貿易協定（FTA）、経済連携協定（EPA）の輪を広げなければならない
- 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）への参加は意義深く、できるだけ早く協定が発効されることを期待する

(税制改革)

- ・法人税のさらなる引き下げ、消費税の増税も必要
- ・歳入改革と同時に歳出改革、社会保障制度の改革を思い切って進めていくのが不可欠
- ・努力したものが報われる税制が必要

企業の役割

(自由な競争市場で闘う覚悟)

- ・自由な競争市場で闘うという覚悟が必要。熾烈な競争を勝ちぬくには革新（イノベーション）と差異化（ディファレンシエーション）がポイント。人まねをしないで、独自性のある革新を進めること
- ・需要の創造により企業の付加価値が高まり、結果G D Pの増加につながる。
例：高度経済成長時代の3種の神器（白黒テレビ、冷蔵庫、電機洗濯機）
- ・キッコーマンも欧米で醤油の需要を創造した結果、現在では売上げの57%、利益の70%以上を海外で稼いでいる

(コーポレートガバナンスの強化)

- ・優れた企業のリーダーをつくると言うこと。それによって企業は、需要の創造に取り組むことができる
- ・一方、執行部を監視する仕組みが必要。経営者が間違った判断をしないかチェックする社外取締役の役割は重要

(生産性の向上)

- ・生産性が低いと言うことは、一人当たりの付加価値、一人あたりの国民総生産が低いと言うこと。生産性を向上させることは、企業の利益を上げるためにも、国の経済を良くするためにも必要である
- ・日本の労働生産性は、経済開発機構（O E C D）参加34か国中21位。特にサービス産業の生産性はアメリカと比較して半分、飲食・宿泊の分野ではほぼ4分の1という低水準であり改善が必要

(グローバルな人材育成)

- ・第1に専門能力。会社の中で40歳までに専門能力を2つ身につけて欲しい
- ・第2に異文化への適応性です。アメリカに行ったらアメリカに適応する。ヨーロッパにおいてはヨーロッパに適応する。順応性と適応性は違う
- ・第3は言葉。少なくとも国際語である英語は身に着けなければいけない。若いうちに英語を身につけた上で、1つ2つ、他の外国語もできるとよいと考える

まとめ

日本経済を本格的な成長軌道に乗せるには、政府と民間企業がそれぞれの役割を十分に果たすことが重要。政府の役割は、民間の仕事のしやすい舞台を作ること。そして、民間の役割は政治が作った舞台の上で、自己責任で競争に勝つべく努力することだと考える。

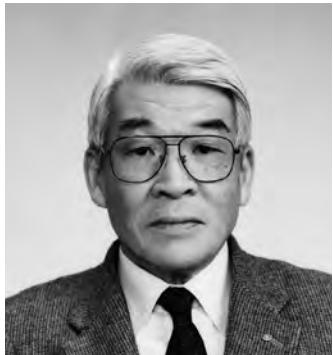
経歴

- 1935年 千葉県野田市生まれ
- 1953年 東京都立上野高等学校卒業
- 1958年 慶應義塾大学法学部卒業
- 同年4月 野田醤油（現・キッコーマン）入社
- 1961年 コロンビア大学経営大学院
経営学修士課程（M B A取得）卒業
- 1977年 キッコーマン醤油海外事業部長
- 1995年 キッコーマン代表取締役社長C E O
- 同年4月 社団法人経済同友会副代表幹事
- 2001年 H O Y A株式会社取締役
- 同年6月 東武鉄道監査役
- 2002年 日本経済団体連合会常任理事
- 同年6月 東京瓦斯（東京ガス）株式会社取締役
- 2003年 N T Tドコモアドバイザリー・ボード・
メンバー
- 同年6月 帝人株式会社取締役
- 2004年 キッコーマン代表取締役会長C E O
- 2005年 明治安田生命保険相互会社取締役
- 2008年 株式会社フジテレビジョン監査役
- 2011年 キッコーマン取締役名誉会長・
取締役会議長
- 2014年 公益財団法人日本生産性本部会長
- 2010年～2011年度 東京ロータリークラブ会長

物 故 会 員



斎 藤 和 雄
平成18年4月26日御逝去



落 合 正 人
平成19年2月8日御逝去



佐 藤 房 雄
平成19年5月25日御逝去



鈴 木 多 門
平成19年9月3日御逝去



滝 沢 進
平成20年10月31日御逝去



本 名 善兵衛
平成22年3月14日御逝去



佐 藤 惣 一 郎
平成24年1月24日御逝去



菊 池 辰 夫
平成27年12月7日御逝去



坪 井 栄 孝
平成28年2月9日御逝去

創立より入会会員物故者名簿

山 田 一 郎 君	佐 藤 傳 吉 君	根 本 祐 一 君
佐 藤 春三郎 君	津 国 清 藏 君	渡 边 安 一 君
大 原 八 郎 君	仁 井 田 穏 貞 君	鈴 木 壮 一 君
佐 藤 正 雄 君	新 城 荣 一 君	作 田 正 治 君
遊 佐 丑 松 君	横 井 嵩 一 君	今 泉 龍 造 君
鈴 木 正 雄 君	安 部 正 一 君	小 林 三 郎 君
橋 本 万右衛門 君	長 尾 重 延 君	宮 本 邦 利 君
太 田 一 郎 君	橋 本 勇 君	小 林 清 太 郎 君
今 泉 得 三 君	橋 本 泰 吉 君	藤 田 健 三 君
福 内 和 介 君	池 田 惣 助 君	高 阿 部 博 君
加 藤 親 義 君	斎 藤 立 哉 君	安 藤 真 男 君
佐 藤 安 二 君	橋 本 半 兵 衛 君	宮 遠 三 敬 君
星 与 吉 君	兼 子 俊 一 君	藤 初 弥 君
種 橋 初 藏 君	太 田 辰 雄 君	瀬 本 行 雄 君
酒 井 隆 雄 君	渡 边 健 次 君	橋 信 宏 君
斎 藤 弥 三 郎 君	薄 井 典 夫 君	平 松 武 君
滝 田 保 君	山 下 幸 雄 君	津 野 七 君
金 森 五 郎 君	岡 野 道 雄 君	内 山 弘 君
藤 田 栄 久 君	稻 垣 嘉 脩 君	山 井 雄 君
安 藤 久 兵 衛 君	村 越 清 君	作 田 志 君
佐 藤 伝 兵 衛 君	菊 池 貞 二 郎 君	伊 藤 彦 君
阿 部 金 助 君	黒 沢 忠 直 君	柳 沼 五 郎 君
坂 本 武 夫 君	佐 藤 義 郎 君	菊 池 宏 君
斎 藤 保 吉 君	横 田 寅 五 郎 君	金 森 健 君
武 藤 実 君	高 橋 正 君	嶋 佐 日 出 君
星 渡 一 郎 君	湯 浅 恭 一 君	藤 雄 一 君
渡 辺 棄 吉 君	兼 子 有 史 君	佐 藤 安 一 郎 君
糠 沢 康 二 君	野 田 太 正 君	遠 滝 田 元 二 君
今 泉 信 一 君	斎 藤 久 之 丞 君	

会長時代の思い出

諸先輩の皆さんに
感謝して

2005～2006年度
根 本 鎮 郎



冷や汗と楽しさと

2006～2007年度
太 田 宏



私は当クラブに入会したのは1990年11月です。その4年後1994年～1995年に幹事をさせていただきました。一年間幹事として務める事に対する心配と不安でスタートしましたがその時の安藤澄男会長の人柄や寛容さに接しそして心配りと御指導をいただきどうにか役目を果す事が出来ました。2005年～2006年に会長を務めさせて頂きました。「会長時代の思い出」は創立70周年に当り「古希を祝い未来も先達に見習おう」をスローガンのもと記念式典と記念事業を実施しました。●クラブ全員が一丸となって環境問題に取り組んでいこう。●例会時の会員卓話を増やし会員相互の理解と自己修練の場にしたい。●地域社会にロータリークラブの存在価値を知ってもらう積極的な広報活動をする。そして当クラブは何事にも一つにまとまって活動し行動する団結力と結束力の強いクラブである事を充分アピールさせていただきました。これも多くの諸先輩が常に奉仕の理想と友愛の精神を忘れずに実践をしていただいた足跡の賜である事は言うまでもありません。実行委員長の新城義雄さん佐久間嵩之さん大変ご尽力いただきましたありがとうございました。さて80周年に当たり大きな節目となる100周年にむけて郡山ロータリークラブは何をなすべきか80年の歴史から諸先輩より引き継いだ良きロータリーの心を後世に残す事が大切であると感じております。

創立80周年誠におめでとうございます。

創立70周年の翌年の会長に推薦いただきましたので、多くの先輩からは気楽な年度だから自由に楽しくやればよいとアドバイスを頂いておりました。ところが会長研修会であるPETSにおいて次期ガバナーから意外な講話を聞かされました。各クラブへの訪問は行わず、分区全体の合同例会の形で行う、ということでした。4名のガバナーを輩出し、RCの運営では経験豊富で、経験に基づいた見識と良識を重んずる当クラブの多くの会員からは絶対に受け入れられないと本当に冷や汗が出て参りました。その後多くの先輩方に相談し、ガバナーにも手紙でお願いをいたしましたが、結果的には多くの会員の皆様からガバナーの決定には従いましょう、あなたが気をもんでも仕方がないからとのご意見を頂きました。私はその時、当クラブの寛容と暖かさ、懐の深い、本当の意味の伝統と格式のすごさを教えていただきました。

私は「例会は心和むひと時」「会員同士の話し合いから奉仕の心を学びましょう」をスローガンに皆で楽しむということを心がけました。例会の席を誕生日や干支ごとにするなど工夫をいたしました。支店長の会員の集まる夜の宴会には度々石黒幹事と共に出席し、交友を深めました。お蔭様でゴルフ大会では10組40名の出席を達成することが出来ました。この記録はまだ破られていないと聞いておりますが、密かに喜んでいます。京都・姫路への親睦旅行では大変楽しく会員の皆様とも親交を深めることが出来ました。当時の役員の皆様に感謝です。

ロータリーは 分かち合いの心



2007～2008年度
高 橋 良 和

72代目の会長にご指名をいただき、大任を果たせるのかどうか悩みに悩みながら「居心地の良いクラブ」こそロータリーの出発点であると努めさせていただきました。R I テーマの「ロータリーシェアーズ（ロータリーは分かち合いの心）」での一年間。牧公介ガバナーとの出会い。ペツツ、地区大会、公式訪問例会でのご講話は私達に強烈なインパクトを与え、目頭を押さえながら聞きいる何人のロータリアンの姿は今も心に焼きついております。当時日本のロータリーはピーク時より3万人も会員が減少、地区内でも一年間で250人が退会。クラブの運営、将来に不安を感じるクラブが数少なく、地区に「退会防止委員会」をつくるざるを得ない深刻な状況の中で常に100名を超える会員を維持できたのは魅力ある楽しいクラブ、会員の質の高さ、職業人としての地域社会からの評価、クラブへのプライド。これらが一朝一夕に生まれたのではなく、80年の歴史という財産がもたらしてくれた宝であると心に刻み、東北で数少ないR I 承認番号3992がはいった新しいロータリー旗を掲げさせていただきました。ロータリーは親睦から始まり信頼できる仲間をつくり、自分自身を高め、職業を通して社会にシェアーする事がロータリー創立の原点であると感じた一年でした。遠藤幹事のきめ細かな運営、楽しいプログラム（今泉女子専門学校生徒によるファッショショ等）を企画された初瀬委員長、多くの楽しい親睦の場を提供された菅野委員長さんをはじめ全ての会員の皆様にあらためて感謝を申し上げます。

父からの財産



2008～2009年度
今 泉 正 規

私と郡山RCとの出会いは、亡き父との思い出に遡ります。父はロータリーが大好きで、30年近くも年間100%出席を達成したほどでした。お酒を一滴も飲めない父でしたが、夜の例会にも喜んで出席し、家族会にも母や孫たちを連れて参加しておりました。孫たちにとっては、今も祖父母との楽しい思い出の一つになっているようです。また、大好きなゴルフをはじめ、様々な場面でRCの皆さんと交流させていただいた事は、父の人生の充実に欠かせないものとなり感謝しております。

そんな父が亡くなった平成6年3月に弔辞弔問の御礼のため例会にお伺いした際、新城義雄会長より入会を勧められ、6月より入会致しました。JCの先輩方や郡山経済界の錚々たるメンバーの一員になるのは恐れ多く、毎週緊張しながら出席していたのを思い出します。

それから12年後、根本鎮郎会長から指名を受け、平成20年7月から1年間、会長職を務めさせていただきました。

会長方針では“郡山RCが有する大きな財産・伝統を守りながら、例会に集まった会員が親睦友情を深め、切磋琢磨することを基本に、入会して本当に良かったと言われるようなクラブにさらに一步でも前進できるよう奇をてらうことなく誠実に、無理をしないで精一杯努力したい”と述べてきました。力不足ではありましたが、会員の皆様の温かいご協力、特に湯浅幹事の素晴らしいサポートのお陰で長い一年を終えることが出来た事、この歴史と伝統ある郡山RCの会長を務めさせていただいた事に改めて感謝申し上げます。

楽しかった一年

2009～2010年度
林 誠



会長時代の一年は、始まる前のワクワク感と、終わった後の喪失感に尽きます。記念例会等の恒例行行事も、旅行・花見・夜の例会も全て楽しみました。

諸先輩が築いたクラブのしっかりした枠組みと、幹事・親睦委員長等枢要な役どころの若い方たちの縦横の活躍のお陰であり、今もって感謝しております。

60代半ばであった私が、唯一我を通したのは、会長職の50代への若返りでした。クラブが漫然と年老いていくことなく、常に活性化し、再生していくためには、新規入会する働き盛り世代を受止め、同じ感性で運営する若い会長が必要です。有難いことに、当クラブでは初老の50代は若手ですから。

個人的には、入会満30年を過ぎました。手元にある50・60・70周年記念誌を見ています。皆相応に年を取り、時の止まった物故会員を含め、懐かしい顔ばかりです。

年の離れた先輩に連れられ、一人前のつもりで歩いていたのが、いつの間にやら若い方たちに遊んでもらう年になりました。

うたかたのように全ては想い出となっていきますが、今この時に、郡山クラブに在籍する幸せと会員皆さまとの友情を楽しみ、90周年・100周年を恙なく迎えたいと思っております。

東日本大震災時の創立75周年

2010～2011年度
石井 敏久



昭和11年5月創立の歴史と伝統、格式のある郡山RCの会長就任は緊張と責任の重さを一心に秘め、メンバーの親睦を第一とし、地区内行事に積極的に貢献する事を目標とした、RIはクオーター年度で慶祝し、クラブは創立75周年を迎える為、実行委員会を同時進行する万全の役員人事を敷き運営。年度前半は全て計画通り推移し、年が明け、いよいよ記念行事に向け計画推進を実施することになり、気持ちも一段と高まり、創立日と同じ5月19日に開催、全ての準備を整い、各部会、記念講演、記念行事などを決定しました。3月11日金曜日午後、東日本大震災発生、大地震と共に浜通りには大津波の災害が発生。その日から電気、電話、水、食料、燃料の欠乏、それに東京電力福島原子力発電所の事故が発生、被害者、避難民の続出、一瞬にして世の中が変わりました。会社、家族の心配の次が創立75周年記念事業をどうするか、ロータリー事務局は、次の例会の木曜日、会場のホテルに問い合わせたが開催不能との返事だったが、ホテルには食事はカレーでも良いから、ロビーでも良いからということで了解をとりようやく例会が出来ました。それでも例会参加者は通常通り50名ほど出席し、お互いの無事をハグして握手で無事を確認いたしました。周年事業は？意見は「東北のRCで一番歴史がある郡山RCが75年に一度の記念なので先鞭を切って開催すべし」「震災により2万余名の災害者と施設の災害があり自粛すべし」の意見あり、どちらも尤もなことで苦渋の決断をしなければなりません。結果は震災の大きさを鑑み自粛すること。但し準備された講演者古川清先生、芸妓、全員の記録写真等は創立75周年記念日例会として開催したことが記録に残せました。創立80周年を迎えたクラブの発展に微力乍ら尽くします。

会長雑感



2011～2012年度
遠 藤 喜志雄

今泉正規先輩の「会長をやれ」という命令でした。まだ2年は有るな、と思っていたら、あっという間にその時が来ました。3月11日の大震災、大津波、原発の汚染の問題等々、日本全国が騒然としている中での船出でした。最初にやった事は会員の幼稚園に線量計を寄贈することでした。郡山市内から小さな子供達がいなくなりました。私の孫達も仙台と大宮に避難させました。例会は二人の卓話を頂くようにしました。出席した会員がなるべく多く話をする機会を作る為でした。これには賛否両論がありましたが試みとしては良かったのではないかと自画自賛しております。佐久間啓先生の「スペシャルオリンピック」に協讚させて頂いた事は忘れられません。知的な障がいを持った子供達が一生懸命走ったり、すべったりする姿には感動を覚えました。それも郡山ロータリーのプレゼントした赤い帽子を被って活躍したのでしたから尚更でした。職場訪問はあさかホスピタルさんのストレスケアセンターと石橋工業さんの工場を見学させて頂きました。良い企業を見ることが出来たと今だに自負しています。恒例の旅行には大塚製薬の吉田所長に世話になり一泊を無料で本社の宿泊施設で接待になり安上りで豪華な旅として今も記憶に残っています。最後に幹事を引き受けていただいた福島佳之君には感謝、感謝の気持ちです。この御恩は終生忘れる事はないと思います。本当にありがとうございました。支えてくれた高梨さん、皆さんありがとうございました。

「原点回帰」



2012～2013年度
神 山 英 司

「原点回帰」が私の会長時代のテーマでした。郡山RCの原点、橋本萬右衛門氏が仙台に先駆け発足させた郡山RC、その原点は東京RCにあるはずと考えました。

運良く、共同スポンサーを務めた、会津若松RCの周年で同席した、岡崎東京RC会長と名刺交換したのが全ての始まりでした。

初めて訪問した帝国ホテルでの例会、東京クラブメンバーとの会話、品格、伝統、圧倒されるばかり、これが、橋本氏が郡山に同様のクラブを誕生させたかった原点と確信いたしました。

その後、岡崎氏と交流を続け、例会でのゲスト卓話、翌年のIMでの水野東京オリンピック招致委員会副理事長の特別講話をいただけ、職業奉仕の原点を皆様に伝えることができたと考えております。

次に、東京立川RCとの交流も思い出です。

震災間もない時期でしたので「福島のさくら」を立川市に植樹したいという立川RCの企画に賛同し苗木を寄贈、植樹に行ってまいりました。

これも今でも交流が続き、翌年金透小学校へのチャリティ基金の寄付へ結び付いたこと、よかったですと考えております。

それにしても、最大の思い出は佐藤幹事を始めとした理事諸兄、会員の皆様のご協力で大過なく会長職を全うできましたこと、心から今でも感謝いたします。

歴史と伝統の神髄に触れ、 協働の歓びに感謝の一年



2013~2014年度
鈴木禎夫

- ・「ロータリークラブは、幹事が全てする」
=「幹事は事務総長」
- ・「一業種一人」
- ・「派閥がないのが我がクラブ」
- ・「幼長の隔たりがない」
- ・「弁護士は会員としない」
- ・「会員の推薦にあたっては人物の品位を重んじる」
- ・「会員候補は他クラブに入るべき人物は候補としない」

郡山RCの価値観を示す口伝である。

会長としての2013年～2014年度は、私の人生の華である。それは郡山RCの口伝を実践した1年間の賜物であると確信している。

「手続要覧」、郡山RCの「定款・細則」に「周年記念誌」、「遠藤安一郎語録」、ポール・パーシー・ハリス「This Rotarian Age」、佐藤千壽「人作りロータリー」、渋沢栄一「論語と算盤」(菊池勝P会長の推薦図書)、P会長のアドバイス、「郡山の歴史」、開成社の歴史、クラブの世界史等を踏まえ、「例会」、「点鐘」、「SAA」、「RCは例会場を所有できない」等の深遠なる意味と、我がクラブの口伝にたどり着いた。

私は「幹事が全てする」という口伝を真似、それを実践しただけである。年間テーマ「原点回帰」も前年度の真似である。クラブの運営を一身に受けて共に歩んでくれた池田達哉幹事には感謝してもし切れない。定款・細則の改定は菊池勝P会長、IMは神山英司前年度会長なしではできなかった。新装なった歌舞伎座への親睦旅行は太田宏P会長の見所の解説もあり、多くの仲間による楽しい思い出である。グアムにも行くことができた。メンバーに支えられ楽しく、会長としての役得を十分味わった1年間であった。

Participate and Enjoy Rotary —十分満喫・魅力認識の一年!!



2014~2015年度
石黒秀司

「クラブの性質」をより伸ばして、会員がいきいきと活動し、クラブがより光り輝く為に、会長が一番ロータリーを楽しみ、満喫することが必要十分条件。また、創立80年に繋がるプレ80年に相応しい一年にしようとの大命題を掲げた。率先垂範で、役員理事が、それぞれに「Participate and Enjoy Rotary」しようと前年度の早い段階で役員理事会を開催して、ベクトル合わせをしてスタートした。

アクアマリンふくしま大水槽前での幻想的な大懇親会。エンタテイメントの勉強と復興の確認に福島競馬場への職場訪問。デンソー福島への年度二度目の職場訪問。倉元聰氏創作・演出の観劇会。一番暑い時に開催した第二暑払い。ロータリー財団地区奨学生推薦。米山記念奨学生世話クラブ。地球市民の会へ書き損じハガキ寄贈事業などなど、良い情報があれば、積極果敢に取り入れ、恒例の行事に加え、今年らしい特異なメニューの数々。

菅野幹事を中心にお声かけいただき、尻上がりに例会出席者数も増えて、盛り上がりを見せての80周年本番の一年にバトンタッチができたと思っている。

例会における会長挨拶では、ロータリーのエピソードをタイムリーに紹介しようと資料、文献を読んで、ロータリーの面白さ、奥の深さを認識することができた。さらに、ロータリーでの人の出会いの妙も十分に感じた面白い一年だった。会員の皆様に感謝申し上げ、今後、クラブへそして社会への奉仕でお返したい。

郡山ロータリークラブ創立 80 周年記念座談会 今までの歩みを振り返りつつ、明日を想う



思いつくままに

太田 本日は、郡山ロータリークラブ（以下 R C）創立 80 周年を記念し、在籍 40 年以上で昭和一ヶタ生まれの先輩たちにお集まりいただき、「記念座談会」を開催させていただきます（三沢敬典さん、増子康さんは都合により欠席）。私が司会でどこまでうまくお話を引き出せるかわかりませんが、多くの先輩たちが紡ぎ、そして繋いできた郡山 R C の歴史もひととともに、未来に託すメッセージなどもいただければと思っておりますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

それではさっそくですが、長老格の斎藤彌三郎さんから、若いときのお話がいいなと思っていますけれど、入会当時にこんな方がいた、こんなことがあったというあたりからお話をいただけますでしょうか。

斎藤 私は昭和 38 年、その後ガバナーも務めた平松（信武）さんが会長のときに入会しました。39 歳でしたね。その前の年の昭和 37 年 10 月、親父が脳出血で倒れまして……寝転がってテレビで日米野球を観ていたんですが、日本が 1-0 で勝ったんです。それで興奮したんでしょうね、目の前であつという間に亡くなってしまったので

日 時：2016 年 2 月 23 日（火）
場 所：「京香」
出席者：斎藤彌三郎（1987～1988 年度会長）
滝田金之介（1990～1991 年度会長）
馬場 一郎（1993～1994 年度会長）
新城 義雄（1995～1996 年度会長）
安藤 澄男（1997～1998 年度会長）
司 会：太田 宏（2006～2007 年度会長、
創立 80 周年実行委員会委員長）

びっくりしました。

その後のある日、叔父である滝田保がウチにやってきて「おまえ、ロータリーに入れ」と。これは命令ですから従わないわけにもいかず（笑）、入会させていただきました。当時は先輩がた、私と同じ世代、あるいは私より 2～3 歳若い人たちがかなりの数いましたので、最近は「なんで私だけが一人、こうして残ってしまったかなあ」ということばかり考えています。おかげさまで……誰のおかげかはわかりませんが、まあ家内のおかげですけどね、こうやって今もロータリーを続けていられます。

私が幹事になったのは長尾（重延）先生が会長のときで（昭和 41 年～42 年）、嶋（日出男）先生が幹事、私が副幹事でした。こんなことを言つては悪いのですが、長尾先生も嶋先生も薬剤師でしたが、同じ薬剤師同士だとなにかとぶつかることも多いのでしょうか、私が間に入ってよく取りなしていました。その長尾先生のときに、当クラブから兼子俊一さんがガバナーに選出され地区大



会（東北6県連合年次大会）を開催したのですが、これが本当にたいへんでした。……私は家にはほとんどいないで、毎日事務所で仕事をしていましたね。ガバナー事務所にはタイピストの女性が7、8名、その他にも女性がいて、まあ面白くもあったので続けられたんですけどね（笑）。幸い、家でもなにも言われずやらせてもらっていましたが、まあとにかく、たいへんな大騒ぎでした。

太田 馬場先生、いかがですか。入会当時の思い出などお話しいただけませんか。

馬場 「歯を見せない」という言葉が今もあるのかどうかわかりませんが、私が入会した当時は（昭和49年）、メンバーが皆、歯を見せないサムライのような感じでたいへん怖かったことを覚えてています。

ただ、入会するまでの私は、自分の仕事をこなすのに精一杯で視野も狭かったのですが、入会することによっていろんな世界の人たちとお付き合いするようになり、たいへん視野が広がり、だんだんと着ているものまでお洒落になってきました。

太田 たしかに、歯を見せないというのはあったかもしれませんね。あの当時は皆そうだったんですかね。

安藤 いや、当時も笑っていたよ。ただ、写真を撮るときなんかは歯を見せないのが当たり前だったね。

太田 それでは滝田さん、滝田さんの入会した当時はいかがでしたか。

滝田 あのとき（昭和41年）は確か、兼子（俊一）さんがガバナーで、郡山で地区大会をやろうと。それで私も、いわゆる「大会要員」として入会したわけだね。

斎藤 そうそう、あのとき何人か入会したよね。阿部貞彦さんとか。

滝田 しかし、郡山で大会をやっても、自分たちは会場に入る暇がなかった。そしてあのときは、雨が降ったんですよ。それで、当時はもちろんコ

ンビニなんかなかっただけども、今で言うビニール傘を集めろと言われて……日にちがあれば注文して取り寄せることもできたけれど、現に1000人を超すような人たちが集まっているところで、郡山中さがしてもそんな数の傘はない。それでもなんとか100本くらいは集めたかなあ。……ほとんど返ってこなかったけど（笑）。

それからあのときは、来賓で来たパストガバナーを「一力」に泊めたんだけど、その接待のために（会員の）奥さんを集めるとか言われて。……なんだか集めることばっかりやってた。当時のパストガバナーには年寄りも多かったけれど、すごい肩書きを持つ大物もいたので、粗相があつてはいけないとと言われて。当時、一番若かったのがシンちゃん（安藤真男）の奥さんだったかな、そのクラスが中心になってお茶くみとか接待とかを一生懸命やってました。

安藤 地区大会は（現在、跡地が郡山市立図書館駐車場になっている）市民会館でやったんだけども、俺たちは駐車場係だったな。

斎藤 当時の地区大会は第353区といって、福島・山形・秋田の3県から集まつたので、運営は今の地区大会以上にたいへんでしたね。その地区大会のときには、柳沼恒五郎さん（先代）がガバナーサービスにオフセット印刷機を持ち込んで、タイピストが今行われたばかりの大会の様子を打ち込んで印刷した速報版を作成して、その日のうちに来場者に渡したんですが、これがものすごく好評でした。ただし、作る方は本当にたいへんでしたけど。

太田 先進的なことをやっていたんですね。



「互恵」でまとまっていた昔のロータリー

太田 それでは次に、新城さんの入会当時の様子を教えていただけますか。

新城 私は昭和51年に入会しましたが、当時の郡山RCは商工会議所とぴったり一体でした。会頭、副会頭は皆ロータリーに入会していましたから。それから、政治的には郡山市ともぴったりでしたね。そういうわけで、すべてがうまくまとまっていた。

こんなことを言うと怒られるかもしれません

が、ポール・ハリスが相互扶助の精神でロータリーを作った。次に会員がいっぱい集まって互恵、つまりお互が儲かるということでロータリーが栄えた。……40年前に私が入った頃の郡山RCはそれと同じで、すべてが自分の仕事と結びついていた。そこで、郡山に事務所を持つ企業の支店長さんはみんな郡山RCに入会した。そして、言い方は悪いけれど、仕事をもらった。だから当時は、「奉仕」なんていうことはほとんど考えていなかったような気がします。

ロータリー草創期の指導的メンバーだったが、後に退会したアーサー・フレデリック・シェルドンも言っていましたが、国際ロータリーも昔は「互恵」に重点を置き、自分たちだけでしかやらない、自分たち以外の人は入れないというところがあった。そういう、(直接的なメリットを軸とした)きちっとしたまとまりがあったんです。

そこで今、郡山ロータリークラブに所属している約40人の支店長・所長さんたち、この人たちには郡山RCに所属する価値をどこに見出してくれているのか、昔のロータリーのように互恵を重視してまとまっているのか、そして、この先100周年に向けてずっと郡山RCの価値を認めていてくれるのか。……このことは、今の若いリーダーたちに課せられた大きな課題であると思います。他クラブの中には、会員の利害であるとか政治的なことを持ち込んだ結果、メンバーが大幅に減少してしまった所もあるので、80周年を一つの機会にこのあたりを検証し、当クラブの存在意義、あるいは求める会員像というものをきちんと考えていくことも必要なではないでしょうか。

太田 今、「互恵」という言葉が出ましたが、たしかに昔はそうだったんでしょうね。今は100人超のメンバーがいるわけですが、お互いにいろいろと都合あいましょうという感覚はあまりないですよね。

新城 ないです。今の時代はその方が良いのか



もしません。

太田 考え方の分かれるところかもしれませんね。郡山クラブならではのステータスを維持できるのであれば、(メンバーにあることによって仕事に)何らかの影響、恩恵があってもいいという考え方もあるでしょうし。……実はこのあたりは、本日の座談会の中心をなす部分だと思っているのですが、当クラブがこれからも「変えてはいけないこと」と、逆に「変えた方がいいんじゃないの」という部分について、最終的になんなく棲み分けができるといいのかなと思っています。

それでは次に、安藤さんの入会当時のことなどを伺えますか。

安藤 今の話ですけど、昔は町の規模もロータリーの組織も小さかったので、何事も「村社会」の中で済んだんだよね。今は当クラブに所属している転勤族の皆さんのが、それぞれにナショナルブランドを背負っているわけだから、昔のようなわけにはいかない。もちろん昔はそれで良かったわけだけど、やはりちょっと時代が変わったということなんでしょうね。

太田 すみません、その「昔は良かった」とか「時代が変わった」とかいうのは、いつ頃のことを言うんでしょうね。

安藤 だいたい30年くらい前までじゃないでしょうか。それ以前は、仕事のことにしても、飲みに行くにしても、だいたいロータリーのメンバーの中で事足りていた。酒はここ(新城商店)で売ってるわけだし(笑)。でも、今はそんな単純な話じやすまないわけだから、やっぱり(クラブのあり方も)変わっているかないとね。

滝田 昔のロータリーには大ボス、大御所がいて仕切っていた、というかまとめていた。太田辰雄先生がそうで、政治とまではいかないけれども(郡山の)動向は辰雄先生の差配で動いたようなところがあったように思います。それと商業関係は、やはり(商工会議所)会頭と副会頭。よく例会が終わった後「これから三役会やるぞ」と言うので、何の三役会だろうと思っていると、会議所の三役会。……ロータリーが郡山を動かしていたと言つてもいいくらいでしたね。

太田 今のお話を聴きながら、東北6県連合の年

次大会をたいへんな苦労をしながらやり遂げた。その苦労を乗り越えたことが、当クラブの「結束力」になってきたのではないかなと感じました。僕が会長のとき、彌三郎さんから「昔は今よりもよっつちゅう会議をやってたけど、この（皆が集まる）雰囲気っていうのが大事なんだよ」と教えていただきましたが、そういうことが今日へと繋がっているんですよね。

斎藤 繋がっていますね。

太田 昔は今と違ってイベント屋に丸投げなんてことはできなかったから、当然すべてが手づくりだった。苦労も多かったけれど、その分達成感も大きかったということなんでしょうね。

斎藤 それと、若手の中にも柳沼恒五郎さんみたいな非常に指導力のある方がいて、よくまとまっていましたね。

太田 その柳沼恒五郎さんが会長のときには、(創立) 35周年をやっているんですね。戦時中の言論統制下にあっても「金曜会」と名を変えて活動していたこともそうですが、皆が苦労を共にしてきた。……この「結束力」が今に繋がってきてるように思うんですが、新城さん、いかがですか。

新城 当時は「結束力」という以上に、滝田さんの言った太田辰雄先生もそうですが、初代（会長）の橋本万右衛門さんはじめ、巨大な力というか、強力な指導者の指令で動いていたところがあった。だから、われわれが考えなくてはならないのは、今はそういった巨大な力を持った人はいないし、また（時代が）そういうムードでもない中で、このクラブをどうやって動かしていくのかということ。……このようなことを言うとたいへん失礼だけれど、今の郡山クラブには（商工会議所の）会頭や（ロータリーの）ガバナーをやつた方、あるいはその子どもさんは誰もいないんですよ。津野（喜七）さんの息子さんもいない、滝田（元二）さんの息子さんも入っていない。（初瀬行雄さんの婿の）初瀬（照夫）さんがいるだけなんです。……郡山クラブでは二言目には「歴史と伝統」と言いますが、このあたりについてはちょっと残念に思いますね。



ガバナーを輩出するということ

太田 当クラブではこれまでガバナーを4人輩出しているわけですが（兼子俊一氏、平松信武氏、作田正治氏、初瀬行雄氏）、これは多いと言っていいんですよね。

滝田 一つのクラブとしては多いですね。

新城 福島クラブの5人に次ぐ数ですね。それと確かに、いわき平クラブも4人ですね。当クラブが福島より少ないので、初瀬（行雄）さん、佐久間（有寿）先生ら郡山地区のパストガバナーは、皆さん早く亡くなってしまったことなどがあって、こちらからは声を上げにくかったということがあります。

太田 私がなぜ（ガバナー輩出数を）聞いたかというと、ガバナー輩出クラブでは年次大会とかを中心となって開催しますよね。そうすると会員皆でガバナーをバックアップしなくてはならないわけで、あれをやらなくちゃならない、これをやらなくちゃならないということで集まって話をしたり、飲んだりという機会が増えてくる。そうすると自然に会員同士の連携が密になって結束力が強まってくる。……皆さんのお話を聴きながらそんなことを感じたので、クラブからガバナーを出すということもいいことなのかなと、そう思ったんです。

安藤 そういう意味では、よっちゃん（新城義雄さん）あたりがガバナーやった方がいいんだな、やっぱり（笑）。

新城 いや、それはともかく、郡山（中央分区）からはちょっと前に根本（一彌）さん（2010～2011年度 2530 地区ガバナー）、伊藤（浩）さん（2011

～2012年度2530地区ガバナー）と2人続いてガバナーを出したので次は1回休みといった意見が（ガバナー指名委員会で）出されている。そうなると中央区からは8年の間ガバナーを輩出することができないわけですが、会員数で言えば500人近くを擁する中央区が一番多いのだから、そのあたりはもっと柔軟に考えることがあってもいいように思います。

太田 クラブとしてガバナーを出す、と言うよりガバナーを「育てる」。そうすることによってクラブがよりまとまり、一気に雰囲気がよくなる。……そんな可能性はありますよね。あとお聞きしたいと思っていたのは、当クラブからはじめてガバナーに選出された兼子（俊一）さん（1966～1967年353地区ガバナー）。この方は私の友人のお父さんですけど、どんな方だったんでしょうかね。

斎藤 兼子先生は、ガバナーの優等生です。

太田 それはどういう点においてですか。現在のガバナーとはどういう風に違って、どんな風に地区を引っ張っていったのか、そのあたりに興味があるんですが。

滝田 ガバナーもそうですが、あのときは今で言うガバナー補佐……当時は地区幹事が非常にうまく支えたということもあった。あのときの地区幹事は誰だったかな……。

斎藤 ちょっと思い出せないけど、一番表に立っていたのは、やっぱり柳沼恒五郎さんだったね。

滝田 柳沼さんは、（太田）辰雄先生の代弁者だったのかもしれないね、声がでかいから（笑）。柳沼さんと張り合っていたのは山下（幸雄）先生くらいで、二人がやり合い始めるとそこでだいたいのことは決まってしまうので、あのメンバーは黙っていましたね。

新城 山下さんとは麻雀をやったことがありますよ。平松（信武）さんと滝田（元二）さんと一緒にね。滝田さんに、「おまえの親父は麻雀やらないから、おまえが代わりにやれ」なんて言われて仕方なくね（笑）。

太田 皆さん、昔の先輩は怖かったとおっしゃいますけど、僕が入会したときは滝田（金之介）さんが会長だったからいろいろ教えていただきましたし、僕が会長をやったときにもご相談をさせて

いただきましたけど、やっぱり怖いですよ。おそらく昔、皆さんのが先輩を怖がっていたのと同じくらい怖いと思うんだけど、どうですかね（笑）。

斎藤 昔は例会の時の席をくじ引きで決めていたときもあって、6人がけのテーブルをグルグル回るんだけど、私が太田辰雄先生の隣に座ったとき、先生はちょっと耳が遠かったので「今なんて言ったの」なんて聞かれたことがあって、私ちゃんと聞いていなかったのでブルブルと震えたがありましたね。

太田 辰雄先生なんかと同席されたときは、どんなお話をされたんですか。

斎藤 基本的には無口な方でしたけど、まあ普通の話ですね。

滝田 あの当時のメンバーは、とにかく個性が強かったね。怖がられている人も何人かいて、オレが幹事のときには、（会長の）安ちゃん（安藤真男さん）についても、「あの人睨まれると言葉が出てこない」なんていうことで、なんでも幹事に言ってきた。

太田 その当時とくらべると、今は個性は薄れてきていますか。

滝田 だって、今は会長が例会で新入会員の入会について諂るときなんか、皆黙っていてなんにも言わないけれど、昔は「ダメだ、あんなバカ！」って感じでしたから（笑）。時代も違うんだろうけど、（入会候補者の人となりは）皆わかっていたし、いわゆるご意見番と言われる方からの意見もあつたりして、やっぱりあの人はマズイだろうということになって（推薦が）取り消された人は何人かいましたね。……今は、会員選考委員会の推薦を基に理事会できちんと協議した上で決められますけどね。



ロータリー会員数が減少する中で

滝田 ところで現在、ロータリーの会員数は全国的に減少してきているので、現に岩手は宮城と一緒にしたらどうかというような地区割りの見直しが言われ始めています。そうなってくると青森は秋田と、福島は山形と一緒にになって、昔のように東北地方が3つの地区に再編される可能性だってある。……しかし、自分はかつて東北のいろいろな地区を回ったことがあって感じたけれど、たとえば一言で青森とは言っても、南部地方と津軽地方ではまったく異なった文化や気風があって、必ずしも仲が良いわけではない。山形だってそうで、村上、最上、置賜、庄内とそれぞれのお殿様時代から続く人間、地方閥があるので、これをさらに福島と一緒にするとなると、なかなかたいへんだ。会員がどんどん減ってくれば（地区再編は）やむを得ないことなんだけれども、でもそう簡単にできることではないですね。まあ、福島の中通りは元々雑種というか、全国から集まつた人たちの寄せ集めだからあんまり問題はないと思うけれど……。

太田 全国的にロータリーの新入会員や総会員数が減少する中、当郡山クラブはコンスタントに100人の会員数が確保されていて、新城さんが時々「2クラブに分けられる可能性があるから、（会員数）120名は超えないようにした方がいいぞ」と言うくらい恵まれた環境にありますよね。このあたり、減少になかなか歯止めのきかない他のクラブとは何が違うんでしょう。考え方とか雰囲気とか……。

滝田 その最大の理由は、いわゆる派閥がないということでしょうね。職業による派閥じゃなくて人間の派閥。……クラブの中に人間の派閥があると、「これはこうだ！」と声でかいやつが言うことでクラブが動いてしまうようになって、そうすると派閥に属しないメンバーは面白くないから辞める。だから、パスト会長なんかも辞めてしまうようになる。会長を経験したメンバーが簡単に辞めてしまうなんて、ちょっと考えられないですよ。

太田 そのあたり当クラブはコントロールされているというか、そもそも派閥のようなものは最初から排除されるような気がしますが……。今後も



若いメンバーが派閥を作らないようにやっていくためには、何に気をつけていくべきでしょうか。

滝田 派閥というのは、わざわざ作ろうとしなくてもできてしまったりするものだけど、なるべく作らないように意識することは大事でしょうね。

よく言うんだけど、このままいくと、いわゆる「青年会議所（JC）閥」というものができてしまう可能性はありますよね。入会させやすいので、どうしてもそうなってきちゃう傾向はある。

斎藤 たしかにそうですね。でも良い面もあるよね。多くはリーダーシップのある優秀な人たちだから。

太田 実際のところ、JC出身の人たちと非JCの人たちがぶつかるとかいうことはありませんよね。

新城 ないですね。ただし、あまりJC出身者ばかりが多くなってしまうとバランスを欠くという心配はある。それと、郡山クラブばかりがJCOBを集めてしまうことがはたして良いのかという問題もある。地区全体のレベルアップを図っていくことも考えなくてはならないですね。

滝田 郡山にはJC以外にも、たとえば商工会議所青年部とか農業青年会議所とかいろいろな団体があるわけだけれど、そういういたたちは数えるほどしか入っていない。だから、JC出身者が数の論理でクラブを仕切るようになったら困るな、とは思います。

新城 でもまあ、郡山ロータリークラブは何事につけても大人なんですよね。基本的に政治的なことは持ち込まないし、口に出さないという（暗黙の）了解がある。たとえば、私には個人的に推している政治家がいますが、お亡くなりになった菊池（辰夫）先生は別の方を推していた。でも、そ

のことで何か言い合ったりしたことは一度もないし、お互いの立場を尊重もしていた。それが派閥を作らない基になっている。……そういうところをとっても、郡山クラブは大人のクラブと言えるんじゃないでしょうか。

太田 そうですね。お互いに気をつける、相手のことを慮（おもんばかり）る。そういう感覚を郡山クラブの皆さんには、自然と身につけていますよね。他人の立場をよく考えてあげるというのはとても大事なことで、そのことがきちんと守られているから派閥もないし、雰囲気も良く保たれている。個人的な主義主張はあっても大人の対応をする。……これは、続けていってもいいですよね。というか、続けていかなくてはいけない点ですね。

安藤 人間のキャパがね、大きい人だけが入ってくれば、そういう（派閥ができるという）問題は自動的に消滅する……。

太田 それは先輩たち……怖い先輩たちがきっちと見極めて、「あいつはダメだ」とか言いながら、守ってきたところなんでしょうね。ロータリークラブにとってここが大事だぞ、と。

ロータリアンに求められる資質

太田 馬場先生のお聞きしたかったのは、医師がロータリーに入会することについて、どうお考えですか。……僕自身は、すごく良かったと思っているんですけど。

馬場 さっきも言ったように、視野が広がった。やはり、このことが一番ですね。

太田 そうですよね、われわれは狭い世界にいますからね。

馬場 そうそう、ちょっと社会常識に欠けるところもあるし。

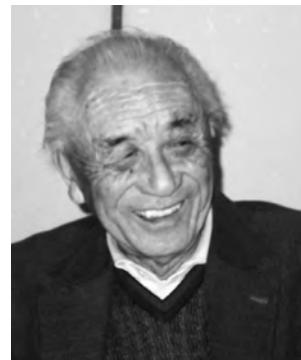
新城 それで思い出したけれど、最近の当クラブの職業分類を見てみてください。お医者さんがずいぶん少なくなりましたよ。かつては太田病院が5人、寿泉堂は3人くらいいたときもあったんですから。私たちの思いとしては、総じてお医者さんは皆レベルが高いんだから、そういう方がいっぱい入ってくれた方が、品格の高いクラブになっていくんじゃないのかな、という思いもあります。

馬場 例会日が変わったことも（医師会員の減少要因として）あるかもしれませんね。昔は金曜日だったでしょう。それが木曜日になってしまって、私もまいっちゃった。

太田 私も金曜が例会の時に入会しましたけど、木曜日は外科の手術日にあたっていたんですよね。金曜日を空けるために木曜日に手術を組んで、金曜日は他の先生にお願いしてなんとか出てきていたので、木曜日になってしまらくの間は出てくることができませんでしたね。

安藤 例会日を木曜日に変えたのは私が会長のときなんだけれど、あの当時はいわゆる出張所の皆さん……郡山支店長を務めていた人たちが、金曜日は本社で会議があるというので皆欠席になってしまっていたんです。それで、当時はクラブ同士の出席競争なんてのも盛んだったし、郡山クラブにとってあの出張族の会員たちは外部の人たちとの窓口として欠かせない人たちだから、やむなく例会日を木曜日に変更したんです。

斎藤 時代が変わって土曜日が休日になってきたでしょう。だから、金曜日の会合がすごく増えたんですね。



不易流行

太田 それではそろそろ一応まとめに入りたいのですが、最終的に（郡山RCが）変えちゃいけないところというのは派閥を作らないところ、今の良い雰囲気を保つことといったところなんでしょうけど、逆に変えなくちゃいけないところとなると、先ほど「ガバナー（輩出）を何とか考えろよ」、「そろそろガバナー、なんとかしなくちゃいけないんじゃない」という話が出ましたけど、そのあたりは課題ですかね。あとはどうでしょう、これは100年後も変えるなよ、とか、ここは見直した方がいいとか……何かありませんか。

新城 今はあまり（中央分区内各クラブの）テリ

トリーについては言わなくなつたので、あまり気にしなくてもいいのかなと思うんだけど、当クラブのテリトリーは昔の定めでは旧国道4号線（現なかまち夢通り）の東部で北は大町・逢瀬川あたりまで、南は県道下行合線まで成り立っているんだけど、もうそこには（会員候補者や事業所は）いなくなっていますよね。一方、近隣にはたとえば朴（ボーキ）さんのような大きなところでまだ当クラブに入っていないところがあるので、今後は積極的に勧誘を行っていったりすることも必要なのではないでしょうか。

滝田 あそこは元々西クラブの区域なので、ちょっと問題かもしれない。

斎藤 今はもう、実際問題としてテリトリーはありませんよね。

一同 実際にはないですね。

安藤 時代に合わせてどんどん変えていくべきでしょうね、そのあたりは。古くさい考え方、カビの生えたような考えに縛られていたら、若い人なんか入ってこないんだから。

神山 そのとき、女性の入会についてどう考えるか。やはり論点はそこでしょうね。100人（という会員数）を今後も守っていくためにはどうするのか……。

安藤 原点に回帰してもらわないと困るな、その点は。

滝田 そこは今までいいんじゃないかな。

新城 今ままってことは「(女性は)入れない」ってことだよね。まあそこは、「入れるな」とは言えないので、心情として「なるべく控えて欲しい」ということだね。

滝田 一番顕著なのはクリスマス例会みたいに女性を混ぜるときだよ。必ず決まった女同士が1ヵ所にバッ集まる。まあ群がるってのは女の習性だからしょうがないんだけど（笑）。

太田 それこそ、派閥みたいになってしまうわけですね。

滝田 だからこのことにはノータッチとしておいた方がいいんだよ。表立って入会させないとは言えないんだから、裏で「ダメ」と言えばいいんだって。……というか、ロータリー全体として女性会員を入れていくことに異を唱えるつもりはないが、郡山RCが率先してやることない。そのくらいのこだわりはあっていいんじゃないかな。

太田 不易流行という言葉がありますが、「歴史と伝統」ということと、時代とともに変わっていくということの境界をどこに求めるかというのは、なかなか難しい問題ですね。

ちょっときわどい内容も含めていろいろな話題が出ましたが、今日は大先輩の貴重なお話をうかがうことができましたので、これからることは若いメンバーたちに委ねていくことも大切なことでしょうね。郡山RCは自立した大人のクラブですから、それで大丈夫でしょう、きっと。

予定した時間になりましたので、80周年の座談会はこのあたりで閉じさせていただきます。本日はありがとうございました。



歴代会長・幹事（初代から平成16年度まで）

年 度	郡山RC会長	郡山RC幹事	年 度	郡山RC会長	郡山RC幹事
昭和10年～昭和11年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和44年～昭和45年	作 田 正 治	小 林 邦 利
昭和11年～昭和12年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和45年～昭和46年	作 田 正 治	安 藤 尚 二
昭和12年～昭和13年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和46年～昭和47年	柳 沼 恒五郎	初 瀬 行 雄
昭和13年～昭和14年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和47年～昭和48年	遠 藤 弥三次	三 澤 敬 典
昭和14年～昭和15年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和48年～昭和49年	滝 田 元 二	滝 田 金之介
昭和15年～昭和16年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和49年～昭和50年	鈴 木 壮 一	増 子 七 郎
昭和16年～昭和17年	(金曜クラブ)		昭和50年～昭和51年	阿 部 博	増 子 康
	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和51年～昭和52年	山 下 幸 雄	安 部 正 一
昭和17年～昭和18年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和52年～昭和53年	山 ノ 井 総 雄	安 藤 澄 一
昭和18年～昭和19年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和53年～昭和54年	金 森 健	藤 沼 栄 一
昭和19年～昭和20年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和54年～昭和55年	初 瀬 行 雄	宮 本 一 郎
昭和20年～昭和21年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和55年～昭和56年	三 澤 敬 典	伊 藤 彦 一
昭和21年～昭和22年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和56年～昭和57年	安 藤 真 男	新 城 義 雄
昭和22年～昭和23年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和57年～昭和58年	小 林 邦 利	佐 久 間 崇 之
昭和23年～昭和24年	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和58年～昭和59年	湯 浅 恭 一	池 田 惣 一
昭和24年～昭和25年	ロータリー復帰		昭和59年～昭和60年	今 泉 龍 造	阿 部 貞 彦
	橋 本 万右衛門	大 島 正	昭和60年～昭和61年	斎 藤 弥三郎	橋 本 善 郎
昭和25年～昭和26年	福 内 和 介	渡 辺 雅 吉	昭和61年～昭和62年	嶋 日出夫	鈴 木 多 重
昭和26年～昭和27年	福 内 和 介	渡 辺 雅 吉	昭和62年～昭和63年	高 橋 光 男	横 田 一
昭和27年～昭和28年	金 森 五 郎	遠 藤 安 一 郎	昭和63年～平成元年	滝 田 金之介	関 川 榮
昭和28年～昭和29年	金 森 五 郎	遠 藤 安 一 郎	平成元年～平成2年	増 子 康	誠
昭和29年～昭和30年	太 田 辰 雄	遠 藤 安 一 郎	平成2年～平成3年	木 下 隆 夫	林 池 勝
昭和30年～昭和31年	太 田 辰 雄	遠 藤 安 一 郎	平成3年～平成4年	馬 場 一 郎	武 田 良 夫
昭和31年～昭和32年	兼 子 俊 一	平 松 信 武	平成4年～平成5年	宮 本 一 郎	石 井 敏 久
昭和32年～昭和33年	兼 子 俊 一	平 松 信 武	平成5年～平成6年	新 城 義 雄	橋 本 宏
昭和33年～昭和34年	新 城 栄 一	長 尾 重 延	平成6年～平成7年	安 藤 澄 男	根 本 駕 郎
昭和34年～昭和35年	新 城 栄 一	長 尾 重 延	平成7年～平成8年	伊 藤 寿 彦	山 田 蘭 爾
昭和35年～昭和36年	金 森 五 郎	坂 本 武 夫	平成8年～平成9年	佐 久 間 崇 之	福 内 浩
昭和36年～昭和37年	藤 田 栄 久	滝 田 元 二	平成9年～平成10年	池 田 惣 一	高 橋 和
昭和37年～昭和38年	平 松 信 武	滝 田 元 二	平成10年～平成11年	武 田 良 夫	安 倍 元 雄
昭和38年～昭和39年	平 松 信 武	柳 沼 恒五郎	平成11年～平成12年	阿 部 貞 彦	橋 本 半 兵 衛
昭和39年～昭和40年	黒 沢 忠 直	柳 沼 恒五郎	平成12年～平成13年	関 川 荣	今 泉 正 規
昭和40年～昭和41年	黒 沢 忠 直	津 野 喜 七	平成13年～平成14年	鈴 木 多 門	平 松 敏 郎
昭和41年～昭和42年	長 尾 重 延	嶋 日出夫	平成14年～平成15年	橋 本 善 郎	大 河 原 宏 之
昭和42年～昭和43年	長 尾 重 延	斎 藤 弥三郎	平成15年～平成16年	菊 池 勝	鈴 木 穎 夫
昭和43年～昭和44年	渡 辺 安 衛	山 ノ 井 総 雄	平成16年～平成17年	福 内 浩	大 野 勝 久

歴代役員・理事・委員長 (平成17年度以後)

	平成17年～18年 (2005～2006)	平成18年～19年 (2006～2007)	平成19年～20年 (2007～2008)	平成20年～21年 (2008～2009)	平成21年～22年 (2009～2010)
会長理事	根本 鎮郎	太田 宏	高橋 良和	今泉 正規	林 誠
会長エレクト	太田 宏	高橋 良和	今泉 正規	石井 敏久	石井 敏久
副会長理事	高橋 良和	今泉 正規	林 誠	遠藤 喜志雄	遠藤 喜志雄
会計理事	内山 忠	有馬 賢一	能勢 秀幸	茅根 務	柳谷 昭一
理事	福内 一浩	根本 鎮郎	太田 宏	高橋 良和	今泉 正規
理事(職業奉仕)	安藤 澄男	小林 良一	橋本 半兵衛	安倍 元雄	新城 義雄
理事(社会奉仕)	橋本 半兵衛	熊田 智光	鈴木 稔夫	阿部 和博	神山 英司
理事(国際奉仕)	鈴木 淳策	菊池 勝	神山 英司	大野 勝久	鈴木 稔夫
理事(新世代奉仕)					
理事(青少年奉仕)					
幹事	遠藤 喜志雄	石黒 秀司	遠藤 友紀晴	湯浅 大郎	鈴木 正晃
副幹事	石黒 秀司	遠藤 友紀晴	湯浅 大郎	鈴木 正晃	初瀬 照夫
S・A・A	鈴木 正晃	佐藤 尚宏	福島 佳之	閑根 信	阿部 充宏
副S・A・A	佐藤 尚宏	福島 佳之	閑根 信	阿部 充宏	堀川 紀房
クラブ奉仕①	高橋 良和	今泉 正規	林 誠	石井 敏久	遠藤 喜志雄
(出席)	五十嵐 香平	関川 榮	菊池 章治	佐藤 摩利雄	羽根 善之助
(クラブ会報)	林 誠	鈴木 則雄	寺田 雅	山部 裕一	福島 佳之
(親睦活動)	遠藤 友紀晴	閑根 信	菅野 秀士	佐藤 尚宏	佐藤 尚宏
(雑誌)	鈴木 則雄	大和田 憲司	安倍 敬典	三澤 青己	青砥 清己
(プログラム)	福島 佳之	湯浅 大郎	初瀬 照夫	菅野 秀士	佐藤 摩利雄
(広報)	安斎 善治	鈴木 淳策	羽根 善之助	羽根 善之助	佐久間 崇之
(クラブ奉仕②)	太田 宏	高橋 良和	今泉 正規	林 誠	石井 敏久
(職業分類)	佐藤 修朗	佐久間 崇之	阿部 和博	菊池 勝	増子 康
(会員選考)	横田 重一	滝田 金之介	菊池 義雄	新城 義雄	安藤 澄男
(会員増強)	阿部 晃造	新城 義雄	新城 義雄	佐久間 崇之	大野 勝久
(ロータリー情報)	大河原 宏之	鈴木 稔夫	大野 勝久	遠藤 喜志雄	石黒 秀司
職業奉仕	安藤 澄男	小林 良一	橋本 半兵衛	安倍 元雄	新城 義雄
社会奉仕	橋本 半兵衛	熊田 智光	鈴木 稔夫	阿部 和博	神山 英司
(新世代)	佐藤 真人	阿部 晃造	佐久間 啓	堀川 紀房	根本 鎮郎
(環境保全)	平松 敏郎	佐藤 摩利雄	阿部 晃造	鈴木 稔夫	井ノ口 善嗣
国際奉仕	鈴木 淳策	菊池 勝	神山 英司	大野 勝久	鈴木 稔夫
新世代奉仕					
青少年奉仕					
ロータリー財団	佐久間 啓	鈴木 多門	石井 敏久	福内 一浩	太田 宏
米山記念奨学会	新城 義雄	武田 良夫	福内 一浩	根本 鎮郎	福内 一浩
ニコニコBOX	初瀬 照夫	塩谷 昌三	鈴木 正晃	小林 良一	五十嵐 香平
会員数(7月1日現在)	100	102	99	100	97

	平成22年～23年 (2010～2011)	平成23年～24年 (2011～2012)	平成24年～25年 (2012～2013)	平成25年～26年 (2013～2014)	平成26年～27年 (2014～2015)
会長理事	石井 敏久	遠藤 喜志雄	神山 英司	鈴木 稔夫	石黒 秀司
会長エレクト	遠藤 喜志雄	神山 英司	鈴木 稔夫	石黒 秀司	大野 勝久
副会長理事	神山 英司	鈴木 稔夫	石黒 秀司	大野 勝久	遠藤 友紀晴
会計理事	有馬 賢一	鈴木 孝雄	野崎 潔	千葉 貴弘	竹内 誠司
理事	林 誠	石井 敏久	遠藤 喜志雄	神山 英司	木村 弘郎
理事(職業奉仕)	五十嵐 首平	石黒 秀司	遠藤 友紀晴	安藤 澄男	丸山 弘郎
理事(社会奉仕)	小田 修史	安藤 澄男	阿部 晃造	佐藤 修朗	湯浅 大郎
理事(国際奉仕)	関根 信	大槻 努	佐久間 啓	遠藤 友紀晴	太田 宏
理事(新世代奉仕)	佐藤 修	藤修朗	太田 宏	湯浅 大	木正晃
理事(青少年奉仕)					木正晃
幹事	初瀬 照夫	福島 佳之	佐藤 尚宏	池田 達哉	菅野 秀士
副幹事	福島 佳之	佐藤 尚宏	池田 達哉	菅野 秀士	木村 策彦
S・A・A	堀川 紀房	佐藤 政弘	有賀 隆宏	中原 喜範	安藤 紀彦
副S・A・A	佐藤 政弘	有賀 隆宏	中原 喜範	安藤 紀彦	橋本 勝
クラブ奉仕①	神山 英司	鈴木 稔夫	石黒 秀司	大野 勝久	遠藤 友紀晴
(出席)	小倉 清明	鈴木 淳策	菅野 秀士	関根 信聰	堀川 紀房
(クラブ会報)	安藤 紀彦	橋本 謙一	堀川 紀房	佐藤 晴房	中喜範
(親睦活動)	佐藤 聰	中原 喜範	橋本 勝	堀川 紀房	隆宏
(雑誌)	佐藤 真人	遠藤 友紀晴	安藤 紀彦	阿部 和博	高橋 一晃
(プログラム)	丸山 弘	堀川 紀房	佐藤 聰	橋本 謙一	幕田 宇一
(広報)	鈴木 則雄	池田 達哉	山口 松之進	高橋 裕一	佐藤 聰
(クラブ奉仕②)	遠藤 喜志雄	神山 英司	鈴木 稔夫	石黒 秀良	大野 勝久
(職業分類)	福内 一浩	新城 義雄	林 誠	高橋 和雄	菊池 義雄
(会員選考)	新城 義雄	福内 一浩	菊池 勝	新城 義雄	瀬城 照夫
(会員増強)	石黒 秀司	小林 一良	新城 義雄	林 初瀬 照夫	福丸 山弘
(ロータリー情報)	遠藤 友紀晴	湯浅 大郎	木正晃	島 浩弘	島 浩弘
職業奉仕	五十嵐 首平	石黒 秀司	遠藤 友紀晴	安藤 澄修	湯浅 大郎
社会奉仕	小田 修史	安藤 澄男	阿部 晃造	佐藤 修朗	大野 勝久
(新世代)	阿部 充宏				
(環境保全)	佐藤 修朗	菅野 秀士	幕田 宇晃	小田 修史	木村 謙一
国際奉仕	関根 信	大槻 努	佐久間 啓	遠藤 友紀晴	太田 宏
新世代奉仕		佐藤 修朗	太田 宏	湯浅 大郎	
青少年奉仕					木正晃
ロータリー財団	大野 勝久	橋本 半兵衛	根本 鎮郎	阿部 充宏	今泉 正規
米山記念奨学会	阿部 和博	三澤 敬典	大野 勝久	木淳策	関根 信
ニコニコBOX	羽根 善之助	柳沼 恒五郎	鈴木 淳策	佐藤 政弘	阿部 充宏
会員数(7月1日現在)	98	96	96	99	99

入会記録

チャーチメンバー

安藤 久兵衛 不二印刷所主
 薄井 貢 (名)うすい代表社員
 遠藤 安一郎 沢屋本店主
 大島 正 (資)信興社代表社員
 大平 勇 太田病院副院長
 金森 五郎 郡山脳病院院長
 斎藤 久之丞 富久商店主
 斎藤 秀雄 (資)丸大株式店代表社員
 佐藤 伝三郎 (株)商業銀行取締役
 佐藤 安二 (株)商業銀行常務取締役
 鳴原 専次郎 扇屋木材店主
 鳴原 弥作 扇屋本店主
 島村 芳三 日東紡績(株)郡山第二工場長
 鈴木 正雄 鈴木(名)代表社員
 高田 重 郡山清水台郵便局長
 滝田 保 郡山土地建物(株)常務取締役
 内藤 圓治 日東紡績(株)専務取締役
 橋本 新一 八島屋呉服店
 橋本万右衛門 橋本(名)社長
 広川 憲 日東紡績(株)郡山第一工場長
 広瀬 基 保土谷曹達(株)郡山工場長
 福内 和介 鈴木(名)社員
 星与 吉 星輝主
 森 平八 森商店主
 武藤 実 武藤歯科医院主
 山田 一郎 山田法律事務所主
 渡辺 健次 松尾屋商店主
 渡辺棄 吉 和久屋旅館主

昭和11年(1936)

今泉 得三 (株)丸伊呉服店社長
 根本 祐太郎 (名)根本商店代表社員
 斎藤 清雄 大日本電力(株)郡山事務所所長

佐藤 正雄 佐藤歯科医院主
 佐藤 春三郎 郡山病院院长
 遊佐 丑松 郡山無尽(株)専務取締役

再承認チャーチメンバー(昭和25.10.22)

阿部 金助 東小野屋糸店主
 安藤 久兵衛 郡山冷蔵製氷(株)社長
 遠藤 安一郎 沢屋商店主
 江播 力 東北振興アルミニウム(株)専務
 藤田 荣久 東洋工機(株)社長
 福内 和介 福内(名)社長
 橋本万右衛門 橋本(名)社長
 橋本 勇 日動火災保険(株)郡山支部支部長
 今泉 信一 今泉眼科病院院长
 金森 五郎 郡山脳病院院長
 兼子 俊一 松葉製糸(株)代表取締役
 菅野 源吾 郡山放送局局長
 松葉 二郎 松葉商店社長
 森田 勇 (株)郡山丸公魚市場専務
 仁井田 穏貞 仁井田本家店主
 大原 栄吾 大原商店主
 太田 一郎 中央病院院长
 太田 辰雄 太田病院院长
 斎藤 弥三郎 ツタヤ商店主(先代)
 斎藤 保吉 (名)つたや洋品店社長
 酒井 隆雄 酒井耳鼻咽喉科医院院長
 佐藤 伝兵衛 東邦銀行専務
 新城 栄一 新城商店主
 滝田 保 東部証券(株)社長
 高橋 国松 クラブ自動車商会店主
 渡辺弃 吉 和久屋旅館主
 湯浅 広平 郡山倉庫(株)社長
 遊佐 丑松 大東無尽(株)社長取締役

昭和25年(1950)

根 本 祐 一 (株)根本商店社長
竹 下 鷹 夫 富士銀行郡山支店支店長

仁井田 隠 貞 仁井田本家会長(再)

鬼 頭 正 男 NHK 郡山放送局局長

昭和26年(1951)

石 川 桃太郎 富士銀行郡山支店支店長
京 極 実 福島県南交通(株)常務取締役
青 木 幾 德 日本理化工業(株)郡山工場工場長
平 松 信 武 パラマウント硝子工業(株)社長
小 口 周 二 一力ホテル旅館主
吉 村 誠一郎 三菱電機(株)郡山工場工場長
中 谷 一 雄 日東紡績(株)第二工場工場長
小 泉 博 日本生命保険相互会社
福島県支社支社長
山 本 圭 一 日本理化工業(株)郡山工場工場長
湯 浅 大太郎 寿泉堂病院院長
寺 門 精太郎 日本通運(株)郡山支店支店長

昭和30年(1955)

和 田 清 重 日本通運(株)郡山支店支店長
長 尾 重 延 長尾薬局店主
横 田 寅五郎 エビヤ商店主
石 山 久 紀 秋田銀行郡山支店支店長
竹 内 資 郎 秋田銀行郡山支店支店長

昭和31年(1956)

星 一 郎 星第一病院院長
佐 藤 義 郎 東北軒店主
坂 本 武 夫 坂本鉄工所店主

昭和27年(1952)

渡 迂 安 衛 (有)渡辺安衛商店社長
種 橋 初 藏 (株)大東相互銀行社長
外 村 栄 一 日東紡績(株)富久山工場工場長

昭和32年(1957)

藤 田 栄 久 (再)
箭 内 守 信 東邦銀行取締役郡山支店支店長
宇 治 義 春 日東紡績(株)富久山工場工場長
笠 原 良 平 笠原製糸(株)須賀川工場工場長
森 田 栄次郎 富士銀行郡山支店支店長
藤 田 富美夫 (再)

昭和28年(1953)

加 藤 親 義 加藤歯科医院院長
安 達 良之助 日本専売公社郡山地方局局長
藤 井 富美男 日東紡績(株)第二工場工場長
滝 田 元 二 (有)滝田薬局代表取締役

昭和33年(1958)

小谷野 藤三郎 日本通運(株)郡山支店支店長
黒 沢 忠 直 大東相互銀行取締役社長
渡 迂 健 次 松尾屋カメラ店主(再)
河 野 秀 男 常陽銀行郡山支店支店長
津 田 辰士郎 日本生命保険相互会社
郡山支社支社長

昭和29年(1954)

佐 藤 達 二 (株)佐藤商店本店専務取締役
高 橋 健 三 高橋健三商店主
柴 田 延 雄 富士銀行郡山支店支店長
石 尾 利 勝 日本生命保険相互会社
福島県支社支社長
島 吉 三 島魚市場店主
若 月 定之助 旭自動車工業(株)社長

昭和34年(1959)

仁井田 穏 貞 (再)

安 部 善 吉	東邦銀行郡山支店支店長	加 藤 徳	東北カルシュウム工業 代表取締役
橋 本 半兵衛	(株)松川屋商店代表取締役(先代)	岡 部 芳 夫	NHK 郡山放送局局長
森 芳 郎	NHK 郡山放送局局長	白 土 松 寿	日本通運(株)郡山支店支店長
永 井 啓太郎	(株)三五八本店社長	小 野 次 雄	常陽銀行郡山支店支店長
児 玉 武	秋田銀行郡山支店支店長	安 藤 尚 二	(資)富屋酒造店社長
野 山 義 雄	常陽銀行郡山支店支店長	糠 沢 康 二	糠沢歯科機械店主
齊 藤 立哉	日東紡績(株)郡山第二工場工場長	嶋 日出夫	(有)シマ薬局専務取締役
橋 本 泰 吉	(株)ミツワ洋装代表取締役	鈴 木 壮 一	鈴木歯科医院院長
近 藤 喜 芳	福島民報郡山支社支社長	小 林 邦 利	(株)福豆屋代表取締役

昭和35年(1960)

若 林 晴 雄	富久山曹達(株)代表取締役
湯 浅 恭 一	寿泉堂綜合病院副院長
津 野 喜 七	(株)津野取締役社長
鈴 木 直 道	富士銀行郡山支店支店長
瀬 川 藤太郎	秋田銀行郡山支店支店長
柳 沼 恒五郎	三英堂店主

昭和38年(1963)

今 泉 龍 造	今泉女子専門学校校長
金 森 健	郡山精神病院理事長
小 原 謙 一	日東紡績郡山工場工場長
河 合 益 藏	三井生命保険相互会社 郡山支社支社長
齊 藤 弥三郎	齊藤弥三郎商店社長
山 下 幸 雄	山下医院院長
小 沢 泰	日東紡績郡山第二工場工場長
村 田 佳一郎	富士銀行郡山支店支店長
山ノ井 総 雄	(株)やまのい専務取締役
藤 田 清太郎	(株)マルシメ商店専務取締役
大 竹 左衛門	三菱電器(株)郡山製作所所長
小 針 幸太郎	郡山商工会議所会頭
三 浦 惣治郎	秋田銀行郡山支店支店長

昭和36年(1961)

作 田 正 治	作田電機(株)取締役社長
遠 藤 弥三次	株式会社(公)郡山魚市場 常務取締役
影 山 達 枝	日東紡績(株)郡山工場工場長
橋 本 岩 夫	日東紡績(株)富久山工場工場長
中 谷 一 雄	(株)郡山製作所取締役社長
東 条 清 意	東邦銀行郡山支店支店長
古 瀬 昇	日本生命保険相互会社 郡山支社支社長
杉 田 秀 雄	日本通運(株)郡山支店支店長
安 部 正 一	(株)宝化成商会代表取締役
富 田 篤	富田クリーニング取締役
池 田 牆 助	(有)三万石不二屋代表取締役

昭和39年(1964)

薄 井 典 夫	(名)うすい代表社員
高 橋 光 男	光建工業(株)取締役社長
林 和 一	東邦銀行郡山支店支店長
伊勢屋 昭一郎	三井生命保険相互会社 郡山支社支社長
山 田 万兵衛	片倉チッカリン(株) 郡山支店取締役支店長
安 藤 真 男	不二印刷(株)社長
門 馬 雄四郎	日本通運郡山支店支店長
小 山 義 一	専売公社郡山地方局局長
佐 藤 房 雄	郡山三東縫製(株)取締役社長

昭和37年(1962)

浜 津 美左夫	(株)浜津鉄工所代表取締役
太 田 幸 雄	日本生命相互会社 郡山支社支社長

高見 博 住友生命相互会社
福島支社支社長
上島 喜代志 日東紡績郡山第二工場工場長

中村 良知 常陽銀行郡山支店支店長
菅野 卓也 福島民友新聞社郡山支社支社長
小佐 嘉博 日本専売公社郡山地方局局長
塚本 伸夫 富士銀行郡山支店支店長

昭和40年(1965)

笠井 忠 日東紡績富久山工場工場長
佐坂 正平 NHK 郡山放送局局長
伴長忠 伴税務会計事務所所長
吉田 岩松 株伯養軒郡山支店支店長
平沢 重信 日本生命相互会社
郡山支社支社長
清野 金一郎 福島民報郡山支社支社長
北沢 良助 殖産相互銀行郡山支店支店長
山本 正作 明治生命相互会社
郡山支社支社長
高橋 富雄 株郡山製作所取締役社長
高橋 正 福島クボタ農機販売株社長

昭和42年(1967)

佐藤 信 (学)尚志学園理事長兼校長
佐川 俊則 秋田銀行郡山支店支店長
菊池 貞二郎 (有)郡山銃砲火薬店代表取締役
斎藤 立哉 (株)郡山製作所取締役社長(再)
田代 徳太郎 三井生命相互会社
郡山支社支社長
高田 正治 秋田銀行郡山支店支店長
渡辺 正男 旭本店取締役

昭和43年(1968)

浅見 進六 日本生命相互会社
郡山支社支社長
須永 俊郎 足利銀行郡山支店支店長
高木 輝治 日東工業株取締役社長
金田 正 東邦銀行郡山支店支店長
阿部 博 (株)阿部モータース代表取締役
柿崎 多喜男 殖産相互銀行郡山支店支店長
藤田 豊治 明治生命相互会社
郡山支社支社長
北原 要一 森永乳業郡山工場工場長
小林 三郎 旭写真館代表取締役
上羽 惣四郎 住友生命保険相互会社
福島支社支社長
佐藤 伝吉 札佐藤商店取締役次長
榎田 敬邦 NHK 郡山放送局局長
佐藤 正郎 大和証券(株)郡山支店支店長

昭和41年(1966)

河内 德司 住友生命相互会社
福島支社支社長
小椋 義正 三菱電機(株)郡山製作所所長
阿部 貞彦 おのや呉服店主
初瀬 行雄 郡山東芝商品販売(株)社長
本名 善兵衛 柏屋製菓(株)社長
今泉 正顕 郡山商工会議所専務理事
三沢 敬典 太田綜合病院耳鼻科部長
小口 光一 一力ホテル専務
大高 善兵衛 紅丸商事(株)社長
斎藤 信治 (株)斎藤家具店代表取締役
佐久間 有寿 医療法人安積保養園理事長
関川 栄達 関川栄達商店主
鈴木 一朗 (株)染本ホテル代表取締役
滝田 金之介 (株)太田屋旅館社長
坪井 栄成 坪井木材(株)専務取締役
横井 嵩 (株)日本一総本店専務取締役
鳴本 豊 明治生命相互会社
郡山支社支社長
橋本 修三 郡山専門店会理事長

昭和44年(1969)

国安 宏守 足利銀行郡山支店支店長
佐藤 定夫 東邦銀行郡山支店支店長
岩永 博 (株)日立郡山製作所代表取締役
小林 雄一 (有)小林商店専務取締役

河合 程一 国鉄郡山工場工場長
 増子 康 (有)増子商事代表取締役
 山口 哲雄 山桜酒造(資)代表社員
 渡里 成美 富士銀行郡山支店支店長

昭和45年(1970)

森戸 多右衛門 常陽銀行郡山支店支店長
 伊藤 敬一郎 東部瓦斯(株)福島支社支社長
 田中 健三 秋田銀行郡山支店支店長
 村松 常雄 福島民友新聞社郡山支社支社長
 田所 深 福島テレビ(株)支社長

昭和46年(1971)

江口 秀藏 住友生命保険相互会社
 福島支社支社長
 遠藤 義男 (株)遠藤義男建築設計事務所社長
 坪井 栄孝 坪井診療所所長
 村越 清 村越建設(株)社長
 増子 七郎 (株)増子会計センター社長
 勝見 周吉 大和証券(株)郡山支店支店長
 大根 一夫 日本生命保険相互会社
 郡山支社支社長
 斎藤 久之丞 富久(株)代表取締役(再)
 安藤 澄男 郡山製氷(株)代表取締役
 伊藤 寿彦 陸奥測量設計(株)代表取締役

昭和47年(1972)

遠藤 嘉助 松川屋代表取締役
 神田 昭四郎 足利銀行郡山支店支店長
 山崎 貞吉 富士銀行郡山支店支店長
 藤沼 栄一 梅林代表取締役
 国分 崇 こくぶん代表取締役
 常松 敏雄 馬淵建設(株)営業本部本部長
 武田 重夫 殖産相互銀行郡山支店支店長
 萩原 英夫 常陽銀行郡山支店支店長
 並木 良男 (株)FTV 郡山支社支社長

昭和48年(1973)

岡畑 達雄 大和証券(株)郡山支店支店長
 橋本 与代 (株)FTV 郡山支社支社長
 川上 博 住友生命保険相互会社
 福島支社支社長
 小島 鎮夫 秋田銀行郡山支店支店長

昭和49年(1974)

西村 栄 丸紅(株)郡山出張所所長
 糸沢 仁 (有)糸沢歯科商店代表取締役
 馬場 一郎 馬場医院院長
 山崎 修司 足利銀行郡山支店支店長
 向田 幸一郎 日本国鉄道郡山工場工場長
 渡辺 哲男 (株)ワタナベスポーツ代表取締役

昭和50年(1975)

宮本 一郎 宮本歯科医院院長
 萩原 久男 東邦銀行郡山支店支店長
 奥平 康博 殖産相互銀行郡山支店支店長
 川口 喜美夫 日本生命保険相互会社
 郡山支社支社長
 大久保 圭三 常陽銀行郡山支店支店長
 尾崎 元彦 郡山電報電話局局長
 高橋 升平 富士銀行郡山支店支店長
 沢枝 守 NHK 郡山放送局局長

昭和51年(1976)

菅野 達夫 東邦銀行郡山支店支店長
 佐久間 崇之 佐久間歯科医院院長
 横田 重一 海老屋駐車場店主
 高柳 晃 日豊通信工業代表取締役
 稲垣 嘉胤 (財)太田綜合病院副院長
 木下 隆夫 (財)太田綜合病院常務理事
 橋本 善郎 (株)橋本事務所常務取締役
 山口 哲典 福島県南酒販(株)専務取締役
 池田 惣一 三万石不二屋代表取締役
 山端 義文 大和証券(株)郡山支店支店長

平川 貫一	住友生命保険相互会社 福島支社支社長
半澤 廣一	(株)電通郡山支局支局長
津田 光一	NHK 郡山支局局長
新城 義雄	(株)新城商店代表取締役
野田 太正	野田歯科医院院長

昭和52年(1977)

鈴木 邦一	大東相互銀行取締役社長
宮城 守夫	郡山電報電話局局長
長崎 文雄	秋田銀行郡山支店支店長
栗山 明	日本海外文化協力センター理事
北島 君夫	東部瓦斯(株)福島支社支社長
芳賀 豊	常陽銀行郡山支店支店長
林 利勝	足利銀行郡山支店支店長
根本 二郎	根本歯科医院院長
吉田谷 憲治	富士銀行郡山支店支店長

昭和53年(1978)

小川 早苗	福島テレビ(株)郡山支社支社長
山田 華爾	山田眼科医院副院長
桑原 茂夫	日本生命保険相互会社 郡山支社支社長
橋本 隆吉	東部瓦斯(株)福島支社支社長
有賀 岩雄	(株)電通郡山支局支局長

昭和54年(1979)

橋本文夫	足利銀行郡山支店支店長
上南 哲也	大和証券(株)郡山支店支店長
古屋 昌範	東部瓦斯(株)福島支社支社長
川名 健司	日本交通公社郡山支店支店長
鈴木 一郎	(財)坪井病院副院長
寺戸 浩二	日本国有鉄道郡山工場工場長
福井 久雄	NHK 郡山放送局局長
山ノ井 健次郎	(合)山ノ井書店代表社員

昭和55年(1980)

藤田 清太郎	(株)ふくしま電広代表取締役(再)
吉田 趟夫	(財)太田綜合病院院長
栗本 三郎	殖産相互銀行郡山支店支店長
藤川 卯吉	東邦銀行郡山支店支店長
金川 幸二郎	日本生命保険相互会社 郡山支社支社長
棟居 稔	日本専売公社郡山地方局局長
菊池 章治	(有)越後屋代表取締役
片平 勤	常陽銀行郡山支店支店長

昭和56年(1981)

安倍 元雄	小原寺副住職
橋本 半兵衛	(株)松川屋商店常務取締役
中野 好文	(有)松広代表取締役
岡野 道雄	(株)岡野設計代表取締役
関川 栄	(有)関川本店代表取締役
鈴木 多門	(有)セントラル商事代表取締役
寺本 烈	富士銀行郡山支店支店長
吉原 正志	大正海上火災保険 福島支店支店長
栗盛 哲治	秋田銀行郡山支店支店長
武井 憲吾	東部瓦斯(株)福島支社支社長
井ノ口 善嗣	郡山ステーションビル(株) 常務取締役
亘理 英之	大和証券(株)郡山支店支店長

昭和57年(1982)

平等 宏	大正海上火災保険 福島支店支店長
金野 喜平	日本交通公社郡山支店支店長
柏 孝	日本専売公社郡山地方局局長
廣澤 康司	住友海上火災保険 福島支店支店長
兼子 有史	東北青写真工業(株)副社長
川村 忠	日産チエリー福島販売(株) 代表取締役専務
菊池 勝	(有)郡山銃砲火薬店専務取締役
太田 健三	(財)太田綜合病院常任理事
大高 善二郎	(株)ヨークベニマル専務取締役

佐藤 雅男	足利銀行郡山支店支店長	橋本 公宏	(株)ミツワ洋装代表取締役社長
加藤 宗吉	寿泉堂病院副院長	水沼 三郎	日本たばこ産業(株) 郡山支社支社長
武田 良夫	(有)武田商店専務取締役	薄井 斎	(株)うすい百貨店代表取締役
若月 満也	旭自動車工業(株)代表取締役	橋爪 宗次	東部瓦斯(株)福島支社支社長
吉田 晴彦	NHK 郡山放送局局長	泉 良三	日本電信電話(株) 郡山電報電話局局長
昭和58年(1983)		城倉 弘人	住友海上火災保険(株) 福島支店支店長
賀沢 梯一	常陽銀行郡山支店支店長	林 誠	(株)都市計画研究所代表取締役
岡田 好信	日本電信電話公社 郡山電報電話局局長	山内 治	トヨタオート郡山(株)社長
石井 敏久	(株)石井印刷所代表取締役	須藤 孝	東邦銀行郡山支店支店長
新野 義郎	富士銀行郡山支店支店長	昭和61年(1986)	
国分 隆	東邦銀行郡山支店支店長	千田 昭臣	(株)電通郡山支局支局長
森 駿夫	大和証券郡山支店支店長	宇野 健治郎	大和証券郡山支店支店長
大高 善興	(株)ヨークペニマル常務取締役	小寺 旦訓	富士銀行郡山支店支店長
大竹 司	そうご電器(株) 東北大丸代表取締役	佐藤 正武	秋田銀行郡山支店支店長
昭和59年(1984)		菊池 健三	日本交通公社郡山支店支店長
村田 稔	日本証券(株)郡山支店支店長	佐藤 雄一	医療法人郡山病院理事長・院長
諫訪 純人	秋田銀行郡山支店支店長	佐川 久雄	NHK 郡山放送局局長
落合 正人	福島テレビ(株)郡山支社支社長	黒田 昭太郎	日本たばこ産業(株) 郡山支社支社長
田中 實	大正海上火災保険(株) 福島支店支店長	昭和62年(1987)	
尾嶋 守	日本生命保険相互会社 郡山支社支社長	加藤 政五郎	大和証券郡山支店支店長
平沢 光憲	日本交通公社郡山支店支店長	石川 正祐	日産チェリー福島販売(株) 代表取締役社長
三石 修	(株)西友郡山西武店店長	仲村 克己	(株)西友郡山西武店店長
渡辺 清十郎	(株)福島放送常務取締役業務局長	熊田 恒男	常陽銀行郡山支店支店長
今泉 広幸	NHK 郡山放送局局長	川口 哲夫	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
大野 善	足利銀行郡山支店支店長	稻田 豊	(財)太田綜合病院院長
熊田 智光	テーラークマダ代表	飯山 文雄	足利銀行郡山支店支店長
酒井 良信	(株)福島ファコムセンタ 代表取締役社長	種橋 良夫	東邦銀行郡山支店支店長
佐藤 惣一郎	両佐藤土地(有)取締役会長	浅野 征雄	大和証券(株)郡山支店支店長
昭和60年(1985)		昭和63年(1988)	
石曾根 繁夫	東京海上火災保険(株) 福島支店支店長	菊池 宏二	東北アントリツ(株)社長

野川 長久	(株)郡山国際ホテル 代表取締役専務	平 晴夫	日本証券(株)郡山支店支店長
三村 宣義	住友海上火災保険(株)福島支店 支店長	渡辺 昭	常陽銀行郡山支店支店長
佐藤 勝	NTT 郡山電報電話局局長	根本 鎮郎	(有)和光ランドシステム 専務取締役
三瓶 三昭	農業	高橋 良和	クラブ自動車(株)代表取締役社長
加藤 恵一	東京海上火災保険(株)福島支店 支店長	阿部 茂雄	(株)富士銀行郡山支店支店長
秋澤 利次	アサヒビール(株)福島支店支店長	井上 晴敏	三菱商事(株)福島支店支店長
塩田 弘志	塩田建設(株)代表取締役社長		

平成元年(1989)

太田 宏	(財)太田綜合病院 心臓血管外科部長
佐々木 正高	福島テレビ(株)郡山支社支社長
橋野 安彦	富士銀行郡山支店支店長
小林 稔明	足利銀行郡山支店支店長
大和田 宏	(株)郡山国際ホテル 代表取締役副社長総支配人
阿部 和博	(株)小野屋金物店専務取締役
宮 敬二	東北工業(株)専務取締役
松本 成	NHK 郡山支局支局長
萩生田 祐次	秋田銀行郡山支店支店長
福田 泰明	日本たばこ産業(株)郡山原料本部 原料本部長
樽川 満	東邦銀行郡山支店 常務取締役支店長
細井 始	大和証券(株)郡山支店支店長
菊池 辰夫	医療法人仁寿会菊池医院院長
平松 敏郎	平松敏郎法律事務所所長

平成2年(1990)

石井 徹	NTT 郡山支店支店長
鈴木 逞 滋	日本交通公社郡山支店支店長
斎藤 和雄	(株)富久代表取締役社長
鎌田 多久美	郡山郵便局局長
塚本 昇	東部瓦斯(株)福島支社 取締役支社長
岸波 信夫	(株)電通郡山支社支社長
埋金 禮二郎	日本たばこ産業(株)郡山原料本部 原料本部長

平成3年(1991)

水越 輝雄	郡山西武店長
川端 隆	東部瓦斯(株)福島支社支社長
小川 早苗	福島テレビ(株)郡山支社支社長
鈴木 庸夫	郡山ビューホテル(株) 専務取締役総支配人
小松 豪	福島民友新聞社郡山総支社 総支社長
福内 一浩	福内合名会社代表社員
山崎 勝治	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
辻村 孝	(株)足利銀行郡山支店支店長
成瀬 行弘	三井生命保険相互会社郡山支社 支社長
錦織 太郎	(株)東邦銀行郡山支店 常務取締役支店長
誉田 憲幸	NHK 郡山支局支局長

平成4年(1992)

藍原 将夫	三菱商事(株)福島支店支店長
桜井 勝男	(株)日本交通公社郡山支店支店長
岩崎 紘	日本たばこ産業(株)郡山原料本部 本部長
大谷 勝男	(株)常陽銀行郡山支店支店長
仁村 貞雄	東京海上火災保険(株)福島支店 支店長
山河 弘道	NHK 郡山支局支局長
本岡 靖浩	大和証券(株)郡山支店支店長
千野 昭嘉	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
鈴木 武夫	日本通運(株)郡山支店支店長

平成5年(1993)

佐藤 貞二 郡山公証人合同役場
 桂田 已代次 福島テレビ(株)郡山支社支社長
 工藤 純一 (株)秋田銀行郡山支店支店長
 菅原 豊雄 住友海上火災保険(株)福島支店支店長
 丸山 重輝 (株)西友郡山西武店ストアマネージャー
 岩波 敬祐 (株)富士銀行郡山支店支店長
 中善寺 清藏 (株)東邦銀行郡山支店常務取締役
 五十嵐 酋 平 (有)ヤマハイ代表取締役
 佐藤 健二郎 NTT 郡山支店支店長
 大原 清明 アサヒビール(株)福島支店支店長
 小林 剛 亜 (株)ホテルプリシード郡山取締役総支配人
 河原 一男 日本通運(株)郡山支店支店長
 作田 隆志 作田電機(株)取締役社長

小見 忠 (株)富士銀行郡山支店支店長
 井上 敏夫 (株)電通東日本郡山支社長
 武田 成 NHK 郡山支局支局長
 軽部 文夫 (株)秋田銀行郡山支店支店長
 矢部 和臣 (株)東邦銀行郡山支店常務取締役郡山支店長
 有本 正治 日本たばこ産業(株)郡山原料本部本部長
 安斎 善治 (有)安斎紙店代表取締役
 飯田 信一 東京海上火災保険(株)福島支店支店長
 坂井 宰 福島地方法務局郡山公証人役場公証人
 羽根 善之助 福島テレビ(株)郡山支社支社長
 飯塚 茂 アサヒビール(株)福島支店支店長
 今井 一裕 日本生命相互会社郡山支社支社長
 鈴木 穎 夫 不動産リサーチ・アンド・アプレイザル(有)代表取締役
 高橋 稔 (株)高橋健三商店代表取締役
 橋本 浩一 イサム保険事務所店主
 湯浅 伸郎 (財)湯浅報恩会寿泉堂綜合病院財団副理事長循環器科部長
 青木 信博 福島県中央青果(株)代表取締役社長
 佐戸川 隆 朝日エンジニアリング(株)代表取締役
 滝沢 進 医療法人仁寿会菊池医院理事
 名木 昭 名木製帽店店主
 深谷 勝彦 (有)深谷総合企画代表取締役
 渡邊 正行 福島交通(株)取締役郡山支店長

平成6年(1994)

赤井 正輝 (株)熊谷組郡山事務所所長
 高山 重隆 (株)足利銀行郡山支店支店長
 安倍 元雄 宗教法人小原寺代表社員
 渡邊佑司 渡辺技研(株)代表取締役社長
 塩谷 昌三 (有)ノイベルグ代表取締役
 増本 光雄 保土谷化学工業(株)郡山工場取締役工場長
 今泉 正規 学校法人今泉学園副園長
 近藤 誠治 大和証券(株)郡山支店支店長
 大野 勝久 (有)角海老代表取締役
 影山 俊男 (株)常陽銀行郡山支店支店長
 小林 良一 (有)旭写真館代表取締役

平成8年(1996)

前田 健二 JTB 郡山支店支店長
 寒河江 賢司 NTT 郡山支店支店長
 大矢 一夫 福島交通(株)郡山支社取締役郡山支社長
 保立 武憲 (株)常陽銀行郡山支店支店長
 母袋 和人 オーセンティックめるばっく郡山代表取締役
 関谷 高司 三菱商事(株)福島支店支店長
 豊島 康夫 大和証券(株)郡山支店支店長

平成7年(1995)

佐久間 啓 医療法人安積保養園院長
 佐藤 修朗 福島トヨペット(株)代表取締役専務
 保崎 正夫 (株)ホテルプリシード郡山取締役社長
 橋本 勝四郎 東部瓦斯(株)福島支社支社長
 大河原 宏之 東印郡山青果(株)取締役副社長

加藤 武雄	アサヒビール(株)福島支店支店長	向後 雅博	NHK 郡山支局支局長
渡辺正行	福島交通(株)郡山支社 取締役郡山支社長	遠藤 博志	日本たばこ産業(株)郡山支店 支店長
前田泰紀	日本たばこ産業(株)郡山支店 支店長	高橋 清幸	株大東銀行本店常務取締役
平野信介	野村證券(株)郡山支店支店長	齋藤 登	(株)東邦銀行郡山支店 常務取締役郡山支店長

平成9年(1997)

中田徳博	(株)足利銀行郡山支店支店長
酒井徹郎	(株)ホテルはまつ社長室付参事
遠藤忠義	郡山ビューホテル(株)総支配人
大和田修身	不二印刷(株)代表取締役社長
中村和夫	NHK 郡山支局支局長
渡辺平雄	(株)東邦銀行郡山支店 常務取締役郡山支店長
田代了典	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
須永博	(株)熊谷組郡山営業事務所所長
牛山英晃	大和証券(株)郡山支店支店長

平成12年(2000)

難波誠一	野村證券(株)郡山支店支店長
田中博	(株)常陽銀行郡山支店支店長
初瀬照夫	初瀬電材(株)代表取締役専務
渡辺正樹	住友生命保険相互会社 福島支社長
佐藤三郎	ネツツトヨタ郡山(株) 代表取締役社長
谷平政隆	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
内山道弘	三井生命保険相互会社郡山支社 支社長
湯浅大郎	財湯浅報恩会事務局長
菊地史朗	アサヒビール(株)福島支店支店長

平成10年(1998)

石黒秀司	(株)石黒代表取締役
小松重蔵	(株)常陽銀行郡山支店支店長
飯田茂	(株)電通東日本福島支社支社長
菅家惣一郎	(株)菅家経営センター専務取締役
鈴木則雄	(有)スタジオ・ベルウッド 代表取締役社長
田中淳一	アサヒビール(株)福島支店支店長
古屋直樹	(株)富士銀行郡山支店支店長

平成13年(2001)

長島一利	三井生命保険相互会社郡山支社 支社長
米山孝夫	大和証券(株)郡山支店支店長
佐藤吉章	東部ガス(株)福島支社支社長
鈴木重人	株富士銀行郡山支店支店長
小抜紘夫	(株)東邦銀行郡山支店 取締役郡山支店長
神山英司	郡山細沼郵便局局長
鈴木正晃	(有)鈴伊代表取締役
増川章一	東日本電信電話(株)郡山支店 支店長
平井寿	東京海上火災保険(株)福島支店 支店長
鈴木淳策	(有)日宏興産代表取締役
金澤信	サッポロビール(株)福島支店 支店長

平成11年(1999)

阿保勝之	サンアイホーム(株)郡山支店長
菊田薰	JTB 郡山支店支店長
計良隆司	郡山ビューホテル(株)総支配人
三浦悟	NTT 郡山支店支店長
大森健史	東京海上火災保険(株)福島支店 理事福島支店長
遠藤喜志雄	(株)郡山水産代表取締役社長
吉村重夫	(株)ホテルハマツ 役員待遇監理部長

平成14年(2002)

遠 藤 友紀晴	(株)ローズ・ビルサービス 代表取締役社長
村 岡 輝 久	JTB 郡山支店支店長
田 中 克 一	住友生命保険相互会社 福島支社長
佐 藤 真 人	クロイツ芸術学院学院長
薄 井 康	(株)うすい百貨店代表取締役社長
三 沢 和 俊	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
青 砥 清 己	不二印刷(株)取締役総務部長
山 口 哲 司	笛の川酒造(株)代表取締役
福 島 佳 之	(株)福島会計センター代表取締役
清 水 豊 治	サンアイホーム(株)郡山支店 取締役支店長
栗 城 義 久	日本たばこ産業(株)郡山支店 支店長
佐久間 保 孝	(株)常陽銀行郡山支店支店長
寺 田 雅	(株)熱海荘代表取締役
荒ヶ田 和 也	アサヒビール(株)福島支店支店長
有 馬 賢 一	郡山信用金庫理事長

平成15年(2003)

田 村 伸	(株)白河ゴルフ倶楽部 代表取締役専務取締役
渡 迂 篤	東日本電信電話(株)郡山支店 支店長
佐 藤 尚 宏	(有)近江屋サト一代表取締役
大和田 憲 司	(財)太田綜合病院院長
佐 藤 聰 祥	野村證券(株)郡山支店支店長
千 葉 健 一	NHK 郡山支局支局長
菅 野 秀 士	北進自動車部品(株)代表取締役
柳 沼 隆 一	三英堂事務機(株)代表取締役
渡 迂 正 行	福島交通(株)顧問
内 山 忠	(株)東邦銀行郡山支店 取締役支店長
岩 永 隆 彦	大和証券(株)郡山支店支店長
釦 田 英 弘	三井生命保険相互会社郡山支社 福島ブロック長兼郡山統括部長
阿 部 晃 造	阿部製粉(株)代表取締役社長
木 村 修	サッポロビール(株)福島支店 支店長

平成16年(2004)

高 沢 秀 好	(株)うすい百貨店代表取締役
関 根 信	司法書士関根信事務所所長
佐 藤 武	(株)大東銀行代表取締役社長
佐 藤 光 一	医療法人郡山病院院長・理事長
佐 藤 摩利雄	民藝サトウギャラリー観 代表取締役
橋 淳 二	(株)常陽銀行郡山支店支店長
小 島 浩 介	(株)うすい百貨店代表取締役社長
加 藤 昌 明	東京海上日動火災保険(株) 福島支店支店長

平成17年(2005)

山 部 裕 一	(有)ユーヴェリック代表取締役
河 原 英 一	アサヒビール(株)福島支店 理事・支店長
加 藤 建 彦	東部ガス(株)福島支社支社長
小 倉 清 明	郡山ビューホテル(株)総支配人
鱒 沢 秀 雄	(株)JTB 東北郡山支店支店長
熊 木 泰 彦	野村證券(株)郡山支店支店長
岩 堀 哲 夫	住友生命保険相互会社 福島支社長
数 馬 博	かずま医院院長
金 山 義 明	福島テレビ(株)郡山支社 取締役郡山支社長
羽 根 善 之 助	岩通東北(株)顧問
藤 本 弘 之	福島綜合警備保障(株) 代表取締役社長
宮 田 秀 之	日本生命保険相互会社郡山支社 支社長
能 勢 秀 幸	(株)大東銀行取締役社長
幸 嶋 浩 司	大和証券(株)郡山支店支店長
藤 森 英 二	郡山経済研究所代表
宗 像 剛	八光建設(株)代表取締役社長

平成18年(2006)

遠 藤 潤	(株)うすい百貨店代表取締役
井 上 求	サッポロビール(株)福島支店 支店長
渡 部 隆	NTT ドコモ東北郡山支店 支店長

杉 本 榮 次	東北アントリツ(株)代表取締役社長	菊 地 秋 夫	NHK 郡山支局支局長
渡 部 正 人	日本通運(株)郡山支店支店長	有 馬 晋一郎	野村證券(株)郡山支店支店長
湯 座 明 彦	NHK 福島放送局郡山支局 支局長	米 澤 衆 二	(株)みずほ銀行郡山支店支店長
笹 島 律 夫	(株)常陽銀行郡山支店支店長	櫛 谷 昭 一	(株)東邦銀行郡山支店 取締役郡山支店長
阿 部 充 宏	阿部測量(株)代表取締役	佐 藤 政 弘	(株)佐藤工業代表取締役
田 中 勝 義	日本生命保険相互会社 郡山中央営業部営業部長	中 原 喜 範	(有)中原石材店代表取締役
		曳 地 武 一	サッポロビール(株)東北本部 福島支社支社長

平成19年(2007)

堀 川 紀 房	(株)堀川環境セキュリティー 代表取締役
秋 山 文 夫	東部ガス(株)福島支社 取締役支社長
小 田 修 史	宗教法人真言宗阿弥陀寺住職
田 中 英 人	日本生命保険相互会社 郡山中央営業部営業部長
星 北 斗	財星総合病院副理事長
板 谷 博	東北アントリツ(株)代表取締役社長
阿 部 賢 輔	(株)東邦銀行郡山支店 取締役郡山支店長
佐 藤 聰	(有)コナンリアルエステート 専務取締役
五十嵐 芳 彦	東京海上日動火災保険(株) 福島支店支店長
吉 井 啓 一	福島テレビ(株)郡山支社支社長
丸 山 弘	(株)オートデンソーマルヤマ 代表取締役
安 藤 紀 彦	(株)富屋代表取締役
武 田 哲 朗	アサヒビール(株)福島支店支店長
伊 倉 智 育	大和証券(株)郡山支店支店長

平成21年(2009)

大 楓 努	大楓電機通信(株)代表取締役社長
綾 哲 志	吾妻興産(株)代表取締役
橋 本 勝	(有)サンヨープロパン代表取締役
平 城 大二郎	(株)うすい百貨店代表取締役
村 木 正 大	(株)損害保険ジャパン福島支店 支店長
有 賀 隆 宏	共栄印刷(株)常務取締役
遠 藤 大 助	遠藤大助法律事務所所長
渡 邊 博 之	福島テレビ(株)郡山支社支社長
下 山 田 和 司	(株)常陽銀行郡山支店支店長
石 川 正 孝	東京海上日動火災保険(株) 福島支店支店長
田 中 晃	アサヒビール(株)福島支店支店長
三 浦 均	(株)JTB 東北郡山支店支店長
吉 田 雅 郎	大塚製薬(株)仙台支店郡山出張所 所長

平成22年(2010)

石 橋 秀 郎	石橋工業(株)代表取締役社長
奈 良 千 尋	東部ガス(株)福島支社支社長
橋 本 謙 一	(有)かねい代表取締役
幕 田 宙 晃	(株)共立建築設計事務所 専務取締役
松 原 浩 之	大和証券(株)郡山支店支店長
星 野 真	NHK 郡山支局支局長
鈴 木 孝 雄	(株)大東銀行取締役社長
小 滕 山 規 之	サッポロビール(株)東北本部 福島支社支社長
吉 村 伸 郎	(株)みずほ銀行郡山支店支店長

平成20年(2008)

池 田 達 哉	(有)銀座美容室代表取締役
今 田 齊	(株)NTT 東日本—福島 郡山支店長
宮 崎 茂	住友生命保険相互会社 福島支社長
奥 寺 正 和	NTT ドコモ東北郡山支店 支店長
茅 根 務	(株)常陽銀行郡山支店支店長
小 熊 宏 行	日本通運(株)郡山支店支店長

平成23年(2011)

菊原庸一 東部ガス(株)福島支社支社長
 菅野正幸 福島綜合警備保障(株)
 取締役運用担当
 松下昌隆 (株)損害保険ジャパン福島支店
 支店長
 山口松之進 郡山觀光運輸(株)代表取締役
 天童敏明 (株)NTT東日本—福島
 郡山支店長
 西條裕 福島テレビ(株)郡山支社支社長
 高橋孝行 光建工業(株)代表取締役社長
 高橋裕一 (株)福島中央ワンダー専務取締役
 野崎潔 (株)常陽銀行郡山支店支店長
 伊藤清郷 陸奥測量設計(株)代表取締役社長
 丹野真助 (株)東邦銀行郡山支店
 常務取締役支店長
 湯沢和好 保土谷化学工業(株)郡山工場
 執行役員工場長
 上野賢一 大和証券(株)郡山支店支店長

竹内誠司 (株)東邦銀行郡山営業部
 常務取締役営業部長
 本名善兵衛 (株)柏屋代表取締役
 及川俊一 日本通運(株)郡山支店支店長
 菅原和弘 NHK郡山支局支局長
 横須賀信雄 福島テレビ(株)郡山総支社
 総支社長
 小河原公男 (株)常陽銀行郡山支店支店長
 関根和人 東京海上日動火災保険(株)
 福島支店支店長
 塩崎純朗 サッポロビール(株)東北本部
 南東北支社支社長

平成24年(2012)

松野眞一 保土谷化学工業(株)郡山工場
 執行役員工場長
 鈴木達也 住友生命保険相互会社福島支社
 支社長
 大木勝浩 プルデンシャル生命保険(株)
 郡山支社第一営業所所長
 鈴木光一 郡山ビューホテル(株)
 代表取締役社長
 越野真彦 大塚製薬(株)仙台支店郡山出張所
 所長
 國津一洋 高柳電設工業(株)代表取締役社長
 小田部勝浩 福島綜合警備保障(株)
 代表取締役社長
 窪田仁彦 アサヒビール(株)福島支社支社長

平成26年(2014)

増子敦 (株)JTB東北法人営業郡山支店
 支店長
 阿部学 大和証券(株)郡山支店支店長
 佐藤政文 (株)損害保険ジャパン福島支店
 支店長
 白内秀樹 (株)NTT東日本—東北福島支店
 郡山エリア支店長
 金森良 針生ヶ丘病院院長
 白井源晃 アサヒビール(株)福島支社支社長
 坂田勲 (株)帝国データバンク郡山支店
 支店長
 矢部浩樹 福菱冷熱(株)代表取締役

平成27年(2015)

石川学 野村證券(株)郡山支店支店長
 東京海上日動火災保険(株)
 福島支店支店長
 橋本昭広 保土谷化学工業(株)郡山工場
 工場長
 佐藤勝美 東部ガス(株)福島支社
 理事・支社長
 竹田憲吾 福島綜合警備保障(株)
 代表取締役社長
 諸岡哲哉 住友生命保険相互会社福島支社
 支社長
 伊野泰司 (有)伊野積善社代表取締役社長

平成25年(2013)

鈴木雅之 (株)JTB東北法人営業郡山支店
 支店長
 千葉貴弘 (株)みづほ銀行郡山支店支店長
 吉川大海 野村證券(株)郡山支店支店長
 山口正博 三井住友海上火災保険(株)
 福島支店支店長

入退会の記録における氏名は入会時のものではなく、現在の
 氏名とした。
 役職名は、入会時のものとし再入会時の役職名は省略した。

この10年の地区出向者

2005~06(平成17年~18年)

中央区ガバナー補佐 橋本 善郎
中央区幹事 ◎神山 英司
クラブ奉仕委員会委員 大野 勝久
職業奉仕委員会副委員長 福内 一浩
社会奉仕委員会委員 高橋 良和
国際奉仕委員会委員 佐久間 啓

2011~12(平成23年~24年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
会計監事 鈴木 稔夫
会員増強委員会委員 遠藤友紀晴
国際交流推進 WCS 委員会委員 石黒 秀司
学友・奨学会委員会小委員長

2006~07(平成18年~19年)

補助金小委員会委員 神山 英司
社会奉仕小委員会委員 大野 勝久
米山記念奨学会推進小委員会委員 佐久間 啓

2012~13(平成24年~25年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
ロータリー情報委員会委員 鈴木 稔夫
国際交流・青少年交換委員会委員 遠藤友紀晴
学友・奨学会委員会小委員長 石黒 秀司

2007~08(平成19年~20年)

管理運営委員会副委員長 今泉 正規

2013~14(平成25年~26年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
会員増強委員会委員 初瀬 照夫
教育的プロジェクト委員会小委員長 石黒 秀司

2008~09(平成20年~21年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
職業奉仕委員会委員 高橋 良和
友情交換委員会委員 大野 勝久
学友・奨学会委員会委員 神山 英司

2014~15(平成26年~27年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
会員増強委員会委員 初瀬 照夫

2009~10(平成21年~22年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
職業倫理委員会委員 高橋 良和
国際交流推進委員会委員 鈴木 稔夫
学友・奨学会委員会委員 石黒 秀司

2015~16(平成27年~28年)

中央分区ガバナー補佐 石黒 秀司
中央分区幹事 ◎関根 信
R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
職業奉仕委員会副委員長 新城 義雄
拡大委員会委員 初瀬 照夫
クラブ活性化支援・広報委員会委員 遠藤友紀晴
ロータリー情報委員会小委員長 鈴木 稔夫

2010~11(平成22年~23年)

R.I.規定検討委員会委員 新城 義雄
会員増強委員会委員 鈴木 稔夫
学友・奨学会委員会委員 石黒 秀司

会長幹事も地区出向者ですが、省略いたしました。
◎は出向者ではありません。

黎 明 期

郡山ロータリークラブが創立されたのは、昭和11年（1936）5月である。

初代会長橋本万右衛門氏は、当時の地方では珍しく外国留学の経験もあり、東京に多くの財界、その他有力者との交流もあった関係で、ロータリークラブの知識や意義を知っていたに違いない。郡山程度の小都市では難しいと言う反対が多かったにも拘わらず、同志を募り郡山ロータリークラブを創立したのである。銀行家としての橋本氏は、大正末期から昭和初期の金融パニックが終わり、漸く心が落ち着いたせいもあったのだろう。

昭和の初期は金融状勢が混乱し、その收拾のため、銀行その他の金融機関の規制ができ、大衆の保護を目的とした大蔵省令が発令され今日に至っている。しかし、金融自由化の方向に向かっている現状にあることは、ふり返って見ると、時代の推移に感慨を新たにするものである。

昭和11年と言えば、2・26事件の発生した年でもある。郡山ロータリークラブの認証伝達式は翌12年であるが、この年の東京ロータリークラブの会報によれば、会員の方々が、揚子江（長江）での米国海防艦パネー号爆撃事件を心配し、英、米との関係に憂慮している状況が察せられる。この状況下で創立したのであるから、郡山に話題を提供したのは当然である。

またこの頃の日本全国のロータリークラブの数は、30程度である。しかもこれは、朝鮮、旧満州、関東州、台湾にあった京城（ソウル）、奉天、大連、台北等のクラブを含めた数であり、本州では、東京以北にはロータリークラブはなかった。郡山ロータリークラブは東北で最初のロータリークラブの設立であって、仙台ロータリークラブは郡山の直後に設立されたのである。東京、その他の大都市から見れば、市制が施かれてわずか10年程度の、東北の小都市に過ぎなかった郡山市にロータリークラブが設立されたことは、高く評価されてよいものと思われる。



昭和10年頃の郡山駅付近



創立

郡山ロータリークラブの胎動

昭和11年（1936）1月、橋本万右衛門氏は、市内の有力者佐藤伝三郎氏、遠藤安一郎氏、鳴原弥作氏に、「ロータリークラブ」を郡山に創立したいと伝えた。その後も、橋本万右衛門氏を中心に先の三氏と、大平勗氏、金森五郎氏、渡辺棄吉氏等が、ロータリークラブの活動目的、主義などについて語り合うとともに、橋本氏は会員を募るために、郡山市内の有力メンバー約40名を料亭 星輝に招待し、郡山ロータリークラブ設立の協力を依頼した。

橋本氏は東京に支店を持ち、日本工業俱楽部の会員でもあったため、東京財界の人達との交流があり、米山梅吉氏より、ロータリークラブの教えを受けたものと思われる。

同年2月、設立発起人により「ロータリーに就いて」というパンフレットが発行され、チャーターメンバー予定者に配布された。それには、ロータリークラブの由来、ロータリークラブの目的と信条、ロータリーの歌、ロータリークラブ会員の資格及び種類、新入会員の推薦及決定順序、ロータリークラブ役員の種類、週例会と出席の励行、その他の行事が記されていた。

週例会と出席の項には「時間は字句通り厳格である」「四回連続欠席の会員は除名が規定されている」など出席について特に厳しく述べられており、「時間の励行と云ふ點に就てロータリークラブは他の何れの会合にも模範たり得るは正しく誇り得る所である」—原文通り—とある。

その後、郡山ロータリークラブ創立に同意した人々が集会を持ち、同年3月23日には、国際ロータリー第70区幹事 芝染太郎氏（東京）が来郡、橋本万右衛門、佐藤伝三郎、大平勗、滝田保、大島正の5氏が、ロータリーに関する話を聞いた。

翌24日の12時30分より、商工会議所で集会を開き、芝氏よりロータリーについての講話を受け、引き続き、会長、副会長、幹事、会計、会場監督、理事、副幹事を決定した。

会長 橋本万右衛門、幹事 大島正、副会長 佐



創立の頃の郡山商工会議所

チャーターメンバー（50音順）

安藤 久兵衛	不二印刷所主
薄井 貢	合名会社うすい代表社員
遠藤 安一郎	沢屋本店主
大島 正	合資会社信興社代表社員
大平 勘	太田病院副院長
金森 五郎	郡山脳病院院長
齋藤 久之丞	富久商店主
齊藤 秀雄	合資会社丸大株式店代表社員
佐藤 伝三郎	株式会社郡山商業銀行取締役
佐藤 安二	株式会社郡山商業銀行常務取締役
島村 芳三	日東紡績株式会社郡山第二工場長
鳴原 専次郎	扇屋木材店主
鳴原 弥作	扇屋本店主
鈴木 正雄	鈴木合名会社代表社員
高田 重	郡山清水台郵便局長
滝田 保	郡山土地建物株式会社常務取締役
内藤 円治	日東紡績株式会社専務取締役
橋本 新一	八島屋呉服店
橋本 万右衛門	橋本合名会社社長
広川 憲	日東紡績株式会社郡山第一工場長
広瀬 基	保土谷曹達株式会社郡山工場長
福内 和介	鈴木合名会社社員
星与 吉	星輝主
武藤 実	武藤歯科医院主
森 平八郎	森商店主
山田 一郎	山田法律事務所主
渡辺 健次	松尾屋商店主
渡辺 弃吉	和久屋旅館主

藤伝三郎、大平昂、会計幹事 遠藤安一郎、会場監督 滝田保、理事 橋本万右衛門、佐藤伝三郎、大平昂、島村芳三、広川憲、福内和介、金森五郎、安藤久兵衛、鈴木正雄、佐藤安二、以上の諸氏が就任した。

また、チャーターメンバー以外の新会員の入会金は20円、年会費を60円として半期毎に前納することを決め、国際ロータリーへ正式に加入する手続を行い、入会金100ドル（邦貨換算270円）を芝氏に手渡した。

チャーターメンバーは28名で、そのうち50年間に渡り在籍のチャーターメンバーは、遠藤安一郎氏ただ一人である。

発会式

発会式は、昭和11年（1936）5月19日午後3時より商工会議所において開催され、日本で31番目のクラブとして郡山ロータリークラブは誕生した。式にはシカゴ本部代表の元RI会長クロフォード・C.マッカロー（Crawford C.McCullough）博士夫妻及び第70区ガバナー事務所幹事芝染太郎氏、スポンサークラブの東京ロータリークラブ代表持田巽氏、小林雅一氏等来賓13名、会員24名（欠席5名）と家族18名が出席した。

本部代表のマッカロー氏は、RI会長代理として同年5月2～3日に神戸で行われた第70区大会に出席予定であったが、暴風雨のため上海からの船便に遅れ大会に間に合わなかったというアクシデントがあった。来日後、各地のロータリークラブを訪問され、札幌よりの帰還の途中、郡山クラブの発会式に立ち寄られた。

発会式に引き続き家族会を催し、茶菓子等で歓談、謡曲、童踊、長唄等の余興もあり盛会裡に終了し、来賓者は橋本会長邸で休憩の後、午後6時の汽車で帰京した。会員は郡山駅まで見送り、その後星輝にて懇親会を開いた。

こうして発会式は無事終了、同年6月8日、登録番号3992をもってRIより承認を得た。（戦前及び昭和26年6月以前は、国際ロータリーに加盟が承認されると、登録番号がクラブごとにつけられ、戦後も復帰クラブは元の番号を生かして登録

番号としたが、移動が多く、登録番号と現在クラブ数が一致しなくなる等の理由で、昭和26年6月で廃止された。）

発会式に出席されたマッカロー氏はカナダのクイーンズ大学を卒業、ヨーロッパ、アメリカの諸大学院に学んだ後、カナダで耳鼻咽喉科専門医として開業し、数々の要職を務められた。ロータリー歴は、カナダのフォート・ウィリアムRCのチャーターメンバーで会長を務め、1921～22年度のRI会長のほか、ロータリー財団名譽管理委員、その他の委員会の委員長として奉仕した。

発会当時は、ロータリーに関して和訳された文書は殆どなく、要求すれば英語の書類しか手にはいらなかつた。従つてロータリーについて充分消化できないところもあつた。しかし、毎週例会を開催しているうちに、会員誼衡の問題、職業分類の問題、出席率の問題などそのどれひとつをとってもいい加減に出来ないという事を痛感させられて來た。本部提出の書類などについては、多分にガバナー事務所の芝幹事のお世話になつた。



マッカロー元RI会長

発会式プログラム

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 君ヶ代齊唱 | 佐藤伝三郎 |
| 2. ロータリーの歌 | 大平 昂 |
| 3. 開会の辞 | |
| 4. 創立経過報告 | |
| 5. 定款及び細則の決議 | |
| 6. 理事選挙 | |
| 7. 役員互選 | |
| 8. 会長挨拶 | 橋本万右衛門 |
| 9. 本部代表者告辭 | |
| 10. 元ガバナー米山梅吉氏祝辞 | 代読 小林雅一 |
| 11. スポンサークラブ代表挨拶 | 持田 巽博士 |
| 12. 来賓祝辞 | 郡山市長 和田 潤
郡山商工会議所会頭 太田 三郎 |
| 13. 閉会の辞 | 副会長 大平 昂 |

初代会長 橋本万右衛門

郡山ロータリークラブを創立した橋本万右衛門氏は、福島県の大財閥橋本家の長男として明治25年6月5日、郡山市に生まれ、幼名を鉄吉といい、先代亡き後万右衛門を襲名した。欧米にて3年間銀行業務研究に従事し、橋本本店、開成社、東北土地証券株等の社長、郡山商工会議所会頭、福島県商工経済会顧問等を務めるなど県内第一の実力者であった。

戦前、戦後にかけては、貴族院議員、参議院議員の要職にあり、その活躍ぶりは国会内でも異彩を放っていた。県民の請願陳情を実に忠実にしかも正確に国会に反映させ、恐らく手がけた数は議員中随一であったろうと思われる。事実、NHK郡山放送局、貯金局、大学、軍隊等を郡山に設置するために尽力し、郡山市の発展のため大いに貢献した。

また、顔の広い事、記憶力の良い事では右に出るものではなく、一度会った人の氏名や経歴までよく憶えていて、応対は実に丁寧であったという。

創立当時から金曜会時代、そして再発会に至るまで会長を歴任したが、再承認後の認証状伝達式を待たず、昭和25年12月27日、東京にて急逝した。



初代会長
橋本万右衛門



郡山ロータリアン創刊号
(昭和12年2月11日)



創立当時発行した歌集

日本のロータリーの動き

郡山ロータリークラブ創立以前のわが国におけるロータリーの歴史は、大正9年（1920）の東京ロータリークラブの創立から始まる。

以後昭和3年（1928）までの間に、ロータリークラブがあったのは6大都市と京城のみであったため、地区は形成されず無地区時代で、各クラブは直接国際ロータリーの監督下にあった。大正13年（1924）からスペシャル・コミッショナーが置かれ、今日のガバナーのような役目を果たしてきた。初代は米山梅吉氏（東京）で二期務め、二代目は井阪孝氏（東京）、三代目は平生釣三郎氏（大阪）が務めた。

区の創設の折衝を昭和2年10月よりRIと始め、交渉を重ねた結果、翌3年7月、第70区が創設された。この第70区は日満一体の区制であった。

昭和3年より14年までの歴代ガバナー

昭和3年7月～6年6月（3期）	米山 梅吉（東京）
昭和6年7月～8年6月（2期）	井阪 孝（横浜）
昭和8年7月～10年6月（2期）	村田 省蔵（大阪）
昭和10年7月～11年6月（1期）	朝吹 常吉（東京）
昭和11年7月～12年6月（1期）	佐藤 昌介（札幌）
昭和12年7月～13年6月（1期）	里見 純吉（大阪）
昭和13年7月～14年6月（1期）	松本健次郎（門司）

国際ロータリー脱退以前に創立されたクラブを次に掲載する。

ロータリークラブ創立順表

	クラブ	創立年月	登録番号
1	東京	大正 9年10月	(1920) 855
2	大阪	11年11月	(1922) 1349
3	神戸	13年 8月	(1924) 1986
4	名古屋	12月	(〃) 1907
5	京都	14年10月	(1925) 2184
6	横浜	昭和 2年 6月	(1927) 2669
7	京城	8月	(〃) 2703
8	大連	3年12月	(1928) 3037
9	奉天	4年 3月	(1929) 3116
10	ハルビン	5年 4月	(1930) 3334
11	台北	6年 3月	(1931) 3450
12	広島	7年 2月	(1932) 3524
13	札幌	12月	(〃) 1621B
14	福岡	8年 3月	(1933) 2779B
15	小樽	12月	(〃) 3659
16	岡山	9年 3月	(1934) 3678
17	高雄	4月	(〃) 3685
18	門司	9月	(〃) 3725
19	今治	10月	(〃) 3733
20	函館	10月	(〃) 3747
21	旭川	10月	(〃) 3744
22	新京	11月	(〃) 3742
23	釜山	10年 2月	(1935) 3802
24	帯広	2月	(〃) 3820
25	岐阜	4月	(〃) 3844
26	金沢	4月	(〃) 3841
27	徳島	4月	(〃) 3842
28	静岡	6月	(〃) 3867
29	四日市	12月	(〃) 3911
30	浜松	11年 2月	(1936) 3923
31	郡山	5月	(〃) 3992
32	長崎	11月	(〃) 4056
33	室蘭	11月	(〃) 4070
34	釧路	11月	(〃) 4092
35	仙台	12年 2月	(1937) 4266
36	基隆	3月	(〃) 4322
37	和歌山	4月	(〃) 4289
38	平壌	5月	(〃) 4358
39	西宮	5月	(〃) 4359
40	松山	7月	(〃) 4362
41	高松	7月	(〃) 4389
42	野付牛(現北見)	9月	(〃) 4435
43	高知	10月	(〃) 4442
44	大邱	13年 5月	(1938) 4751
45	盛岡	14年 2月	(1939) 4978
46	熊本	3月	(〃) 5018
47	新潟	15年 4月	(1940) 5244
48	宇和島	6月	(〃) 5272

発会後の活動

郡山クラブが創立した昭和11年には、ロンドン軍縮会議脱退、2・26事件、日独伊防共協定調印などのでき事があり、日本の軍国主義がより一層強まっていった。郡山クラブでは、通常の例会の他に海軍大将、大使、陸軍大将などを招いて時局の話を聞く講演会を開催し、会員以外の市民にも聞いてもらい大変評判になった。これは郡山に初めて出来たロータリークラブの存在をみんなに知ってもらう広報の良い機会となつた。

昭和11年の主な講演会は次の通りである。

- 9月20日 宮内省御用掛海軍少将 武富 邦茂
「南方の重大性と今後の帝国海軍」
(於 郡山商工会議所)
- 10月11日 前独乙大使 本多熊太郎
「我が国情の非常性」
(於 第三小学校)
- 11月21日 陸軍大将 岸本 綾夫
「近世軍備について」
(於 金透小学校)

昭和11年当時の佐藤昌介ガバナーの代理として、札幌クラブの宮脇富氏が12月15日の例会に出席され、「ロータリーの現状と出席率の増進をはかるためにも近都市、すなわち福島ロータリークラブ創立への尽力を希望する。」と話された。

第9回70区年次大会が昭和12年5月15~16日に札幌で開催され、30クラブ、470名の参加者があり、当クラブからは橋本万右衛門会長、同夫人、佐藤伝三郎、佐藤春三郎、遠藤安一郎、滝田保、星与吉、金森五郎の諸氏が出席した。大会参加のロータリアンとその家族のために、上野から札幌までの臨時列車が走り、郡山クラブ会員も仙台から一行に加わり、にぎやかな道中となった。ちなみに、上野→札幌間の所要時間は連絡船を含め36時間におよんだが、車中では様々な趣向も凝られ、のんびりとした汽車の旅を楽しんだ。

本大会では、前年度の神戸大会以後設立された新クラブの挨拶があり、橋本会長が「我郡山クラブは、東京クラブをスポンサーと致しまして、昨年始めて呱々の声を挙げました。この機会に於き

まして、チャーターナイトを来る19日（※注—6月）に開きますから、御家族同伴、奮って御参加あらん事を御願い致します。」と挨拶し、長崎、室蘭、釧路、仙台の各新クラブの代表者も続いて挨拶した。

大会終了後発刊された記録誌には、参加した各地のロータリアンから感想と印象が寄せられている、その中に郡山クラブの滝田保氏も次の様な感想を寄稿している。

「ユーモアの味」 滝田 保

雪の国北海道にあれだけの人を集めた御努力は、何と驚かざるを得なかった。殊に着札と同時に会員、御家族の御接待振り、ロータリーならではとの感を深からしめた。

会議と云え、集まりと云え、ユーモア気分の欠乏せる東北人として、大に学ばねばならぬ。凡てのお歴々の御話のいづれを聞いてもユーモアに富み、佐藤ガバナーの崇高なる御人柄から、あの記念品贈呈の折のユーモア、何としてもロータリーなればこそである。

テーブル・スピーチの簡にして要を得、殊にユーモア味の豊富なる事、吾々東北人は大に学ばねばならぬ。

理屈抜きに、ロータリーはロータリーとしての味を持って居る事をツクツク感じた事である。
(「国際ロータリー第七十区第九年次大会記録」より)



チャーターナイト案内状



チャーターナイト会場（郡山市公会堂）

チャーターナイトとその後

チャーターナイト

発会から1年余の間、会員はチャーターナイトの準備に東奔西走した。宿泊に関しては、一流の宿泊設備が少なく市内の主な旅館を利用したが、人数の制限がありその手配に頭を痛め、また観光では、バスを使用せず全部乗用車を利用することになったが、当時の郡山市には、まだ乗用車の数も少なく、その確保に県内各地を奔走した。天候に関しても、測候所で過去20年間の両日の雨天日は僅か2日ということも調査した。



チャーターナイト

式に先立ち各ロータリークラブに送付された案内状には当日のプログラムのほか、当時郡山市は東北地方第一の工業地ということで、日東紡績株式会社郡山工場、名古屋紡績株式会社郡山工場、郡山地方専売局巻煙草製造工場等の視察案内、翌日の猪苗代湖、磐梯山、会津東山温泉方面の遊覧案内、汽車の時刻と旅館の案内が記されている。また認証状伝達式のポスターが市内各所に掲示された。登録費は一人10円、宿泊費を含む遊覧費は8円であった。

チャーターナイトは昭和12年（1937）6月19日、郡山市公会堂において盛大に挙行され、晚餐会は、同附属日本館で午後5時30分より開催された。

式には、当時の佐藤昌介ガバナーをはじめ、米山梅吉氏、井阪孝氏、村田省三氏、朝吹常吉氏の各元ガバナー、里見純吉ガバナーノミニーらが多数来賓として出席された。この様なロータリーを代表するというばかりでなく、日本を代表する財界人が多数当地を訪れたことは、郡山市にとっても、滅多にない大変珍しいことであった。

各来賓のスピーチが5分間ずつ、和気あいあいの内に行われた。どのスピーチも、実に良く洗練されており、気取らず卑ならずに、人生の広さにあふれており、言葉の美しさと社交話術は、若い会員にとって一つの驚異として映った。

米山梅吉氏は祝辞で、開口一番「月足らずの子

供で、これが育つかどうかが一番心配だ」と述べられた。この一言は、開設以来その日まで会員一同色々努力し、よくもここまでと思っていたところなので、郡山ロータリークラブ会員は驚かされたと同時に、今後、クラブを立派に育てあげて、育て方によって月足らずの子が如何に健全に発育するかという実績を現わすのが我々に与えられた大きな課題であると実感した。

翌20日の遊覧は、安積疏水取り入れ口の上戸浜、磐梯山を望む猪苗代湖畔、磐梯朝日国立公園（当時は国立公園候補地）五色沼、桧原湖、野口英世博士生家、高松宮御別邸のある長浜、会津若松の飯盛山、鶴ヶ城跡、会津漆器白木屋陳列所を見学、4時30分より東山温泉向滝旅館にて晚餐会を開催し、6時30分に散会、希望者は東山温泉へ宿泊というコースであった。

当日、遊覧へと各旅館前から自動車を連ね出発した様子は、前代未聞であり、さながら大行列の様であったということである。



チャーターナイトでの米山氏

チャーターナイトプログラム

披 露 式

と き 昭和12年6月19日（土曜日）

午後3時30分より

会 場 郡山市公会堂

1. 着 席

2. 君が代齊唱（2回）

3. 開会の辞 委員長

4. 式 辞 会 長

5. 告 辞 第七十区ガバナー

6. 祝 辞 来 賓

　　スポンサー東京ロータリークラブ代表
　　参加ロータリアン代表

7. 祝電披露

8. 日本ロータリー歌合唱（奉仕の理想）

9. 閉会の辞

記 念 撮 影

晩 餐 会

午後5時30分より

会 場 郡山市公会堂附属日本間

1. 着 席

2. 日本ロータリーの歌（我等の生業）

3. 開 宴

4. 挨 捶

5. 卓 演 説

6. 余 興

7. 閉 会

8. 散 会

(原文通り)

第70区機構改革と日満ロータリー連合会の成立

日本は、昭和8年（1933）国際連盟を脱退し、昭和11年（1936）独伊枢軸側に加担するに至り、アメリカとの関係は悪化してきた。自然、アメリカに本部を置く国際ロータリーに対し厳しい情勢となり、アメリカに追従し国益に反する団体との誤解を生じていた。しかし、そういう当時の日本の風潮からいって、大いに国家単位自治分権の考えに駆られ、国際ロータリーの機構を改革して中央集権を廃し、イギリスのR.I.B.Iの在り方に持つて行こうという議論が出てきた。

昭和11年の神戸での区大会の決議は、「各区特殊事情に応じ、ロータリー精神の普及徹底を期するため国際ロータリーの機構を区本位に改められんことを望む」というものであったが、同年8月の東京での区協議会では、結局そういう機構改革はロータリーの国際的意義を弱めるものであるという意見が勝を制し、表面的には一応おさまった形となった。

ところが、昭和13年（1938）8月の比叡山における区協議会で、東京クラブから正式に機構改革研究委員会設置に関する提案が出された。この内容は、「国際ロータリーの組織は中央集権に偏せず、その世界的拡大の趨勢に適応すべく、加入クラブの国情、風俗、習慣を尊重し、地方的自治分権に進展することをもってロータリーの本義となし、もってその主義目的を全世界に普遍し、人類の福祉に資せざるべからず、故に第70区改組案を研究作成し、来たるべき国際大会に提出する準備をしなければならない」といったもので、この提案は異議なく賛成され、研究委員会を設け協議した結果、具体案を作成し、本部に送付した。

シカゴ本部の名誉副幹事ポッター氏（A.O.Potter）は昭和14年（1939）3月、日本に立ち寄った際この内容を聞き、日本の立場について理解と同情を示すと同時に「今回の70区の取った手段は甚だ国際ロータリーの実情にうとい拙な方法であり、もし日満ロータリーが希望するなら、R I 定款に準じ日満両国に2個以上の区を作り、この区が連合して特別管理区域を設定し、管理規定を作ることにしたらどうか。」という方法を示唆した。

一方、当時のロータリアンの中には、「廻りく

どい方法ではだめだ、日本の提案した改革案を遮二無二通せ。」との当時の国民気風そのまま、我が国力をもってすればの考え方の者もいた。しかし、R I としては英國の R. I. B. I の存在自体悔いを残しているので、到底同じ様な自治体を日本に認めるとは考えられなかつたが、日本の希望する提案の説明とその通過を計るため、同年4月、東京クラブの芝染太郎氏はアメリカに出掛け、交渉に当つた。結果、日本の提案した原案は通る由もなかつたが、昭和14年の7月から第70区を3分割することが承認された。これを土台として日満ロータリー連合会を設立し、新しい自治的機構が盛り込まれ、当初考えていたような改革が国際ロータリー定款の合法的運用によってなされたことは、ポッター氏の忠言のお陰であった。

同年10月に、米山梅吉氏が日満連合会会长に就任した。

この連合会は国際ロータリーと各クラブの中間にあって、各クラブが直接本部宛にやっていることを連合会事務所でとり行つたため、英語の苦手なクラブにとって重宝となつたが、それだけ国際的な意識は滅殺され、各クラブと R I との関係は殆ど途絶えてしまった。

第1回日満ロータリー連合大会は、昭和15年(1940)5月5~6日横浜において開催され、橋本万右衛門会長、金森五郎氏、渡辺棄吉氏等会員7~8名が出席した。懇親晩餐会は、時局緊迫の中質素ながら楽しく行われた。連合会会长には米山梅吉氏が再選され、次期開催地は大阪と決定したが、その後国際ロータリー脱退に至つたため、これが戦前における最後の区大会となった。

日満ロータリー連合会の設立から国際ロータリーを離脱するまでの各地区歴代ガバナーは次の通りである。

第70区（東部地区）

昭和14年7月~15年6月（1期）森村市左衛門（東京）

昭和15年7月~9月（脱退まで）平沼 亮三（横浜）

第71区（西部地区）

昭和14年7月~15年6月（1期）大沢徳太郎（東京）

昭和15年7月~9月（脱退まで）岡崎 忠雄（神戸）

第72区（満鮮地区）

昭和14年7月~15年6月（1期）貝瀬 謙吾（大連）

昭和15年7月~9月（脱退まで）篠田 治策（京城）



第9回第70区協議会速記録



第1回日満ロータリー連合大会（於横浜）

郡山ロータリークラブ80年の歩み（1936～2016）

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1936 (S.11)	橋本万右衛門	1.	橋本万右衛門、郡山ロータリークラブ創立を提案
		2.	賛同者による準備会
		3.24	国際ロータリー加盟手続 ：チャーターメンバー28名
		5.19	橋本万右衛門初代会長となる 発会式（郡山商工会議所）
		6. 8	例会場は郡山商工会議所とする 国際ロータリー加盟承認 (登録番号3992) (正式名称 KORIYAMA CITY RC)
		1.	例会場を大日本電力ビル3階に 変更
			例会日：毎週火曜日12時30分～ (のち金曜日に変更)
		2.11	郡山ロータリアン（クラブ年報） 創刊号発行
		4.	大平勲副会長RIニース大会 (フランス)出席
		5.15 ～16	第9回第70区年次大会（札幌） に8名出席
1937 (S.12)	橋 本 万 右 衛	6.19	チャーターナイト (郡山市公会堂)
		6.20	猪苗代湖、磐梯山、会津東山温泉遊覧
		不明	親睦旅行：東京RC例会出席
		5.15 ～16	第10回第70区年次大会（京城） に5名出席
		8. 6	第70区協議会（京都）
1938 (S.13)	門	4.29 ～30	第11回第70区年次大会（別府） に4名出席
		7.	第70区を3地区に分割 (郡山クラブは第70区)
		7.	日満ロータリー連合会結成、連 合会長に米山梅吉氏就任
		8.26	第70区第9回協議会（東京）
		5. 4 ～5	第1回日満ロータリー連合会大 会（横浜）に7～8名出席
1940 (S.15)		9.11	日満ロータリー連合会解散 国際ロータリーを脱退

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1941 (S.16)	橋 本 万 右 衛 門 福 内 和 助		金曜会発足 初代会長に橋本万右衛門就任 (昭和19年末まで毎週金曜に例会を開催)
		1944 (S.19)	
		1945 (S.20)	1～3 4. 金曜会開催は月1回となる 金曜会休会（戦争激化のため）
		1946 (S.21)	4.28 米山梅吉氏逝去
		1947 (S.22)	1.27 ポール・ハリス氏逝去 ロータリー復帰協議会開催
		1949 (S.24)	3. 5. 日本のロータリーRI復帰承認 日本のロータリーRI第60区となる
		1950 (S.25)	6. “Service above self” “He profits most who serves best” ともにロータリー標語として公式に使用が認められる 金曜会を解散し郡山RC再発会準備
		10.22	郡山ロータリークラブ再発会式 (郡山商工会議所)
		10.30	チャーターメンバー28名
		12.27	郡山ロータリークラブ復帰承認 橋本万右衛門会長逝去
1951 (S.26)	福 内 和	12.31	国際ロータリー加盟復帰承認は この月で打切り、以後復帰クラブは新設クラブとして取り扱わ れることになる
		6. 1	チャーターナイト (郡山商工会議所)
		6.30	RI加盟承認番号廃止
1952 (S.27)	助	7. 1	第60区と第61区の2区となる (郡山クラブは第60区)

年号	会長	月日	おもな出来ごと	年号	会長	月日	おもな出来ごと
1953 (S.28)	金森五郎	7.18	会津若松RC創立 (東京RCと共にスポンサーとなる) 国際憲章映画会開催	1958 (S.33)	兼子俊一	9.	時間励行の標語とポスターを市内小中学生より募集。入選標語を市内各学校、事業所及び各RCに送付
		10.28				12.	新設された郡山市図書館にロータリー書棚を寄贈
		1. 4.	久米正雄祭に援助			12. 6	佐藤幸三ガバナー公式訪問
		5.19	会津若松RCチャーターナイト			4.17	白河RCが仮クラブとして発足
		6. 5	小林雅一ガバナー公式訪問			5.17	スponサークラブとなる (特別代表兼子俊一)
		6.18	平RC仮発会式 (東京RCと共にスポンサーとなる)			7.	創立記念家族会で昭和11年のチャーターナイトの8ミリ映画を上映
		9.12 ~14	無医村地区無料診療奉仕			11. 8	例会場を常陽銀行ホールに変更
		11.19 ~20	冷害地区無料診療奉仕				白河RCチャーターナイト
		11.27	宮脇富ガバナー公式訪問				
		5.	郡山市警察署前貯水池に「小便小僧」の像建立援助			1959 (S.34)	伊部政次郎ガバナー公式訪問
		8.27	柳瀬省吾ガバナー公式訪問			1.23 ~24	県下RC親睦第2回ゴルフ大会 (大洗)
1954 (S.29)	太田辰雄	10.	RI中央事務局エバンストンに移る 「4つのテスト」邦訳決定			2. 5	全国6区となる
		11.14	県下4RC合同IGFをホストする (磐梯熱海温泉一力)			7. 1	
		1. 4	RI50周年を記念し、時間励行のポスターとマッチを作成配布			1960 (S.35)	真崎健夫ガバナー公式訪問
		4. 2	郡山市立図書館新築に協力			4.21 ~22	マリア園養護施設一日里親 (裏磐梯)
		5. 1	RI創立50周年記念福島県下4RCICM(福島)			6.12	第350地区が二つに分割され、 第352地区が新設、全国7地区となる
		5.29	RI創立50周年記念シカゴ大会開催			7. 1	郡山クラブは第352区
		7. 1	全国を4地区に分割(60・62・63・64区)郡山クラブは第60区			7.22	市内学校児童のため交通標識を80本設置
1955 (S.30)	田辰雄	12. 1	国際ロータリー50年史英文刊行 小松隆ガバナー公式訪問			11. 6	白河RCと合同家族旅行会 (白河市南湖公園)
		6.	郡山クラブ最初のバナー作製			1961 (S.36)	佐々木孝三郎ガバナー公式訪問
		7.	会津水害被災見舞金を贈る			1.19	会費4月より3,000円とする
		9.15	伊藤文吉ガバナー公式訪問			1.24	第352区東北南3県IGFをホストする (磐梯熱海温泉一力)
		12.	海外50RCにクリスマスカードを送付			3.19	東京国際大会に9名参加
		12.	日の丸旗、ロータリー旗、テーブレコーダー等備品を購入			5.28 ~6. 1	
						6.11	マリア園一日里親 (スカイライン)
1956 (S.31)	兼子俊	6.	例会場を川柳会館に変更			7. 1	全国8地区となる
		7.	全国を5地区に分割(第350・355・360・365・370区)郡山クラブは第350区			7.13	佐藤武夫ガバナー公式訪問
		9.15	養護施設マリア園を後援			11. 8	創立25周年記念例会と祝賀会を開催 (磐梯熱海温泉一力)
		12.					郡山市立図書館前に「4つのテスト」の記念碑建立(創立25周年事業)
1957 (S.32)	一	6.					
		7.					
		8.					

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1962 (S.37)	藤田栄久	12.15	郡山養老院へ礼拝殿を寄贈 (創立25周年事業)
		不明	郡山盲聾学校に図書架を贈呈 海外30RCに対し日本人形を贈呈
		3.13	市内各中学校に洋傘250本を寄贈
		3.23	市内全小学校卒業生に対し「4つのテスト」入り下敷きを贈呈
		3.25	マリア園児童を新甲子温泉へ招待
		9.5	手島周太郎ガバナー公式訪問
		~6	
		9.21	郡山盲聾学校に図書備品を寄贈
		11.24	福島県下IGFのホストをする
		12.21	海外30RCへ版画と金透小の音楽レコードを贈呈
1963 (S.38)	平松信武	2.23	ロータリー創立記念日にNHKより会長が放送
		3.12	須賀川RC設立総会スポンサークラブとなる (特別代表太田辰雄)
		3.22	市内全小学校卒業生に対し「4つのテスト」入り下敷きを贈呈
		6.16	新潟大地震に対し見舞金を贈る
		10.13	須賀川RC認証状伝達式
		11.10	マリア園慰問会(岳温泉)
		12.20	村上正徳ガバナー公式訪問
		7.1	全国10地区となる
		8.25	第253区宮城・福島県の一日研究会をホストする
		8.28	郡山駅時計台の下に郡山RCの例会日と例会場の掲示板を設置
1964 (S.39)	黒沢忠直	9.18	例会場を郡山商工会館2階グリルセイキに変更。事務所も同会館内に変更
		12.18	会員家族名簿の作製
1965 (S.40)	忠直	3.	アルゼンチン日本語学校へ教科書・参考書を贈る
		3.18	斎藤堅治ガバナー公式訪問
		6.27	マリア園一日里親(裏磐梯)
		7.1	第253地区を分割し新たに第353地区が生まれ、全国11地区となる。郡山クラブは第353地区
		9.16	安斎徹ガバナー公式訪問
		1.14	青森県三沢市の大火(11日)に救援物資援助

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1967 (S.42)	黒沢忠直	3.4	第352・353地区G.PG.GNによる連合年次大会の準備打合せ会マッチドクラブのバララットBallarat RC(オーストラリア)へテープと葉拓を贈呈
		4.1	郡山市内中学卒業生に「4つのテスト」入り下敷きを贈呈
		4.6	インターナショナルミーティング(山形)
		4.28	兼子俊一ガバナーノミニ一歓迎会
		5.13	バララットRC(オーストラリア)よりコインが贈られる
		5.20	第352・353地区連合年次大会役割分担決定
		6.24	愛護学級に自転車寄贈
		7.1	第353地区ガバナーに兼子俊一氏就任
		10.1	第352・353地区連合年次大会をホストする
		~3	
1968 (S.43)	長尾重延	1.27	兼子俊一ガバナー公式訪問
		2.10	郡山市立図書館に図書寄贈
		3.3	郡山市内中学校卒業生に芳名録(4つのテスト記載)を贈呈
		3.12	本宮大火に見舞金を贈る
		3.26	郡山西RC創立総会 スポンサークラブとなる
		6.28	郡山西RCチャーターナイト(郡山商工会館)
		7.1	全国13地区となる
		7.7	クラブ会報をB5判に改める
		8.15	第353地区アクティング・ガバナーに兼子俊一氏就任
		8.18	クラブ名変更が承認される(郡山シティRCから郡山RCへ)
1966 (S.41)		8.21	地区リーダーシップ・フォーラム(秋田)
		9.9	安積愛育園に楽器・運動用具贈呈
		11.24	安斎徹ガバナー公式訪問(渡辺綱彦ガバナー代理)
		3.14	柏原PGを囲み、創立当時の思い出を語る会開催
		3.22	兼子ガバナーの御苦労をねぎらう集い開催
		5.5	子どもの国祭りに援助
		7.1	RI会長に東ヶ崎潔(東京RC)就任
		7.1	全国14地区となる

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1969 (S.44)	渡辺安衛	7. 5	会報のレイアウト刷新する
		8.30	職業分類表を再検討し作成する
		8.31	ロータリー財団寄付100%達成
		9. 8	地区リーダーシップ・フォーラム（山形）に5名出席
		9.20	ケラングRC（オーストラリア）へ日本旅行ガイド送付
		11. 8	交通安全運転のステッカー各事業所に配布
		12.	オーストラリアの組合せ地区40RCとマッチドクラブのバララットRC全員に三春駒を贈る
		12.22	クラブ会報別冊「浅香の里」創刊
		5.16	RIハワイ大会（ホノルル）に会員と家族9名参加
		6.22	養護学校の施設援助金寄付
		7.	会報郵送をボックスによる配布に変更
		7.	ガバナー公式訪問報告書を年次報告書と改める
		12. 4 ~5	ロータリー財団寄付金200%に達する 穴澤養一ガバナー公式訪問
		1. 9	郡山西クラブとの合同新年会
1970 (S.45)	作田正治	4. 5	郡山東RC創立総会 スポンサークラブとなる
		5.24	郡山東RCチャーターナイト
		7. 1	全国17地区となる
		8.20	佐藤民二郎ガバナー公式訪問
		~21	
		9. 4	ガバナー公式訪問 4 RC合同例会（郡山商工会館）
		11. 1	家族会 那須方面（りんどう湖、南ヶ丘牧場）
		11.	35年史発刊における編集委員決定
		1. 8	郡山西・郡山東RCと合同新年会（染本ホテル）
		不明	ペルー地震、東パキスタン地震災害に義援金を贈る
1971 (S.46)		5.14	須賀川RCとの合同例会（須賀川牡丹園）
		5.23	郡山南RC創立総会（スポンサー郡山西RC）
		6.	郡山RC35年史完成出版
		6.25	創立35周年記念式典（磐光パラダイス）

年号	会長	月日	おもな出来ごと	
1972 (S.47)	柳恒五郎	7. 1	全国18地区となる	
		9. 3	庄司晋作ガバナー公式訪問	
		~4		
		9. 4	ガバナー公式訪問4RC合同例会（郡山商工会館）	
		9.19	郡山南RCチャーターナイト	
		10. 1	須賀川RCとの合同例会（新城ビル）	
		10. 4	35年史編集委員会解散式	
		1.23	県内在住海外留学生、研修生との新春の集いを開催	
		4.15	郡山4 RC合同観桜会（開成山大神宮）	
		4.15	開成山公園にすべり台寄贈	
		7. 1	全国19地区となる	
		8. 3	オハイオ国際親善合唱団歓迎会	
		11.17	4 RC合同例会 南ベトナム大使が例会に来訪	
		2. 2	飯島隆俊ガバナー公式訪問	
1973 (S.48)	遠藤弥三	4.21	郡山4 RC合同観桜会（郡山市公会堂）	
		5.11	交通安全功労者表彰	
		7. 1	全国20地区となる	
		7.21	サイゴン・バンコックRC訪問	
		~23		
		8.24	台北・台中RC訪問	
		~27		
		9.20	早坂源四郎ガバナー公式訪問	
		10. 1	列車時刻表作製、市民に配布	
		3.22		
1974 (S.49)	滝田元	5.23	マニラ・シンガポールRC訪問	
		7. 1	ソウルRC訪問、李王妃孤児院訪問	
		8.	全国21地区となる	
		9.13	平松信武氏1976~77年度ガバナーノミニーとなる	
		不明	大原嘗一郎ガバナー公式訪問	
		12. 8	国際理解を深める手紙を各国に送付	
		4.19	郡山北RC創立総会	
		9.12		
		10.26	郡山5 RC合同観桜会（平安閣）	
		11.13 ~14	地区ロータリー情報委員会（山形）	
1975 (S.50)	鈴木壯一	12. 8	家族会 紅葉狩り・いも煮会（長井）	
		4.19	高坂知甫ガバナー公式訪問	
		9.12		
		10.26		
阿部博		11.13		
		~14		

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1976 (S.51)	阿部 博	4. 1	例会場、クラブ事務所を善導寺文化会館へ移転
		4. 2 ~3	第353地区ICM・平松ガバナーノミニー歓迎会のホストをする
		4.30	創立40周年記念例会 (善導寺文化会館)
		7. 1	郡山5RC合同事務所を善導寺文化会館3階に開設
		7. 1	第353地区ガバナーに松平信武氏就任
		7. 1	ガバナー事務所を善導寺文化会館3階に開設
		8.	ノルウェー女声合唱団公演協力とホームステイを受け入れ
		10. 1 ~3	東北・北海道5地区連合年次大会(札幌)
		12. 3	松平信武ガバナー公式訪問
		4.	第735地区G.S.E.チーム受け入れ フランクフルト合唱団公演協力
1977 (S.52)	雄	6.12	郡山西北RC創立総会 スポンサークラブとなる
		7. 1	全国22地区となる(地区ナンバーが300台から200台に変更され、郡山クラブは253地区)
		8.18	初めての交換留学生バーバラ・ダラカーを受け入れる
		9.25	郡山西北RCチャーターナイト
		11.18	加藤武久ガバナー公式訪問
		4.21	郡山6RC合同観桜会 (開成山大神宮参集殿)
		5.14 ~18	1978~1979年度国際ロータリー東京大会に会員家族多数参加
		5.	「ロータリー財団の友」となる
		7.	全国23地区となる
		7.13	交換留学生バーバラ・ダラカー帰国
1978 (S.53)	総雄	10. 6	黒澤茂ガバナー公式訪問
		2. 4	福島県南分区IGFをホストする (善導寺文化会館)
		4.27	英国109地区G.S.E.チーム受け入れ
		8.	交換留学生派遣 (県立安積女子高校 小林浩子)
		8.	交換留学生ジェニー・スー・グイン受け入れ
1979 (S.54)	健	9.20	アジア地域大会(ソウル)に6名出席
初瀬 行雄	初瀬 行雄	11. 9	佐原史哉ガバナー公式訪問
		2.23	RI創立75周年福島県南分区記念式典開催
		7. 4	交換留学生ジェニー・スー・グイン帰国
		7.24 ~25	濱田耕一ガバナー公式訪問
		8.	交換留学生派遣 (県立郡山女子高校 山田幸美)
		12.18	作田正治ガバナーノミニー事務所開設(不二ビル4階)
		1.	第252・253・254地区連合年次大会実行委員会発足
		4.26	第253地区ICM・作田正治ガバナーノミニー歓迎会をホストする (日大工学部中講堂)
		6.	児童文化会館に児童用参考図書寄贈
		7. 1	第253地区ガバナーに作田正治氏就任
		9.26 ~27	第252・253・254地区連合年次大会をホストする
		12. 4	作田正治ガバナー公式訪問
		1. 7	郡山6RC合同新年会 (善導寺文化会館)
		5. 5	東北3地区連合年次大会記念事業の日時計贈呈 (郡山市児童文化会館前)
		7. 1 7.16	RI会長に向笠広次氏就任 石黒慶之助ガバナー公式訪問
1980 (S.55)	三澤 敬典	4.11 ~13	吉野山・京都観桜親睦旅行会
		11.11	田中善六ガバナー公式訪問 会員100名に達する
		3.	郡山RC創立50周年記念誌編集委員会発足
		7. 6 8.10	齊藤利世ガバナー公式訪問 交換留学生派遣 (日本女子工業高校 塩谷柳子)
		12.	NHK歳末助け合い運動に協力
1981 (S.56)	安藤 真男	3.26	郡山6RC合同例会
		4.12	ライラ研修会に3名の青年リーダーを派遣
		11.15	松永輝彦ガバナー公式訪問
1982 (S.57)	小林 邦利	1. 7	郡山6RC合同新年会 (善導寺文化会館)
		5. 5	東北3地区連合年次大会記念事業の日時計贈呈 (郡山市児童文化会館前)
		7. 1 7.16	RI会長に向笠広次氏就任 石黒慶之助ガバナー公式訪問
		11.11	吉野山・京都観桜親睦旅行会
1983 (S.58)	湯浅 恭一	3.	郡山RC創立50周年記念誌編集委員会発足
		7. 6 8.10	齊藤利世ガバナー公式訪問 交換留学生派遣 (日本女子工業高校 塩谷柳子)
		12.	NHK歳末助け合い運動に協力
1984 (S.59)	今泉 龍造	3.26	郡山6RC合同例会
		4.12	ライラ研修会に3名の青年リーダーを派遣
		11.15	松永輝彦ガバナー公式訪問
1985 (S.60)	龍造		

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1980 (S.55)	三澤 敬典	11. 9	佐原史哉ガバナー公式訪問
		2.23	RI創立75周年福島県南分区記念式典開催
		7. 4	交換留学生ジェニー・スー・グイン帰国
		7.24 ~25	濱田耕一ガバナー公式訪問
		8.	交換留学生派遣 (県立郡山女子高校 山田幸美)
		12.18	作田正治ガバナーノミニー事務所開設(不二ビル4階)
		1.	第252・253・254地区連合年次大会実行委員会発足
		4.26	第253地区ICM・作田正治ガバナーノミニー歓迎会をホストする (日大工学部中講堂)
		6.	児童文化会館に児童用参考図書寄贈
		7. 1	第253地区ガバナーに作田正治氏就任
1981 (S.56)	安藤 真男	9.26 ~27	第252・253・254地区連合年次大会をホストする
		12. 4	作田正治ガバナー公式訪問
		1. 7	郡山6RC合同新年会 (善導寺文化会館)
		5. 5	東北3地区連合年次大会記念事業の日時計贈呈 (郡山市児童文化会館前)
		7. 1 7.16	RI会長に向笠広次氏就任 石黒慶之助ガバナー公式訪問
1982 (S.57)	小林 邦利	4.11 ~13	吉野山・京都観桜親睦旅行会
		11.11	田中善六ガバナー公式訪問 会員100名に達する
		3.	郡山RC創立50周年記念誌編集委員会発足
		7. 6 8.10	齊藤利世ガバナー公式訪問 交換留学生派遣 (日本女子工業高校 塩谷柳子)
		12.	NHK歳末助け合い運動に協力
1983 (S.58)	湯浅 恭一	3.26	郡山6RC合同例会
		4.12	ライラ研修会に3名の青年リーダーを派遣
		11.15	松永輝彦ガバナー公式訪問
1984 (S.59)	今泉 龍造		
1985 (S.60)	龍造		

年号	会長	月日	おもな出来ごと	年号	会長	月日	おもな出来ごと
1986 (S.61)	斎藤彌三郎	5.16	創立50周年記念植樹を開成山公園内に行なう	1991 (H.3)	木下隆夫	10.20 ～21	第253地区(福島県・山形県) 最後の年次大会 (郡山ユラックス熱海)
		5.19	創立50周年記念式典 (郡山パークランドホテル)			1.11 3.20 ～22	佐久間有寿ガバナー公式訪問 青少年海外短期交換学生
		5.23	創立50周年記念ゴルフ大会			4.27	第347地区(台湾)受け入れ 郡山市内7RC合同講演会 「環境問題について」 (郡山市民文化センター)
		6.13	仙台方面へゴルフと観光の旅			5.21	郡山RC創立55周年記念例会兼 観桜会(ホテルハマツ)
		8.29	九里茂三ガバナー公式訪問			7. 1	第253地区(福島県・山形県) が分割し、福島県は第2530地区となる
	嶋日出夫	10.19	秋の家族会 矢吹町にある遠藤安一郎会員の山へ		馬場一郎	9.27 10.11	鈴木幹雄ガバナー公式訪問 地区年次大会で、環境保全優秀クラブとして表彰される
		12. 7	郡山安積RC認証状伝達式 嶋会長等出席			4.24	観桜会と職場訪問を兼ねて山形県山寺にある池田惣一会員の「風雅の国」を訪問
		3.27	郡山RC50周年記念誌完成			5.15	郡山RC再発会記念日に物故会員の家族を招待 家族10名参加
		5.22	郡山市内7RC合同例会 (玉姫殿)			6.12	(郡山ビューホテルアネックス)
		9.10	郡山市内7RC合同例会 (郡山ビューホテル) 講演「ルバング島での30年」 小野田寛郎氏			9.20	林慈玲(台湾出身、奥羽大学文学部)を米山奨学生として受け入れる カウンセラーは竹田良夫会員に委嘱
1987 (S.62)	高橋光男	10.16	志藤和夫ガバナー公式訪問			9.25	秋の家族会を遠藤安一郎会員の山で開催 地元の矢吹RCとの合同例会として親睦を深める
		11. 7	県南分区IGFをホストする (郡山パークランドホテル)			1993 (H.5)	桜井弘佑ガバナー公式訪問
		5.11	須賀川RCとの合同例会 (須賀川牡丹園)			5.15	須賀川RC創立30周年記念式典に全員登録。スポンサークラブとして宮本会長祝辞を述べる
		8.26	12年間利用した善導寺文化会館での最終例会日			6.	謝育娟(台湾出身、福島大学経済学部)米山奨学生として受け入れる カウンセラーは安藤澄男会員に委嘱
		9. 2	新例会場郡山国際ホテル(現郡山ビューホテルアネックス)での第1回例会は職場訪問を兼ねる			6. 7	作田正治パストガバナー逝去
1988 (S.63)	滝田金之介	10. 7	吉田仁ガバナー公式訪問			9.10	宮森茂郎ガバナー公式訪問
		4.17 ～19	青少年海外短期交換学生、第347地区(台湾)受け入れ			10.22	郡山RC再発会記念ツィター演奏会 演奏は河野保人氏。物故会員の家族を招待
		5.21 ～24	第80回国際年次大会(韓国ソウル)へ滝田会長他12名参加			11.12	(ホテルハマツ)
		10. 7 ～8	地区年次大会(酒田市)は2年後の地区分割のため山形県での大会は最後となる 22名参加			12.24	クラブ定款細則改正委員会開催
		2. 1	村上ガバナー病気療養中のため、吉田仁直前ガバナー公式訪問				クラブ定款細則改正案承認
1990 (H.2)	増子康	3.24	吉田仁第253地区直前ガバナー逝去				
		4.11	村上七五三夫第253地区ガバナー逝去				
		7. 1	県南分区代理に斎藤彌三郎氏就任				

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1994 (H.6)	新城義雄	2.18	1996~97年度第2530地区ガバナーに初瀬行雄氏を指名
		4.10 ~12	観桜会（吉野山、奈良、京都） 31名参加
		10.7	田代隆一ガバナー公式訪問
		10.22 ~23	第2530地区大会にて、初瀬行雄ガバナーノミニーとして正式に発足
		11.2 ~6	香港、深圳、上海の旅 職場訪問（渡辺技研深圳工場）と香港湾仔RCとの国際交流を図る 21名参加
	安藤澄男	6.2	須賀川ほたんRC認証状伝達式参加
		6.15	交換留学生石橋美美子さん（県立安積女子高校2年）をデンマークへ派遣
		9.19	郡山RC創立60周年記念物故会員を偲ぶ会 (郡山ビューホテルアネックス)
		9.22 10.21	国分雄太郎ガバナー公式訪問 郡山RC創立60周年記念式典（ホテルハマツ）
		11.1 ~3	G.S.E.受け入れ（アメリカケンタッキー州、メイズビルRC）
1996 (H.8)	伊藤寿彦	11.16	初瀬行雄ガバナーノミニー事務所開所式及び祝賀会 (郡山ビューホテルアネックス)
		2.10	初瀬行雄GN歓送会（新城ビル）
		5.25	第2530地区協議会をホスト
	佐久間崇之	7.1	第2530地区ガバナーに初瀬行雄氏就任
		11.10 12.5	第2530地区大会をホストする 初瀬行雄ガバナー公式訪問
1997 (H.9)	池田惣一	3.1	中央分区IMをホストする（ホテルハマツ）
		4.5	郡山アーバンRC創立
		4.28 ~29	弘前・角館観桜会
		7.1	中央分区代理に三澤敬典氏就任
		7.15 8.25 ~27	鈴木喬二ガバナー公式訪問 北海道ゴルフと観光の旅
		12.7	新世代会議をホストする (郡山ビューホテルアネックス)

年号	会長	月日	おもな出来ごと
1998 (H.10)	池田惣一	2.22 ~24	沖縄親睦旅行
		6.10	第1回「留学生が先生」プログラムが実施される 平成11年地区大会において「RI会長賞」「地区ガバナー賞」を受賞
		8.5	岩崎稠ガバナー公式訪問
		9.5 ~6	義経伝説えさし藤原の郷 杜の賑わいの旅
		1999 (H.11)	大相撲初場所観戦と屋形舟の旅 春爛漫京都観桜の旅
	武田良夫	1.11 ~12	第2530地区協議会「留学生が先生」教育プログラム事業で「RI会長賞」「地区ガバナー賞」を受賞
		4.3 ~5	また、遠藤安一郎君が「特別地区ガバナー賞」を受賞（浪江町役場）
		5.22	留学生との交流会を開催（緑水苑）
		9.11	作山博之ガバナー公式訪問
		2000 (H.12)	早春の駿河路観梅の旅
2001 (H.13)	阿部貞彦	2.20 ~21	中央分区8ロータリークラブ合同親睦旅行 中国上海・蘇州
		4.16 ~20	職場訪問 郡山市富久山清掃センター・リサイクルプラザ
		5.25	アメリカミネソタ州セントポール市からG.S.E.として牧師、州政府公務員2名が来郡。高橋良和会員宅へホームステイ
		9.29 ~30	富永健男ガバナー公式訪問
		11.2	2001年会報2400号記念例会（郡山ビューホテルアネックス）
	関川榮	4.5	観桜会 新緑の信濃路に桜の名所を訪ねて
		4.14 ~16	春の家族会 白河RC・矢吹RC合同（開成農場）
		4.29	郡山RC創立65周年記念例会（郡山ビューホテルアネックス）
		5.17	創立65周年記念卓話創立メンバー遠藤安一郎君「緒方貞子さんの思い出」

年号	会長	月日	おもな出来ごと
2002 (H.14)	鈴木多門	6.30	創立65周年記念誌「遠藤安一郎卓話集」を発刊
		8. 9	移動例会 うつくしま未来博見学
		10.13	第2530地区大会 喜多方プラザ文化センター
		10.25	佐原元ガバナー公式訪問
		4.13 ~15	観桜旅行 京都・吉野桜
	橋本善郎	8. 8	職場訪問 郡山市総合地方卸売市場
		10. 3	阿久津肇ガバナー公式訪問
	2003 (H.15)	4.11 ~13	屋久島旅行
		5.10	スポンサークラブとして須賀川RC創立40周年記念式典出席(翠光苑)
		10. 9	職場訪問 柏屋開成店
2004 (H.16)	菊池勝	12. 4	土屋繁一ガバナー公式訪問
		5.22 ~24	大阪国際大会(大阪ドーム)
	福内一浩	6. 5	郡山コスモスRC創立
		7.15	山崎栄一ガバナー公式訪問
		10.11 ~17	第6920地区(アメリカ)G.S.E.受入れ
2005 (H.17)	根本鎮郎	3.26 ~28	観桜会 I N 京都 — 京の桜と匠の技 —
		2.23	ロータリー創立100周年
		4.16	中央区IMをホストする(郡山ビューホテルアネックス)
		8.25	講師 井村雅代氏
		10.23	演題「オリンピックまでの道のり」紺野嘉昭ガバナー公式訪問
		5.11	第2530地区大会「国際ロータリーワン会長賞」を受賞(あづま総合体育館)
		5.13	郡山RC創立70周年記念 駅前並びに駅前大通りシンボルロード化事業エリアの清掃奉仕活動
2006 (H.18)	根本鎮郎	5.13	郡山RC創立70周年記念式典(郡山ビューホテルアネックス)
		5.20 ~22	創立70周年記念誌を刊行
		5.20 ~22	親睦旅行 観桜会
		5.20 ~22	道東「知床と芝さくら」

年号	会長	月日	おもな出来ごと
2007 (H.19)	太田宏	9. 8	寺島岩男ガバナー公式訪問・中央区合同例会(ホテルハマツ)
		10.11	G.S.E.歓迎会(姑娘飯店)
		10.12	職場訪問 郡山市医療介護病院
		10.28	第2530地区大会(南相馬市民文化会館)
		11.20	郡山RCホームページ開設、クラブ会報委員会によりクラブ会報の独自製作を再開
	高橋良和	4. 6 ~8	親睦旅行 姫路・大阪・京都方面
		7. 1	ロータリー旗と国旗を新調し、ロータリー旗には世界で3992番目に発足したことを証する当クラブの認証番号「3992」を刷り込む
		10. 4	第5500地区(アメリカ・アリゾナ州・ツーソン市)G.S.E.訪問例会メンバーを市内にご案内(柏屋開成店・郡山市立美術館・アマテラス)
		10.14	第2530地区大会(田村市文化センター)
		10.18	牧公介ガバナー公式訪問
2008 (H.20)	今泉	4. 4 ~6	春の親睦旅行
		4.24	門司レトロと萩・山口
		10.19	職場訪問(郡山水産)
		10.23	ロータリー財団奨学生菅野磨美さん派遣
		11.13	第2530地区大会(須賀川アリーナ)
	2009 (H.21)	10.23	職場訪問(アサヒビール株福島工場)
		11.13	味戸道雄ガバナー公式訪問
		4. 1	米山奨学生 アユール アルタンビヤンバさん受入れ
		6.27	カウンセラー 根本鎮郎君
		9.17	福島グローバルRC創立、中央分区が10RCになる
2010 (H.22)	林誠	10. 8 ~10	中澤剛ガバナー公式訪問
		10.16	秋の親睦旅行 九州3日間の旅
		~18	G.S.E.メンバー受入れ(寺田雅会員宅2泊、郡山ビューホテルアネックス1泊)
		10.22	職場訪問 福島綜合警備保障
		10.25	第2530地区大会(会津風雅堂)

年号	会長	月日	おもな出来ごと
2010 (H.22)	石井敏久	3. 4	米山奨学生 アユール アルタ ンビヤンバさん修了証書授与
		9. 9	大橋廣治ガバナー公式訪問
		9.26	猪苗代湖水草除去作業
		10.21	職場訪問 福島テレビ本社
		11.12 ～14	福島県立美術館「古代エジプト 神秘のミイラ展」見学 秋の親睦旅行 平城遷都1300年の都奈良京都の旅
	遠藤喜志雄	3.11	東日本大震災
		4. 9	ロータリークラブ事務局震災被 災のため郡山商工会議所から大 町へ移転
		4.28	復興を目指して元気の出る夜の 例会（京香）
		5.19	郡山RC創立75周年記念式典 (東日本大震災のため自粛)
		7.21	東名古屋分区名古屋名北RCよ り寄贈の放射線線量計を市内3 施設に贈呈
2011 (H.23)	遠藤喜志雄	10. 6	根本一彌ガバナー公式訪問
		10.13	職場訪問 あさかホスピタル
	神山英司	3.25	第2530地区大会(ユラックス熱海)
		5.11 ～13	春の親睦旅行 四国鳴門・徳島の旅
		5.31	職場訪問 石橋工業・ホテルバ ーデン
	鈴木禎夫	11. 1	伊藤浩ガバナー公式訪問
		11.18	第2530地区大会(ユラックス熱海)
		11.29	職場訪問 ベップキッズ郡山
		2.15	福島しんたつRC認証状伝達式 (ウェディングエルティ)
		3.15	東京立川RC「東北の枝垂れ桜苗 木」の植樹式(パレスホテル立川)
	鈴木禎夫	4.19 ～21	春の親睦旅行 京都の旅
		7.25	渡邊公平ガバナー公式訪問
		9. 1	第2530地区 新地区補助金 財団委員会学友・奨学金委員会 奨学金(梁取里さんへの奨学金)
		10.10	職場訪問(星総合病院・ポラリ ス保健看護学院)
		11.17 12.19	第2530地区大会(いわき明星大学) 新地区補助金「五百淵の野鳥」看 板寄贈式(郡山野鳥の森学習館)

年号	会長	月日	おもな出来ごと
2014 (H.26)	鈴木禎夫	1.24	東京立川RC「チャリティーコ ンサート」(立川市民ホール)
		3.23	中央分区IMをホストする (郡山ビューホテルアネックス)
		3.27	講師 水野正人氏(東京RC) 演題
		5.10 ～12	「ロータリーの職業奉仕～東京 オリンピック招致決定への軌跡」 東京立川RC復興支援事業「金透 小学校への寄贈式」(郡山市役所)
		8.28	親睦旅行 東京横浜満喫の旅
	石黒秀司	9. 4	東京立川RC・郡山RC復興支援 事業「金透小学校音楽部と航空 自衛隊中央音楽隊コンサート」 開催
		9.18	野崎潔ガバナー公式訪問
		10. 5	移動例会 アクアマリンふくしま 郡山RC後援 日本ロータリーE クラブ2650からベップキッズ郡山 ヘプラスチックボール贈呈式出席
		11. 9	職場訪問 福島競馬場
		2015 (H.27)	日本ロータリーEクラブ2650主 催「紙飛行機競技大会」を後援 する
2015 (H.27)	石黒秀司	3.24	職場訪問 デンソー福島
		3.26	米山奨学生 郎 詩萌君受入れ
		4. 1	カウンセラー 石黒秀司君
		4.26	第2530地区大会(パレセいいざか)
		5.10 ～12	親睦旅行 能登・金沢方面
	大野勝久	8. 1	第2530地区 新地区補助金 RI第2530地区奨学生 (石川裕子さんへの奨学金)
		8. 6	酒井善盛ガバナー公式訪問
		11.15	第2530地区大会 (南相馬市民文化会館ゆめはっと)
		1.28	職場訪問 福島トヨペット(株)郡 山店
		2.27	80周年記念事業「100万人のク ラシックライブ」開催
2016 (H.28)	大野勝久	3. 3	米山奨学生 郎 詩萌君修了証書 授与
		5.14	郡山RC創立80周年記念式典
		5.28	第2530地区 地区復興補助金 2016郡山市まちなか子ども夢駅 伝競走大会の後援

一人 一言



阿部 和博

(株)小野屋

これからも米山敏吉の精神を学んで、安心して暮せる平和な世界を願いたい。



阿部 晃造

阿部製粉株

80周年という節目に在籍していることを嬉しく思います。職業奉仕を通してさらに地域貢献に励みたいと思います。



阿部 充宏

阿部測量(株)

80歳誕生おめでとうございます。亡き母も同じ昭和11年生まれですので、母の80歳の誕生日のようです。



安倍 元雄

小原寺

超我の心で集う職業人が智慧と友情を育んで80年の今、誇りと心地よさに感謝して恩に報いる将来を願っています。



青砥 清己

不二印刷(株)

郡山ロータリークラブに入会して約14年、80年の歴史の重さと、楽しさに感謝しています。



綾 哲志

郡山生コン須賀川(株)

創立80周年にメンバーとして携われる事を光栄に思います。90周年100周年まで目指したいと思います。



有賀 隆宏

共栄印刷(株)

創立80周年の歴史と伝統を築いてきた諸先輩方の名に恥じぬよう、ロータリアンとして邁進してまいります。



有馬 賢一

郡山信用金庫

入会させていただき早10余年。職業を通じ“共生そして未来への挑戦”的糧としたい。



安藤 澄男

郡山冷蔵製氷(株)

入会以来40年以上たちましたがロータリーライフを楽しんでまいりました。今後も今まで以上に楽しみたい。



安藤 紀彦

(株)富屋

歴史と伝統ある郡山ロータリーに入会して8年余り。微力ながら今後益々の発展に貢献できればと存じます。



五十嵐 酋平

(株)ヤマヘイ

入会したては緊張のし通しでしたが、気が付けば20余年、これがロータリーの良さですかね。



池田 惣一

(株)三万石

創立80周年の輝ける歴史、伝統おめでとうございます。郡山RC益々の発展を会員の一人として期待します。



池田 達哉

(有)銀座美容室

入会以来、諸先輩はじめ会員の皆様との親睦が自分にとって、とても有意義な時間であると感じております。



石井 敏久

石井電算印刷(株)

歴史と伝統を誇る郡山RCに入会31年、充実した人生と誇りを感じ、益々のクラブ発展を祈ります。



石川 学

野村証券(株)郡山支店

歴史と伝統ある郡山ロータリークラブの一員として、この記念すべき瞬間に立ち会える事に心から感謝致します。



石黒 秀司

(株)石黒

歴史的瞬間に会員である幸せを感じながら、今後のロータリークラブライフと出会いの妙を満喫したい。



石橋 秀郎

石橋工業(株)

伝統と格式のある郡山RCに入会させて頂き、大先輩方のお話を聞きることができ、大変感謝しています。



伊藤 清郷

陸奥テックコンサルタント(株)

親子2代でお世話になり、80周年の歴史と伝統ある郡山RCのメンバーであることを誇りに思っております。



伊野 泰司

(有)伊野積善社

伝統あるクラブの一員として、誇りを感じると共に、品格を求めて日々努力を重ねていきたいと思います。



今泉 正規

学校法人 今泉学園

80周年式典に出席し、改めて郡山RCの素晴らしいことに感激し、出来れば90周年までは頑張りたいと思いました。



遠藤 喜志雄

(株)郡山水産

平和な時が続くように、ロータリアンとして努めましょう。備えあれば憂いなしです。



遠藤 大助

遠藤大助法律事務所

歴史と伝統の郡山ロータリークラブが、80周年を迎える瞬間に立ち合えることに喜び、感謝しております。



遠藤 友紀晴

(株)ローズ・ビルサービス

今年、この時、郡山ロータリークラブの一員でいられることがに矜持を感じます。ご縁をいただき感謝致します。

**大木 勝浩**

(株)ブルデンシャル生命保険

80周年という節目の年に在籍させていただいていることを誇りに思います。ご指導よろしくお願い致します。

**太田 健三**

(一財)太田綜合病院

在籍30数年となりました。皆様に感謝申し上げます。当クラブの益々のご躍進を祈念いたします。

**太田 宏**

(一財)太田綜合病院附属太田熱海病院

「RCは自己研鑽の場。お話を通して人間を学びなさい。」根本祐一さんから入会時に頂いた言葉です。忘れません。

**大槻 努**

(株)大槻電気通信

80年の長きに渡り、歴史と伝統を紡ぎ出して来られた総ての先達に尊敬の意を表します。

**大野 勝久**

(株)すき焼きしゃぶしゃぶ京香

「人事を尽くして天命を待つ」皆様方のご協力を頂き、郡山RCらしい80周年ができました。ありがとうございました。

**小田 修史**

阿弥陀寺

歴史ある当クラブに入会して早10年を経て、多くの方々と出逢い、そこから学ばせて頂いた。「感謝」「友情」

**金森 良**

(公財)金森和心会 針生ヶ丘病院

病院創始者の金森五郎が創立時会員であることに縁を感じるとともに、80周年に在籍出来ることを感謝します。

**神山 英司**

郡山細沼郵便局

歴史、重かった。伝統、深かった。先輩達の言葉、重く深かった。これが郡山RCの80年なのかも知れない。

**菅家 物一郎**

(株)菅家経営センター

郡山ロータリークラブの80周年を機に、あらためて職業奉仕について、考えてみたいと思います。

**菅野 秀士**

北進自動車部品(株)

80周年おめでとうございます。これからも郡山ロータリークラブに貢献できるよう、ガンバります。

**菊池 章治**

(有)越後屋

私がRCで学んだ事は、どの分野にも素晴らしい方が沢山おられ、自分に無いRCの素晴らしさを感じております。

**菊池 勝**

(株)蔵場

RIが変質する中で80年を機に改めて東京RCに学び、RCの原点を継承していくクラブでありたいと思う。

**國津 一洋**

(高柳電設工業株)

80周年おめでとうございます。先輩方の懐の深さを一步一歩学んでいきたいと思います。宜しくお願ひします。

**国井 謙**

(株)常陽銀行郡山支店

輝かしい歴史を誇る郡山ロータリークラブのメンバーであることに感謝いたします。

**熊田 智光**

テーラークマダ

42才で入会し、会員の皆様に、ロータリーとは何か！と勉強させていただき、感謝しております。

**小林 良一**

(有旭写真館)

父子二代ロータリアンとして例会100%出席が目標。四つのテストに照らし合わせて実践してまいります。

**佐久間 啓**

(医)安積保養園あさかホスピタル

伝統あるクラブの一員として、誇りを感じるとともに、この記念すべき瞬間に立ち会える事に心から感謝致します。

**佐久間 崇之**

(医)佐久間歯科医院

ロータリーに入会して42年、毎回楽しく過ごさせていただいてます。死ぬまでいるぞー。ゴメンネ。

**佐藤 勝美**

東部ガス(株)福島支社

入会してまだ1年ですが、80周年を迎える郡山RCの会員としていられることを、とても光栄に思います。

**佐藤 光一**

郡山病院

ロータリークラブ80周年を心よりお祝い申し上げます。今後もご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

**佐藤 聰**

(有)コナンリアルエステート

当クラブの立場と使命を理解し、誇りを持ち、楽しみ、良き伝統を繋いで行きたいと思います。

**佐藤 修郎**

福島トヨペット(株)

ロータリーの奉仕の精神が復興を後押しすると確信しております。私も一員として微力を尽くします。

**佐藤 尚宏**

(有)近江屋サトー

80周年おめでとうございます。入会して14年がたちますが本当に楽しく、全てのロータリアンに感謝します。

**佐藤 政弘**

(株)佐藤工業

祝80周年！歴史の重みを感じ、諸先輩を見習い、早く一人前のロータリアンになれるよう精進してまいります。

**佐藤 政文**

損害保険ジャパン日本興亜(株)

歴史と伝統ある郡山ロータリークラブの80周年の記念の年に、在籍させていただいていることを光栄に思います。

**齋藤 彌三郎**

(有)つたや

1964年入会以来、52年間を、大変愉しく過ごさせていただき、多くの知友に恵まれ、郡山クラブに感謝しています。

**坂田 勲**

(株)帝国データバンク

節目の年に在籍できて非常に光栄です。大野会長ご提唱のとおり、80周年を大いに楽しみたいと思います。

**塩崎 純朗**

サッポロビール(株)

昭和11年は国会議事堂が落成した年だそうです。見る度に郡山ロータリークラブに思いを寄せてきます。

**白井 源晃**

アサヒビール(株)

創立80周年にあたり、歴史と伝統ある郡山ロータリークラブ諸先輩方のご功績に敬意と謝意を表します。

**白内 秀樹**

(株)NTT 東日本-東北 福島支店

人から人へつないできた歴史と伝統と格式。この先の100周年、その先の輝ける未来へ大いなる遺産を。

**新城 義雄**

(株)新城商店

ロータリーの金看板である職業奉仕を充実し、自己の企業の質の向上に努めてまいります。

**菅原 和弘**

NHK 郡山支局

転勤族の私に温かく接してくださる会員の皆さんの懐の深さを感じています。ロータリーって楽しいです。

**鈴木 光一**

郡山ビューホテル(株)

80周年おめでとうございます。弊社ホテルを例会会場としてご利用いただいていることを誇りに思います。

**鈴木 淳策**

(有)日宏興産

今年度、幹事をさせていただき、我がクラブのすばらしさ、そしてメンバーのすばらしさを実感しています。

**鈴木 孝雄**

(株)大東銀行

会員の皆様が積み上げてこられた80年の歴史や伝統に心から敬意を表します。

**鈴木 則雄**

(有)スタジオ・ベルウッド

祖父がチャーターメンバーであった伝統ある郡山RCの80周年の記念すべき瞬間に立ち会える事に感謝します。



鈴木 正晃

(有)鈴伊

郡山ロータリークラブ80周年の年に会員として立ち会えることを幸せに思います。



鈴木 穎夫

不動産リサーチ・アンド・アブレイザル株

郡山RCの歴史と伝統、先輩に感謝し、新たな価値観を見出し新生して行く。その責務を我々が担っている。



須藤 英穂

(株)東邦銀行郡山営業部

伝統のある郡山ロータリークラブの創立80周年に、弊行が会員として携われたことを大変光栄に思います。



関根 信

司法書士関根信事務所

周年を機に、奉仕の理想に立ち返り、他の人々を思いやり、他の人々の役立てるよう、一歩ずつ進んで行きたい。



高橋 孝行

光建工業(株)

諸先輩が築き上げてこられた80周年の歴史と伝統に敬意を表し、郡山RCメンバーである事に感謝します。



高橋 裕一

ふくしまワンダー(株)

私の外祖父は80年前の創設時メンバーの一人でした。今こうして孫の私もロータリアンでいることを嬉しく思います。



高橋 良和

クラブ自動車(株)

昭和25年再承認時のチャーターメンバーの父と親子二代で郡山ロータリー会員であることに感謝。



滝田 金之介

(株)太田屋

郡山RCに入会して50年になりました。50年の間にはいろいろなことがありました。これからはクラブ活動を楽しみたいと思います。



竹田 憲吾

ALSOK 福島(株)

80周年の伝統ある櫻を次世代へ堂々と渡せるように業をとおして奉仕活動を力強く継続したいと考えています。



武田 良夫

(株)武田商店

地域社会の向上発展に寄与すべく、会員同士の友情を深めながら精進することを願っています。



中原 喜範

(有)中原石材店

伝統のある郡山RCに入会させていただいた事に改めて感謝します。皆様のご健勝を衷心より祈念申し上げます。



根本 鎮郎

和光地所(株)

ロータリーの真髄を一言にして表現すれば職業奉仕だと言っても過言ではない。100周年に向かって精進しましょう。

**橋本 昭広**

保土谷化学工業(株)郡山工場

入会させていただいて1年が経ちました。皆様と一緒に創立80周年を迎える場に居られることを大変光栄に思います。

**橋本 謙一**

(有)かねい

80周年おめでとうございます。先人の苦労と、それから続く歴史と伝統の重さを感じて、仕事に励んでいます。

**橋本 半兵衛**

(株)マツカワヤ

入会以来35年。クラブライフを楽しんで参りました。会員の皆様の暖かい御友情に心より感謝致します。

**橋本 勝**

(有)サンヨープロパン

入会して早7年、奥が深いロータリーの魅力を感じながら90・100と精一杯精進してまいります。

**初瀬 照夫**

初瀬電材(株)

手をつないで歌を歌っているのには驚きました。RCの事は永くやっていればその内判るという言葉を信じ通うだけです。

**羽田 真人**

東京海上日動火災保険(株)

80周年おめでとうございます。故郷で皆様と一緒に迎えさせて頂き、感謝、感激でございます。

**林 誠**

(株)都市不動産鑑定

地盤・看板・鞄なしの私が郡山在住44年、クラブ在籍31年。楽しい交友関係は、全て郡山RCで築きました。感謝。

**馬場 一郎**

医療法人共生会

歴史と伝統のある当クラブに入会させていただき、42年になります。感謝の念と謙虚さを失うことなく学びます。

**平城 大二郎**

(株)うすい百貨店

郡山在住7年。会員として喜びと誇りを強く感じております。これからも福島復興の為に努力をする所存です。

**福内 一浩**

福内合名会社

入会して25年になりました。素敵な思い出がいっぱいです。ありがとうございます。益々の発展を祈ります。

**福島 佳之**

(株)福島会計センター

入会してまだ14年。80年に比べればまだまだヒヨっ子。諸先輩からこれからもご指導頂きたいと思います。

**星 北斗**

(公財)星総合病院

創立80周年誠におめでとうございます。今後もますます活発な活動を展開されることを祈念いたします。

**堀川 紀房**

(株)堀川環境セキュリティー

大好きな郡山RCだからこそ、これからもクラブの一員となるように精進して参りたいと思います。

**本名 善兵衛**

(株)柏屋

100周年に向かって、新たな歴史と伝統と格式を築き上げる節目に立ち会えて大変誇りに思います。

**幕田 宙晃**

(株)共立建築設計事務所

記念すべき創立80周年の年に、伝統と格式のある郡山RCに携われることに感謝です。

**増子 敦**

(株)JTB 東北法人営業郡山支店

燐然たる歴史に感動しています。郡山ロータリーの一員として貢献できるよう精進してまいります。

**増子 康**

(株)増子商事

歴史あるクラブに入会させていただき、有能な友人に恵まれ私生活にも事業にも勉強になりました。深謝しております。

**丸山 弘**

(株)オートデンソーマルヤマ

先輩達が築き上げた倫理基準に基づいた理念の実践力に敬意を表し、今後自らも高潔さを高めて参ります。

**三澤 敬典**

(-財)太田総合病院

創立80周年おめでとうございます。お世話になった米山さんに見ていただきたいと思います。ありがとうございました。

**宗像 剛**

八光建設(株)

長らく休眠しておりましたが、80周年を契機に皆様のご指導を頂きましてリハビリしながら出席していきたいと思っております。

**諸岡 哲哉**

住友生命保険相互会社

80周年おめでとうございます。郡山RCの歴史的通過点に在籍させて頂き、大変名誉であるとともに感謝しています。

**柳沼 恒五郎**

三英堂事務機(株)

**保森 英士**

如宝寺

入会させて頂き感謝しています。伝統と格式、その歴史に相応しい方々と過ごせる時間が無上の喜びです。そのクラブの一員としての今に責任も感じます。

**矢部 浩樹**

福菱冷熱(株)

入会させて頂き感謝しています。郡山ロータリークラブの皆様と共に楽しく年齢を重ねて行けたらと思います。



山口 松之進

(郡山觀光運輸株)

欠席ばかりで申し訳ありません。毎日仕事と向き合いつつ職業奉仕の言葉を胸に地域への貢献を果たします。



湯浅 大郎

(公財)湯浅報恩会寿泉堂綜合病院

昨年「三世代ロータリアン表彰」をいただいて、びっくりポンの私。80周年を機に、心入れ換えてがんばります。



横須賀 信雄

福島テレビ(株)

郡山ロータリークラブの会員とさせていただいたことに深く感謝すると共に誇りを感じております。



横田 重一

(有)海老屋

入会して約40年。創立から半分は在籍したことになります。これからも楽しく参加したいと思います。

名誉会員



高槻 光男

光建工業(株)

80周年おめでとう益々のご繁栄をお祈り致します。私は95才になりましたが、90周年まで頑張ります。

新入会員



阿部 充正

(有)郡山銘菴庵大黒屋

記念すべき80周年に入会させていただきました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



菅野 貴史

大和證券(株)

創立80周年という記念すべき年に郡山RCの会員であることを誇りに思います。このご縁に心から感謝致します。



瀬尾 浩司

みずほ銀行株郡山支店

記念すべき創立80周年の年度に伝統あるクラブに入会させていただくことを大変嬉しく思っております。



宮川 卓也

(株)ベーシックアイディーズ

歴史・伝統・格式有る郡山RCの80周年記念に入会でき、心から感謝申し上げます。これからが楽しみです。

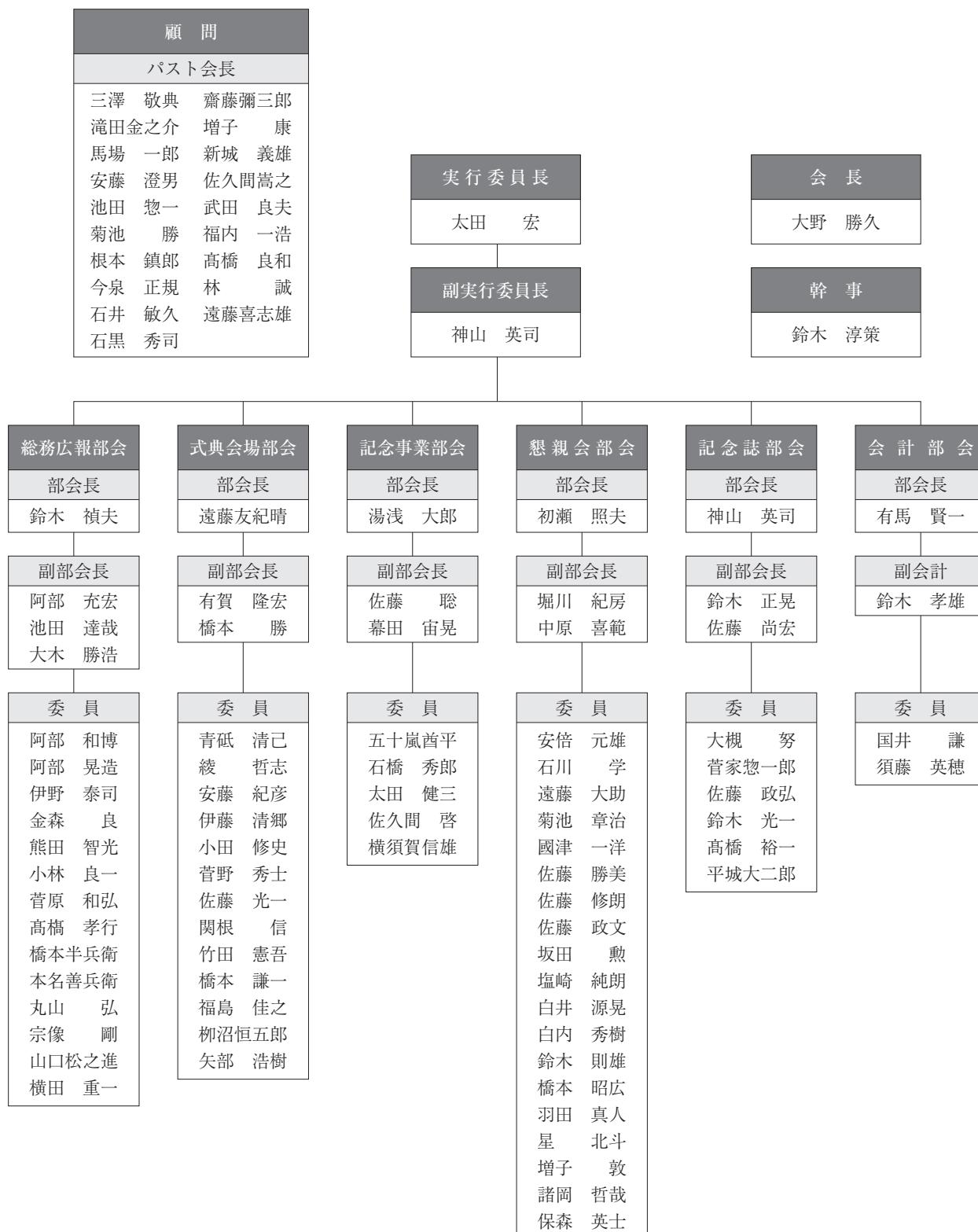


小嶋 俊彦

三井住友海上火災保険株福島支店

歴史と伝統ある郡山RCの80周年という記念すべき年に入会させて頂いたことを嬉しく思います。

郡山ロータリークラブ創立80周年実行委員会組織図



今 中

過去に、ゲストとしてお招きした宮田修氏（元NHKアナウンサー・東京立川RC所属）の卓話。「今中」というこの国の古来の考え方を学んだ。

私たちには必ず両親がいる。こう考えると私の一つの命の前には、2・4・8・16・32……無限につながる無数の連鎖の命があり、日本人は、自分の命を先祖から受け継ぎ、子孫へとリレーする（今）を生きていると言う考え方である。

編集を通じて学んだ、我がクラブの歴史は、各周年記念誌に記録されている通り、橋本萬右衛門初代の創立時のエネルギー、歴代の会長たち、そして入会の記録にある数百名の会員達の思いとともに刻んだ深くてとても重いものであった。

80周年記念誌を発刊するに当たり、その歴史に培われた伝統と格式を、後世の郡山ロータリアンにしっかりと伝えるべく、過去の記念誌とスポンサークラブである東京RC 90周年誌を参考とさせていただき、全会員参加型で、後世に伝えるための記念誌を方針に、努力した。

特に、大野勝久会長肝いりの座談会、入会40年を超えたパスト会長方の、懐かしい会話は、正に温故知新、過去を知り未来を構築するに相応しい企画となった。リライトいただいた湯浅大郎君に感謝したい。

また、東京クラブパスト会長岡崎由雄氏は、依頼せずとも、記念誌用にと当日のご挨拶を活字に

おろし送っていただいたこと、何とも恐縮とともに、そのスマートさは敬服するばかり。

茂木友三郎氏の記念講演、本来なら一字一句紙面に掲載すべきなのだろうが、紙面の都合そしてちょっとしたハプニングで要旨になってしまったこと残念でならないが、できるだけ忠実にまとめたつもりであるし、10年20年先に、記念誌をご覧いただければ、国家の重鎮である茂木氏が郡山でこんな講演をしたのかと話題にしていただければ幸いである。

記念誌編集中に、柳沼恒五郎君、石橋秀郎君と2名の正にこれから郡山クラブを背負って立つべき会員を失ってしまったこと、心からご冥福を祈るとともに、御両名の生前のロータリアンの鏡となる職業を通じた奉仕活動、忘れられないものとなつた。

全会員の皆様にご満足いただける記念誌とは言い難いかも知れないが、ロータリーの友情に免じてお許しいただければ幸いであるし、今中（80周年）を生き、しっかりと後世にリレーできればと願っている。

最後に、太田宏実行委員長、鈴木正晃・佐藤尚宏副会長、部会委員、そしてご協力いただいた全会員の皆様に感謝申し上げ、編集後記としたい。

郡山ロータリークラブ80周年記念
実行副委員長・記念誌部会長
神 山 英 司

郡山ロータリークラブ創立80周年記念誌

平成28年12月22日 発行

編 集 郡山RC80周年実行委員会 記念誌編集委員会
発 行 郡山ロータリークラブ

〒963-8001 福島県郡山市大町1-2-17
大一ビル1階
TEL 024-923-0729

印 刷 不二印刷株式会社
石井電算印刷株式会社
共栄印刷株式会社
